

第4次牧之原市地域福祉計画策定のための アンケート調査報告書

令和5年3月
牧之原市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	2
II	調査結果	3
1	市民	3
(1)	回答者属性	3
(2)	地域生活に関することについて	11
(3)	福祉への関心、意識について	47
(4)	民生委員・児童委員について	61
(5)	福祉支援機関・福祉サービスについて	65
(6)	福祉施策に関することについて	84
(7)	ボランティア活動などに関することについて	110
(8)	災害時のことについて	134
2	福祉活動に携わる方	141
(1)	回答者属性	141
(2)	地域での福祉活動について	148
(3)	他団体等への連携状況について	154
(4)	今後必要な取組について	162

I 調査の概要

1 調査の目的

牧之原市では、令和元年度から5年間を計画期間とする「第3次牧之原市地域福祉計画」を策定しました。その中で、「市民一人ひとりと 地域が創る 幸せあふれるまち」を基本理念に掲げ、住民一人ひとりが住み心地の良い暮らしと生きがいを持つ「地域共生社会」を目指してきました。

このたび、「第3次牧之原市地域福祉計画」の期間満了に伴い、市民や福祉活動に携わる皆様の地域福祉に関する意識や地域活動の現状などを把握し、計画全体の評価並びに「第4次牧之原市地域福祉計画」策定の基礎資料とするためのアンケート調査を実施いたしました。

2 調査対象

市民：18歳以上の一般市民

福祉に携わる方：市内福祉関係団体

3 調査期間

令和4年11月25日～令和4年12月16日

4 調査方法

郵送配付・郵送回収方式

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
市民	1000通	468通	46.8%
福祉活動に携わる方	300通	227通	75.7%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で、次に高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

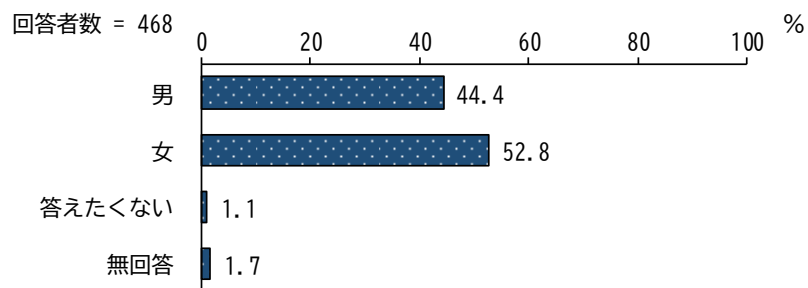
Ⅱ 調査結果

1 市民

(1) 回答者属性

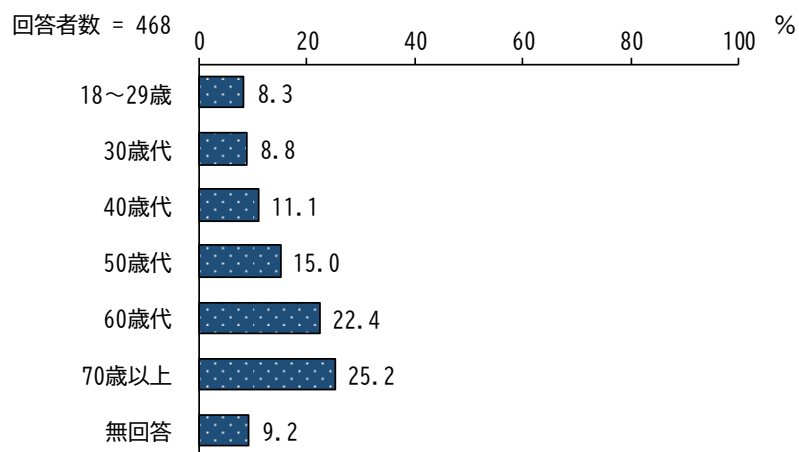
性別 (〇は1つだけ)

「男性」の割合が44.4%、「女性」の割合が52.8%、「答えたくない」の割合が1.1%となっています。



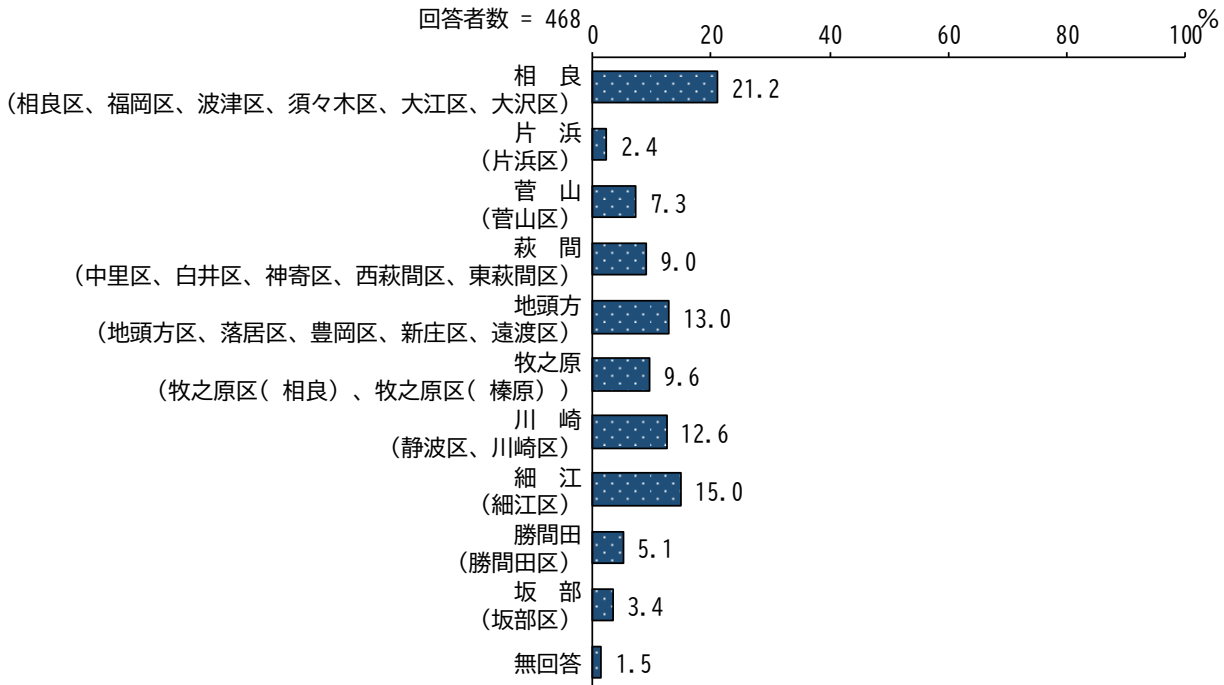
年齢

「70歳以上」の割合が25.2%と最も高く、次いで「60歳代」の割合が22.4%、「50歳代」の割合が15.0%となっています。



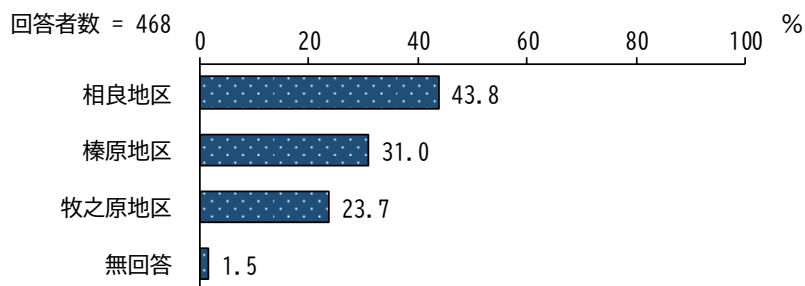
居住地区 (○は1つだけ)

「相良 (相良区、福岡区、波津区、須々木区、大江区、大沢区)」の割合が 21.2%と最も高く、次いで「細江 (細江区)」の割合が 15.0%、「地頭方 (地頭方区、落居区、豊岡区、新庄区、遠渡区)」の割合が 13.0%となっています。



居住地区

「相良地区」の割合が 43.8%と最も高く、次いで「榛原地区」の割合が 31.0%、「牧之原地区」の割合が 23.7%となっています。



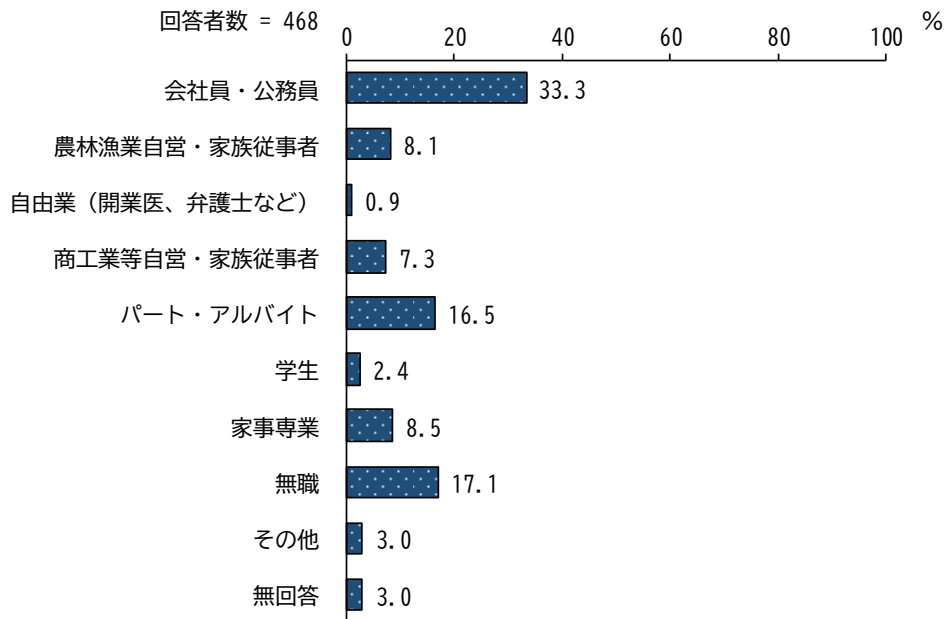
相良地区：相良、片浜、菅山、地頭方

榛原地区：川崎、細江、坂部

牧之原地区：萩間、牧之原、勝間田

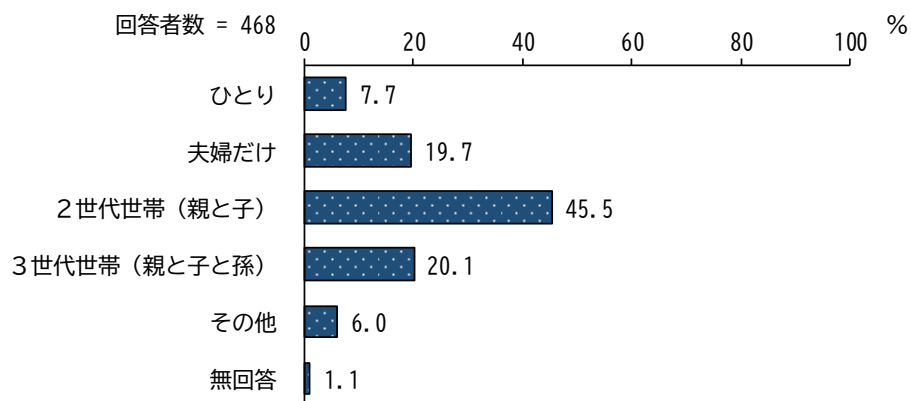
職業（〇は1つだけ）

「会社員・公務員」の割合が33.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が17.1%、「パート・アルバイト」の割合が16.5%となっています。



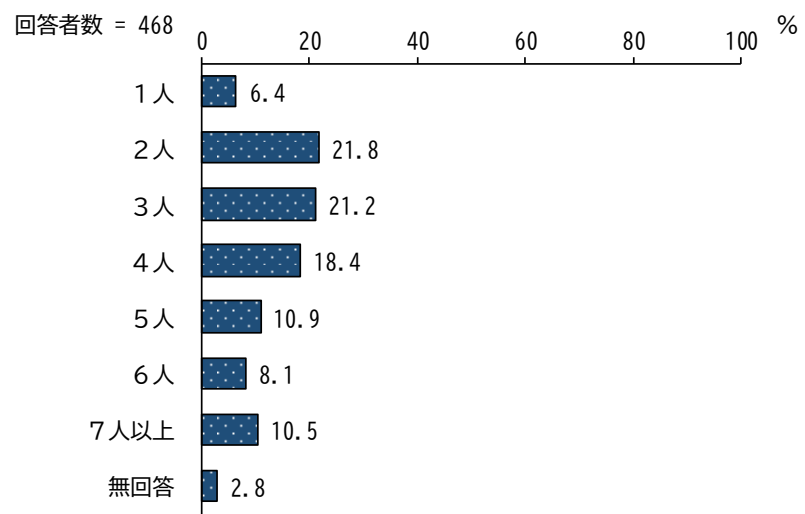
家族構成（〇は1つだけ）

「2世代世帯（親と子）」の割合が45.5%と最も高く、次いで「3世代世帯（親と子と孫）」の割合が20.1%、「夫婦だけ」の割合が19.7%となっています。



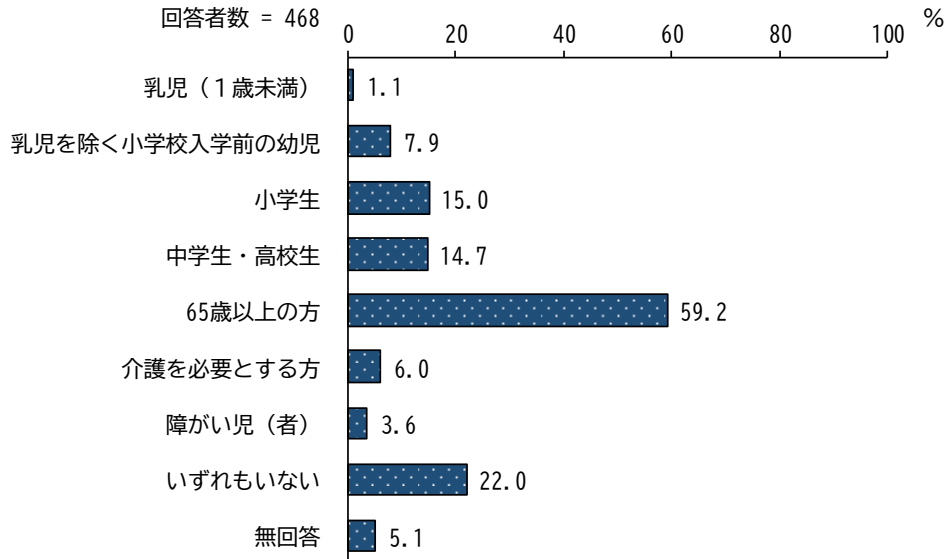
世帯人数

「2人」の割合が21.8%と最も高く、次いで「3人」の割合が21.2%、「4人」の割合が18.4%となっています。



あなたを含めて、同居家族で次の方はいますか（あてはまるものすべてに○）

「65歳以上の方」の割合が59.2%と最も高く、次いで「いずれもない」の割合が22.0%、「小学生」の割合が15.0%となっています。



【居住地区別】

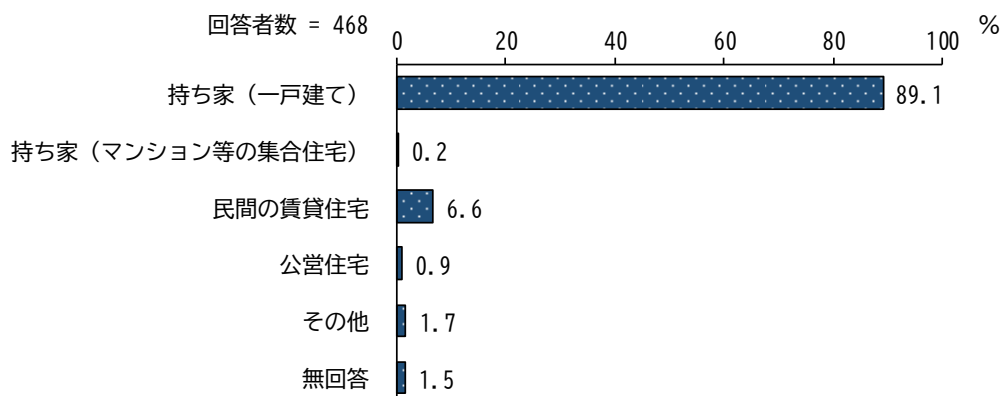
居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「いずれもない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	乳児（1歳未満）	乳児を除く小学校入学前の幼児	小学生	中学生・高校生	65歳以上の方	介護を必要とする方	障がい児（者）	いずれもない	無回答
全 体	468	1.1	7.9	15.0	14.7	59.2	6.0	3.6	22.0	5.1
相良地区	205	1.0	5.4	17.6	16.6	61.5	5.4	4.9	19.0	6.3
榛原地区	145	2.1	10.3	12.4	9.7	59.3	7.6	3.4	22.1	3.4
牧之原地区	111	—	9.0	13.5	18.9	57.7	5.4	1.8	28.8	0.9

住まいの形態（〇は1つだけ）

「持ち家（一戸建て）」の割合が89.1%と最も高くなっています。



【年代別】

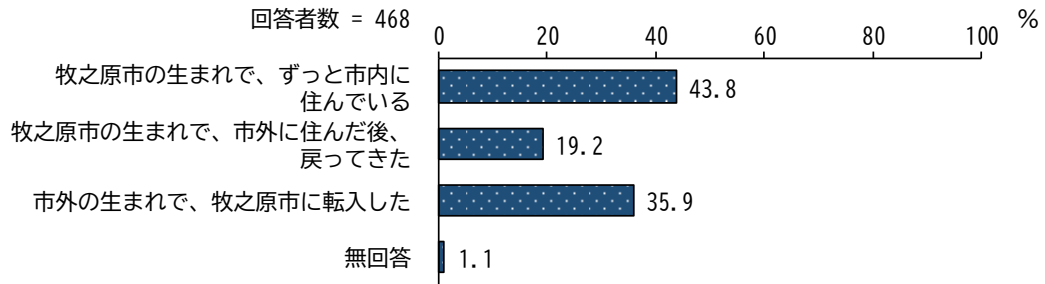
年代別にみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で「持ち家（一戸建て）」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	持ち家（一戸建て）	持ち家（マンション等の集合住宅）	民間の賃貸住宅	公営住宅	その他	無回答	
全 体	468	89.1	0.2	6.6	0.9	1.7	1.5	
年代別	18～29歳	39	66.7	—	23.1	—	10.3	—
	30歳代	41	85.4	—	12.2	—	2.4	—
	40歳代	52	82.7	—	11.5	1.9	3.8	—
	50歳代	70	92.9	1.4	1.4	1.4	1.4	1.4
	60歳代	105	94.3	—	3.8	1.9	—	—
	70歳以上	118	97.5	—	2.5	—	—	—
居住地区別	相良地区	205	90.7	—	5.9	1.5	1.5	0.5
	榛原地区	145	88.3	—	10.3	0.7	—	0.7
	牧之原地区	111	91.0	0.9	3.6	—	4.5	—

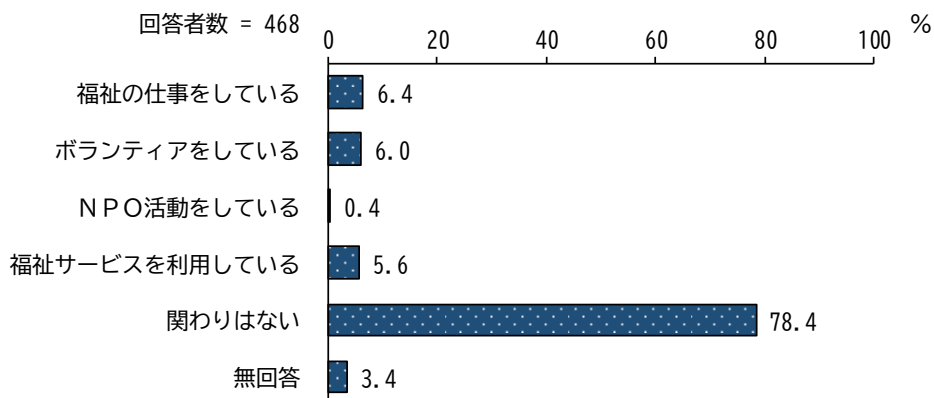
居住歴（〇は1つだけ）

「牧之原市の生まれで、ずっと市内に住んでいる」の割合が43.8%と最も高く、次いで「市外の生まれで、牧之原市に転入した」の割合が35.9%、「牧之原市の生まれで、市外に住んだ後、戻ってきた」の割合が19.2%となっています。



福祉との関わり（あてはまるものすべてに○）

「関わりはない」の割合が78.4%と最も高くなっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代、50歳代で「関わりはない」の割合が高くなっています。居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「関わりはない」の割合が高くなっています。

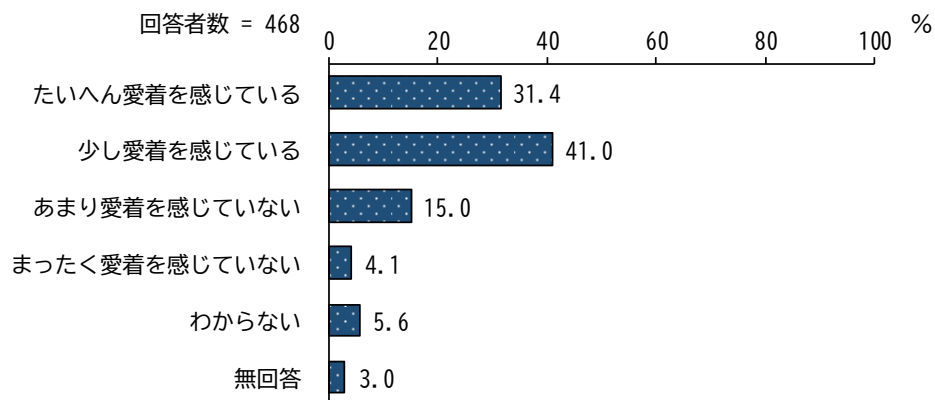
単位：%

区分		回答者数(件)	福祉の仕事をして いる	ボ ラン ティ アを し て い る	N P O活 動を し て い る	福 祉サ ービ スを 利 用 し て い る	関 わ り は な い	無 回 答
全 体		468	6.4	6.0	0.4	5.6	78.4	3.4
性 別	男性	208	4.3	3.4	1.0	7.2	82.7	1.4
	女性	247	8.5	8.5	—	4.5	75.7	3.2
	答えたくない	5	—	—	—	—	100.0	—
年 代 別	18～29歳	39	5.1	2.6	—	—	89.7	2.6
	30歳代	41	12.2	2.4	—	—	85.4	—
	40歳代	52	11.5	—	—	5.8	82.7	—
	50歳代	70	2.9	2.9	—	10.0	84.3	—
	60歳代	105	6.7	8.6	—	4.8	76.2	4.8
	70歳以上	118	5.9	11.9	1.7	7.6	70.3	2.5
居 住 地 区 別	相良地区	205	6.8	6.3	0.5	6.8	77.1	2.4
	榛原地区	145	4.8	6.9	0.7	4.1	83.4	0.7
	牧之原地区	111	8.1	4.5	—	5.4	77.5	4.5

(2) 地域生活に関することについて

問1 お住まいの地域に対して、愛着を感じていますか。(○は1つだけ)

「少し愛着を感じている」の割合が41.0%と最も高く、次いで「たいへん愛着を感じている」の割合が31.4%、「あまり愛着を感じていない」の割合が15.0%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「あまり愛着を感じていない」の割合が、40歳代で「少し愛着を感じている」の割合が、70歳以上で「たいへん愛着を感じている」の割合が高くなっています。

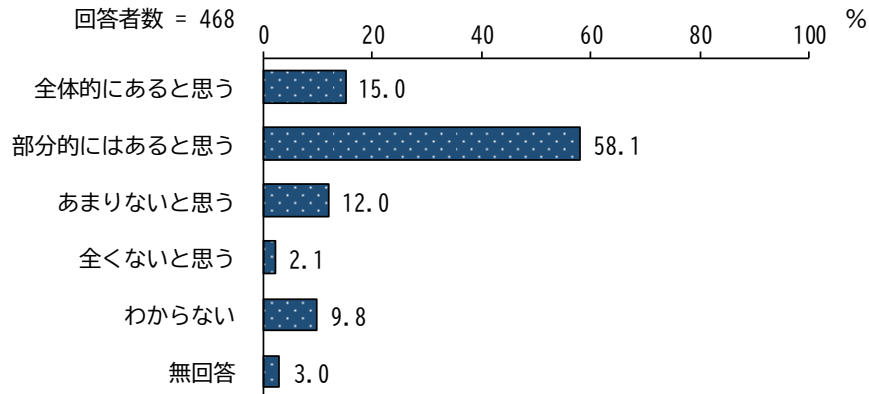
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分		回答者数(件)	たいへん愛着を感じている	少し愛着を感じている	あまり愛着を感じていない	まったく愛着を感じていない	わからない	無回答
全体		468	31.4	41.0	15.0	4.1	5.6	3.0
性別	男性	208	36.1	38.5	14.9	3.8	4.3	2.4
	女性	247	28.3	43.3	14.2	3.6	6.9	3.6
	答えたくない	5	20.0	—	60.0	20.0	—	—
年代別	18～29歳	39	30.8	35.9	17.9	2.6	12.8	—
	30歳代	41	36.6	26.8	26.8	7.3	2.4	—
	40歳代	52	17.3	59.6	7.7	9.6	3.8	1.9
	50歳代	70	31.4	42.9	18.6	5.7	—	1.4
	60歳代	105	35.2	35.2	15.2	—	10.5	3.8
	70歳以上	118	39.0	42.4	9.3	1.7	2.5	5.1
居住地区別	相良地区	205	33.7	40.5	12.7	4.4	3.9	4.9
	榛原地区	145	31.7	39.3	16.6	3.4	6.9	2.1
	牧之原地区	111	27.9	44.1	16.2	3.6	7.2	0.9

問2 住んでいる地域には、困っている場合に助けあう気風があると思いますか。(○は1つだけ)

「部分的にはあると思う」の割合が58.1%と最も高く、次いで「全体的にあると思う」の割合が15.0%、「あまりないと思う」の割合が12.0%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「全体的にあると思う」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「部分的にはあると思う」の割合が、60歳代で「全体的にあると思う」の割合が高くなっています。

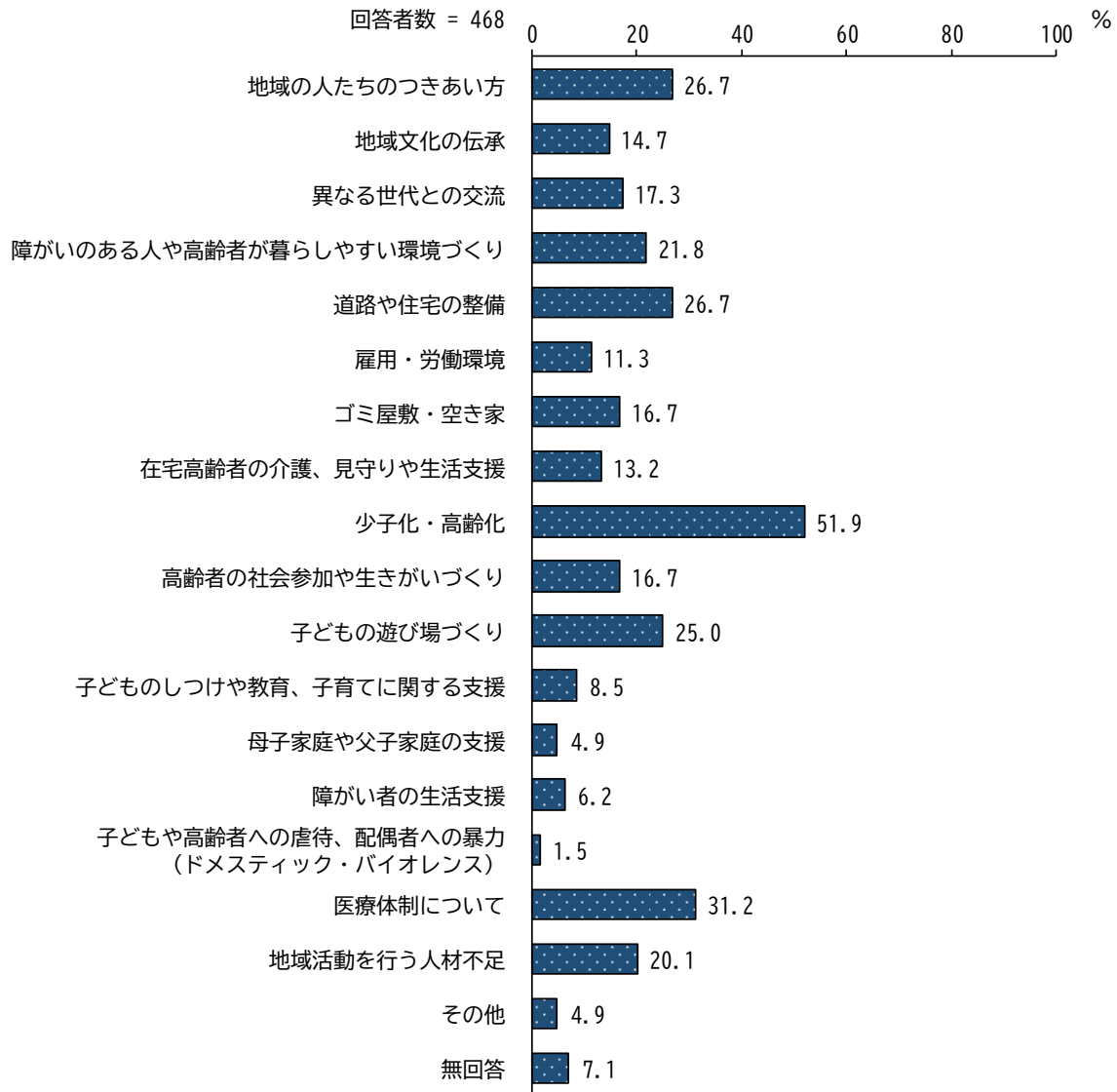
居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「全体的にあると思う」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	全体的にあると思う	部分的にはあると思う	あまりないと思う	全くないと思う	わからない	無回答
全体	468	15.0	58.1	12.0	2.1	9.8	3.0
性別	男性	20.2	53.8	10.1	2.4	11.1	2.4
	女性	11.3	61.1	13.4	2.0	8.5	3.6
	答えたくない	—	60.0	—	—	40.0	—
年代別	18～29歳	20.5	35.9	12.8	2.6	28.2	—
	30歳代	7.3	63.4	7.3	2.4	19.5	—
	40歳代	5.8	65.4	7.7	1.9	17.3	1.9
	50歳代	8.6	71.4	12.9	1.4	4.3	1.4
	60歳代	21.9	51.4	13.3	1.0	8.6	3.8
	70歳以上	20.3	55.1	12.7	3.4	3.4	5.1
居住地区別	相良地区	14.1	61.0	10.7	2.9	6.3	4.9
	榛原地区	12.4	56.6	12.4	1.4	15.2	2.1
	牧之原地区	20.7	55.9	11.7	1.8	9.0	0.9

問3 住んでいる地域には、どのような課題や問題があると感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「少子化・高齢化」の割合が51.9%と最も高く、次いで「医療体制について」の割合が31.2%、「地域の人たちのつきあい方」、「道路や住宅の整備」の割合が26.7%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「地域の人たちのつきあい方」の割合が高くなっています。
 年代別にみると、他に比べ、30歳代で「子どもの遊び場づくり」「医療体制について」の割合が、40歳代で「医療体制について」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「少子化・高齢化」の割合が高くなっています。

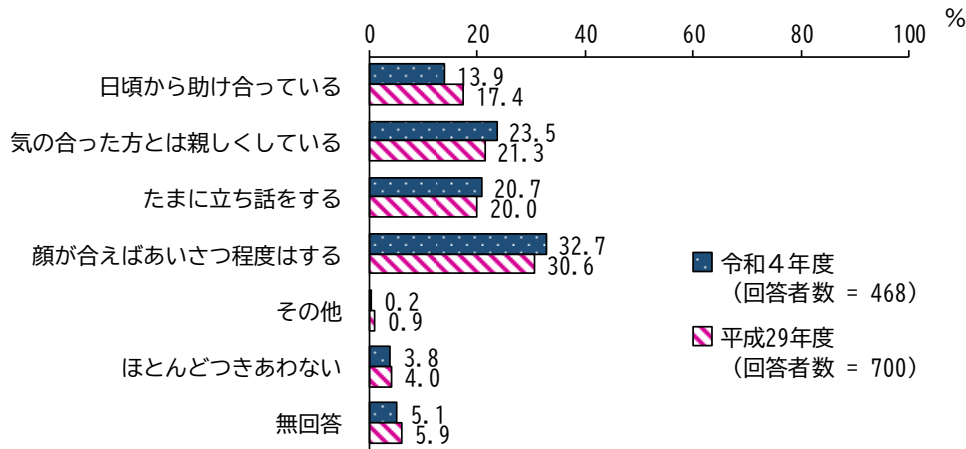
単位：%

区分		回答者数(件)	地域の人たちのつきあい方	地域文化の伝承	異なる世代との交流	障がいのある人や高齢者が暮らしやすい環境づくり	道路や住宅の整備	雇用・労働環境	ゴミ屋敷・空き家	在宅高齢者の介護、見守りや生活支援	少子化・高齢化
全体		468	26.7	14.7	17.3	21.8	26.7	11.3	16.7	13.2	51.9
性別	男性	208	33.2	16.3	16.8	17.8	25.5	12.0	15.4	14.9	54.8
	女性	247	22.7	13.4	17.4	25.1	27.5	10.1	17.8	12.1	49.8
	答えたくない	5	—	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0	40.0	20.0	40.0
年代別	18～29歳	39	28.2	15.4	12.8	12.8	33.3	15.4	20.5	10.3	48.7
	30歳代	41	26.8	9.8	14.6	17.1	26.8	17.1	7.3	17.1	48.8
	40歳代	52	30.8	13.5	15.4	25.0	26.9	15.4	19.2	1.9	46.2
	50歳代	70	24.3	15.7	27.1	27.1	28.6	15.7	18.6	15.7	62.9
	60歳代	105	21.0	13.3	12.4	15.2	24.8	4.8	20.0	8.6	58.1
	70歳以上	118	29.7	18.6	18.6	22.9	21.2	5.9	16.1	16.9	50.0
居住地区別	相良地区	205	26.3	18.0	17.1	25.9	27.8	13.7	20.0	14.6	57.1
	榛原地区	145	27.6	12.4	16.6	17.2	26.2	9.0	17.2	12.4	51.0
	牧之原地区	111	27.9	11.7	18.0	19.8	23.4	9.0	9.9	11.7	43.2

区分		高齢者の社会参加や生きがいづくり	子どもの遊び場づくり	子どものしつけや教育、子育てに関する支援	母子家庭や父子家庭の支援	障がい者の生活支援	子どもや高齢者への虐待、配偶者への暴力(ドメスティック・バイオレンス)	医療体制について	地域活動を行う人材不足	その他	無回答
全体		16.7	25.0	8.5	4.9	6.2	1.5	31.2	20.1	4.9	7.1
性別	男性	13.5	26.0	11.5	8.7	5.8	1.4	28.8	24.5	4.3	7.2
	女性	19.4	24.3	6.1	2.0	6.5	0.8	33.2	16.2	5.7	6.5
	答えたくない	—	40.0	—	—	20.0	40.0	60.0	40.0	—	—
年代別	18～29歳	12.8	30.8	12.8	—	—	—	28.2	17.9	7.7	5.1
	30歳代	7.3	61.0	29.3	7.3	12.2	2.4	56.1	19.5	4.9	4.9
	40歳代	9.6	32.7	13.5	3.8	7.7	1.9	44.2	19.2	5.8	3.8
	50歳代	22.9	15.7	8.6	7.1	11.4	2.9	28.6	17.1	10.0	5.7
	60歳代	21.9	23.8	—	5.7	2.9	—	27.6	17.1	5.7	7.6
	70歳以上	15.3	15.3	5.9	5.9	4.2	1.7	22.9	23.7	1.7	8.5
居住地区別	相良地区	19.0	28.3	12.2	5.9	7.8	2.4	33.2	22.9	6.3	7.8
	榛原地区	17.2	23.4	6.2	4.8	4.8	0.7	26.9	17.2	3.4	7.6
	牧之原地区	10.8	20.7	4.5	2.7	5.4	0.9	34.2	18.0	4.5	4.5

問4 普段ご近所の方と、どの程度のおつきあいをしていますか。(○は1つだけ)

「顔が合えばあいさつ程度はする」の割合が32.7%と最も高く、次いで「気の合った方とは親しくしている」の割合が23.5%、「たまに立ち話をする」の割合が20.7%となっています。
平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、40歳代で「顔が合えばあいさつ程度はする」の割合が、70歳以上で「日頃から助け合っている」の割合が高くなっています。

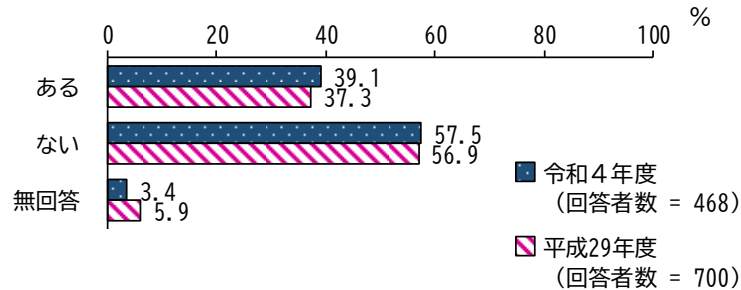
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	日頃から助け合っている	気の合った方とは親しくしている	たまに立ち話をする	顔が合えばあいさつ程度はする	その他	ほとんどつきあわない	無回答	
全体	468	13.9	23.5	20.7	32.7	0.2	3.8	5.1	
性別	男性	208	18.3	24.0	17.3	30.8	—	5.8	3.8
	女性	247	10.9	23.1	23.9	33.6	0.4	2.0	6.1
	答えたくない	5	—	—	20.0	80.0	—	—	—
年代別	18～29歳	39	7.7	7.7	10.3	61.5	—	12.8	—
	30歳代	41	4.9	14.6	26.8	43.9	—	9.8	—
	40歳代	52	9.6	15.4	13.5	53.8	—	5.8	1.9
	50歳代	70	7.1	20.0	27.1	37.1	—	4.3	4.3
	60歳代	105	13.3	31.4	23.8	23.8	1.0	1.0	5.7
	70歳以上	118	27.1	28.0	19.5	16.9	—	—	8.5
居住地区別	相良地区	205	16.1	22.9	19.0	31.2	0.5	2.9	7.3
	榛原地区	145	11.0	22.8	21.4	35.9	—	4.8	4.1
	牧之原地区	111	14.4	26.1	23.4	30.6	—	3.6	1.8

問5 ご近所の方からちょっとしたことを頼まれ、何かお手伝いをしたことがありますか。(○は1つだけ)

「ある」の割合が39.1%、「ない」の割合が57.5%となっています。
平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「ある」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代、40歳代で「ない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「ない」の割合が高くなっています。

単位：%

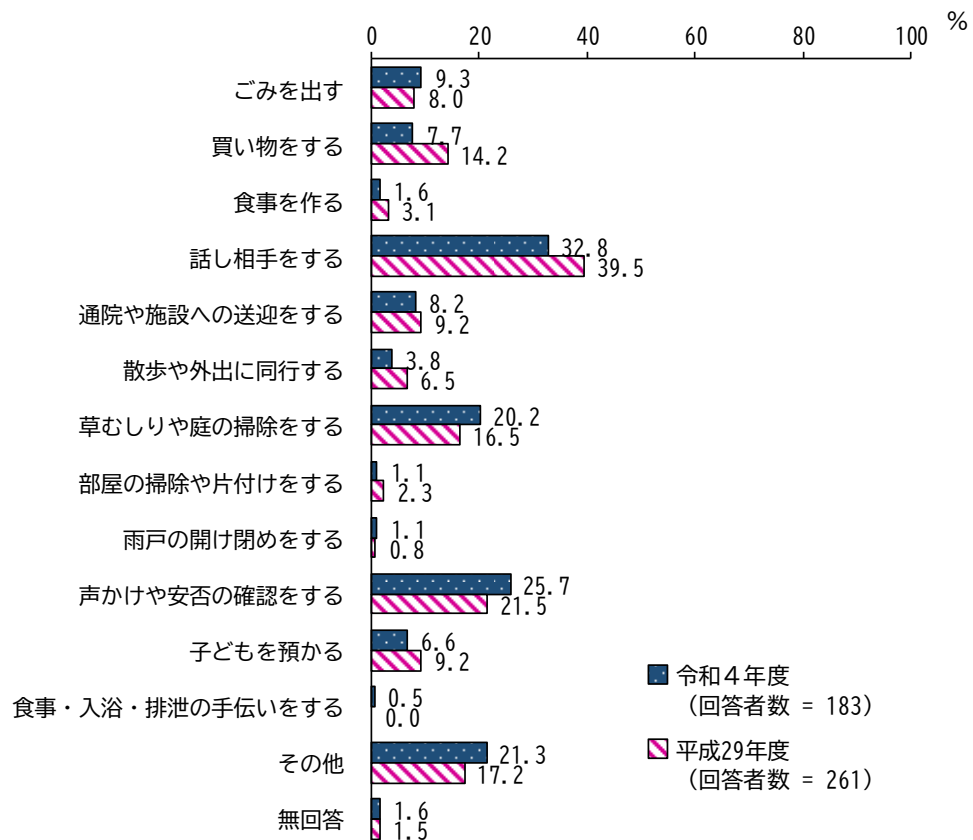
区分		回答者数 (件)	ある	ない	無回答
全体		468	39.1	57.5	3.4
性別	男性	208	44.2	52.9	2.9
	女性	247	34.4	61.5	4.0
	答えたくない	5	20.0	80.0	—
年代別	18～29歳	39	25.6	74.4	—
	30歳代	41	29.3	70.7	—
	40歳代	52	25.0	73.1	1.9
	50歳代	70	38.6	60.0	1.4
	60歳代	105	40.0	56.2	3.8
	70歳以上	118	50.0	43.2	6.8
居住地区別	相良地区	205	42.4	52.2	5.4
	榛原地区	145	37.9	60.0	2.1
	牧之原地区	111	34.2	64.0	1.8

【問5で「ある」と回答した方への質問】

問5-1 それは、どんなお手伝いですか。(あてはまるものすべてに○)

「話し相手をする」の割合が32.8%と最も高く、次いで「声かけや安否の確認をする」の割合が25.7%、「草むしりや庭の掃除をする」の割合が20.2%となっています。

平成29年度と比較すると、「買い物をする」「話し相手をする」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「草むしりや庭の掃除をする」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「話し相手をする」の割合が、70歳以上で「声かけや安否の確認をする」「話し相手をする」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「草むしりや庭の掃除をする」の割合が高くなっています。

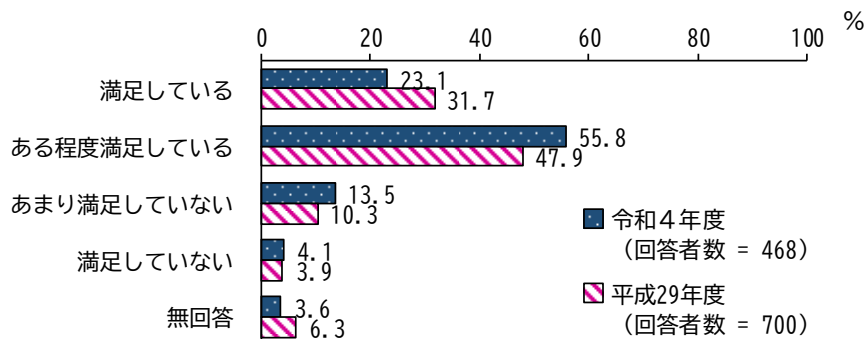
単位：％

区分	回答者数(件)	ごみを出す	買い物をする	食事を作る	話し相手をする	通院や施設への送迎をする	散歩や外出に同行する	草むしりや庭の掃除をする	部屋の掃除や片付けをする	雨戸の開け閉めをする	声かけや安否の確認をする	子どもを預かる	食事・入浴・排泄の手伝いをする	その他	無回答	
全体	183	9.3	7.7	1.6	32.8	8.2	3.8	20.2	1.1	1.1	25.7	6.6	0.5	21.3	1.6	
性別	男性	92	7.6	5.4	1.1	32.6	7.6	2.2	27.2	1.1	2.2	27.2	3.3	—	25.0	2.2
	女性	85	11.8	10.6	2.4	31.8	9.4	4.7	11.8	1.2	—	25.9	10.6	1.2	17.6	1.2
	答えたくない	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
年代別	18～29歳	10	—	—	—	80.0	—	—	10.0	—	—	—	30.0	—	10.0	—
	30歳代	12	16.7	—	—	25.0	8.3	8.3	16.7	—	—	16.7	8.3	8.3	25.0	—
	40歳代	13	7.7	—	—	23.1	7.7	—	—	7.7	—	7.7	15.4	—	53.8	—
	50歳代	27	3.7	—	—	29.6	3.7	7.4	18.5	—	3.7	14.8	11.1	—	37.0	—
	60歳代	42	16.7	11.9	2.4	21.4	4.8	2.4	23.8	—	—	28.6	2.4	—	16.7	2.4
	70歳以上	59	6.8	8.5	—	39.0	13.6	1.7	20.3	—	—	39.0	—	—	16.9	1.7
居住地区別	相良地区	87	10.3	4.6	3.4	33.3	4.6	3.4	20.7	1.1	2.3	28.7	8.0	1.1	21.8	3.4
	榛原地区	55	7.3	9.1	—	30.9	12.7	3.6	12.7	—	—	27.3	9.1	—	25.5	—
	牧之原地区	38	10.5	13.2	—	31.6	10.5	2.6	28.9	2.6	—	18.4	—	—	15.8	—

問6 今の近所づきあいに満足していますか。(○は1つだけ)

「満足している」と「ある程度満足している」をあわせた“満足”の割合が78.9%と高くなっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、60歳代以下で“満足”の割合が、8割を超えており、18～29歳では84.7%と最も高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

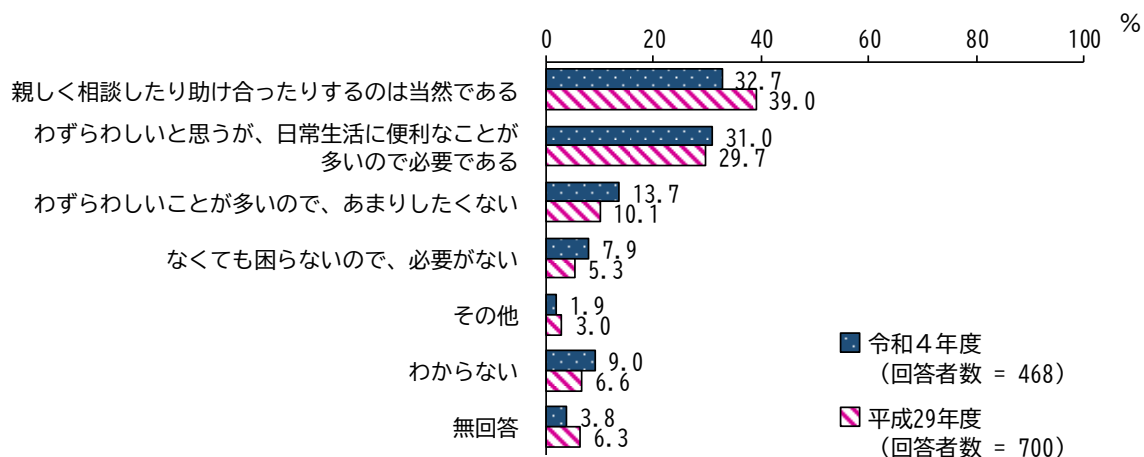
単位：%

区分	回答者数(件)	満足している	ある程度満足している	あまり満足していない	満足していない	無回答	
全体	468	23.1	55.8	13.5	4.1	3.6	
性別	男性	208	27.9	52.9	11.5	4.8	2.9
	女性	247	19.0	58.7	14.6	3.2	4.5
	答えたくない	5	—	60.0	20.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	38.5	46.2	10.3	5.1	—
	30歳代	41	31.7	48.8	12.2	4.9	2.4
	40歳代	52	17.3	63.5	9.6	7.7	1.9
	50歳代	70	24.3	60.0	11.4	2.9	1.4
	60歳代	105	20.0	61.9	11.4	1.9	4.8
	70歳以上	118	22.0	49.2	17.8	5.1	5.9
居住地区別	相良地区	205	21.5	57.6	12.7	3.4	4.9
	榛原地区	145	21.4	57.9	12.4	4.8	3.4
	牧之原地区	111	27.9	51.4	14.4	4.5	1.8

問7 近所づきあいの考え方は、どれに近いですか。(○は1つだけ)

「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」の割合が 32.7%と最も高く、次いで「わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である」の割合が 31.0%、「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」の割合が 13.7%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、50歳代で「わずらわしいことが多いので、あまりしたくない」の割合が、60歳代、70歳以上で「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」の割合が高くなっています。

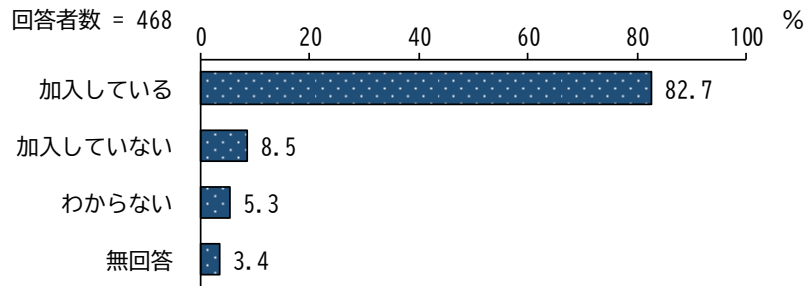
居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「親しく相談したり助け合ったりするのは当然である」の割合が、榛原地区で「わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数(件)	親しく相談したり助け合ったりするのは当然である	わずらわしいと思うが、日常生活に便利なことが多いので必要である	わずらわしいことが多いので、あまりしたくない	なくても困らないので、必要がない	その他	わからない	無回答
全体		468	32.7	31.0	13.7	7.9	1.9	9.0	3.8
性別	男性	208	34.6	29.3	13.9	8.2	1.0	9.6	3.4
	女性	247	32.4	31.2	13.4	7.3	2.8	8.5	4.5
	答えたくない	5	—	20.0	20.0	40.0	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	28.2	35.9	—	12.8	2.6	17.9	2.6
	30歳代	41	24.4	29.3	12.2	14.6	2.4	17.1	—
	40歳代	52	25.0	34.6	11.5	11.5	1.9	13.5	1.9
	50歳代	70	21.4	34.3	31.4	5.7	1.4	4.3	1.4
	60歳代	105	38.1	27.6	14.3	5.7	2.9	5.7	5.7
	70歳以上	118	42.4	28.0	8.5	5.9	1.7	7.6	5.9
居住地区別	相良地区	205	32.2	29.8	13.7	7.8	2.0	8.8	5.9
	榛原地区	145	27.6	36.6	14.5	6.2	3.4	9.7	2.1
	牧之原地区	111	42.3	24.3	12.6	9.0	—	9.0	2.7

問8 現在、自治会（区・町内会）に加入していますか。（○は1つだけ）

「加入している」の割合が82.7%と最も高くなっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、50歳代、60歳代で「加入している」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

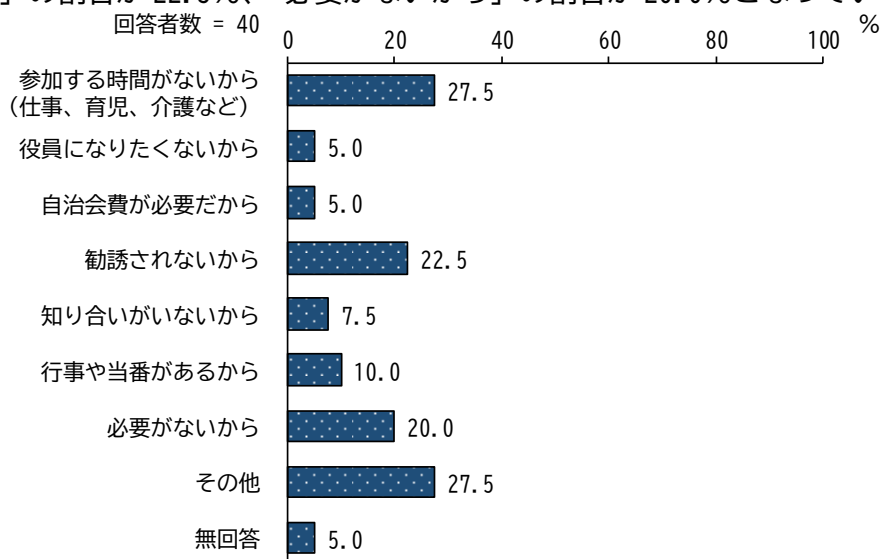
単位：%

区分		回答者数 (件)	加入している	加入していない	わからない	無回答
全 体		468	82.7	8.5	5.3	3.4
性別	男性	208	82.7	9.1	5.3	2.9
	女性	247	82.6	7.7	5.7	4.0
	答えたくない	5	80.0	20.0	—	—
年代別	18～29歳	39	53.8	17.9	28.2	—
	30歳代	41	70.7	19.5	9.8	—
	40歳代	52	82.7	9.6	5.8	1.9
	50歳代	70	92.9	1.4	4.3	1.4
	60歳代	105	88.6	4.8	1.0	5.7
	70歳以上	118	86.4	7.6	0.8	5.1
居住地区別	相良地区	205	80.5	9.3	4.4	5.9
	榛原地区	145	86.2	6.2	5.5	2.1
	牧之原地区	111	82.0	9.9	7.2	0.9

【問8で「加入していない」と回答した方への質問】

問8-1 加入していない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「参加する時間がないから（仕事、育児、介護など）」の割合が27.5%と最も高く、次いで「勧誘されないから」の割合が22.5%、「必要がないから」の割合が20.0%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「必要がないから」「行事や当番があるから」の割合が、女性で「勧誘されないから」の割合が高くなっています。

年代別にみると、大きな差はみられません。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「必要がないから」「参加する時間がないから（仕事、育児、介護など）」の割合が、相良地区で「勧誘されないから」の割合が高くなっています。

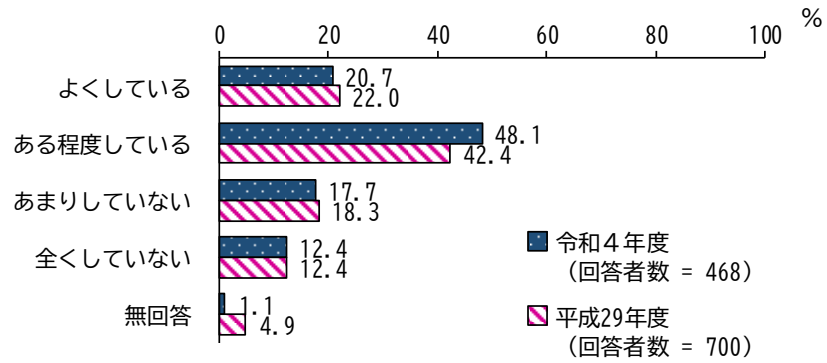
単位：%

区分	回答者数（件）	参加する時間がないから（仕事、育児、介護など）	役員になりたくないから	自治会費が必要だから	勧誘されないから	知り合いがないから	行事や当番があるから	必要がないから	その他	無回答	
全 体	40	27.5	5.0	5.0	22.5	7.5	10.0	20.0	27.5	5.0	
性別	男性	19	31.6	10.5	5.3	10.5	10.5	15.8	36.8	21.1	—
	女性	19	21.1	—	5.3	36.8	5.3	—	5.3	36.8	10.5
	答えたくない	1	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—
年代別	18～29 歳	7	14.3	—	14.3	28.6	—	—	14.3	28.6	14.3
	30 歳代	8	25.0	—	—	—	—	—	37.5	37.5	—
	40 歳代	5	40.0	—	—	40.0	20.0	—	—	40.0	—
	50 歳代	1	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	—
	60 歳代	5	20.0	—	—	20.0	20.0	20.0	20.0	—	20.0
	70 歳以上	9	33.3	11.1	—	22.2	—	11.1	11.1	22.2	—
居住地区別	相良地区	19	21.1	5.3	5.3	36.8	15.8	15.8	15.8	36.8	5.3
	榛原地区	9	33.3	—	—	—	—	—	11.1	44.4	11.1
	牧之原地区	11	36.4	9.1	9.1	18.2	—	—	36.4	—	—

問9 現在、地域内の行事や活動に参加・協力していますか。(○は1つだけ)

「よくしている」と「ある程度している」をあわせた“している”の割合が68.8%と高くなっています。

平成29年度と比較すると、大きな差はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、年齢が高くなるにつれて“している”の割合が高くなる傾向があり、60歳代では80.9%と最も高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

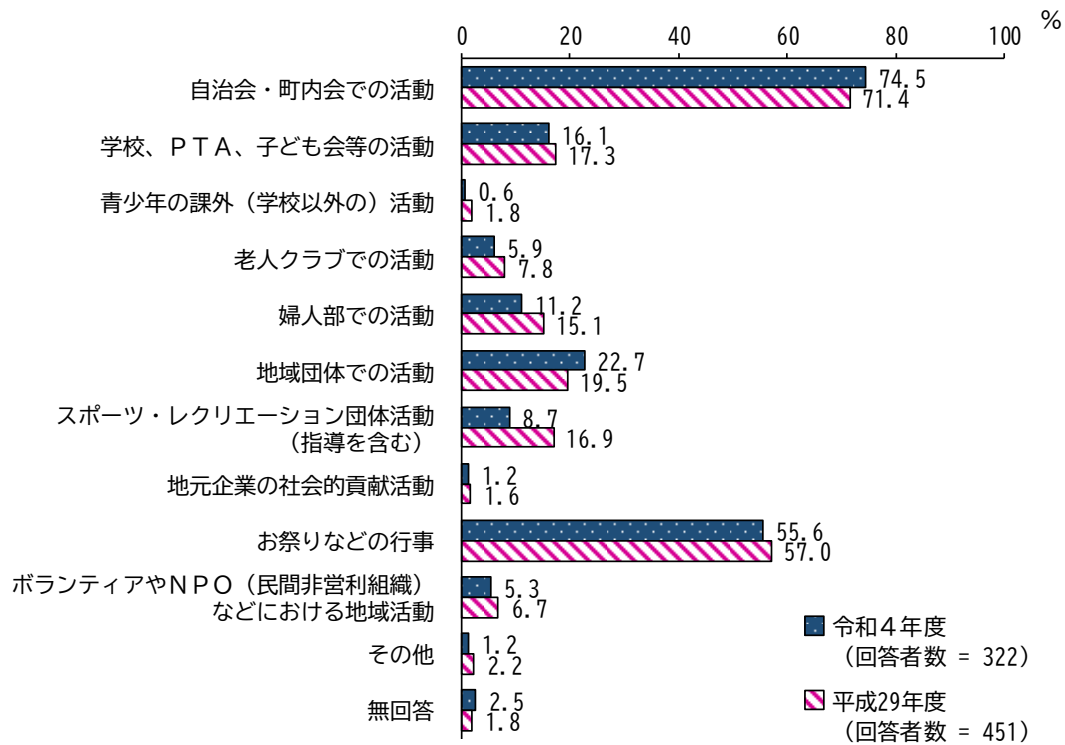
区分		回答者数 (件)	よく知っている	ある程度 している	あまり していない	全く していない	無 回答
全 体		468	20.7	48.1	17.7	12.4	1.1
性別	男性	208	28.4	42.8	14.4	12.5	1.9
	女性	247	15.0	52.2	20.6	12.1	—
	答えたくない	5	—	60.0	20.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	12.8	20.5	30.8	35.9	—
	30歳代	41	9.8	39.0	26.8	24.4	—
	40歳代	52	17.3	46.2	21.2	15.4	—
	50歳代	70	18.6	55.7	17.1	8.6	—
	60歳代	105	23.8	57.1	12.4	4.8	1.9
	70歳以上	118	29.7	45.8	16.9	6.8	0.8
居住地区別	相良地区	205	22.4	44.9	18.5	13.2	1.0
	榛原地区	145	19.3	52.4	15.2	12.4	0.7
	牧之原地区	111	19.8	49.5	18.9	10.8	0.9

【問9で「よくしている」「ある程度している」と回答した方への質問】

問9-1 地域で参加している活動はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「自治会・町内会での活動」の割合が74.5%と最も高く、次いで「お祭りなどの行事」の割合が55.6%、「地域団体での活動」の割合が22.7%となっています。

平成29年度と比較すると、「スポーツ・レクリエーション団体活動(指導を含む)」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「婦人部での活動」の割合が、男性で「自治会・町内会での活動」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「学校、PTA、子ども会等の活動」「お祭りなどの行事」の割合が、40歳代で「学校、PTA、子ども会等の活動」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「お祭りなどの行事」「自治会・町内会での活動」の割合が、牧之原地区で「お祭りなどの行事」の割合が高くなっています。

単位：％

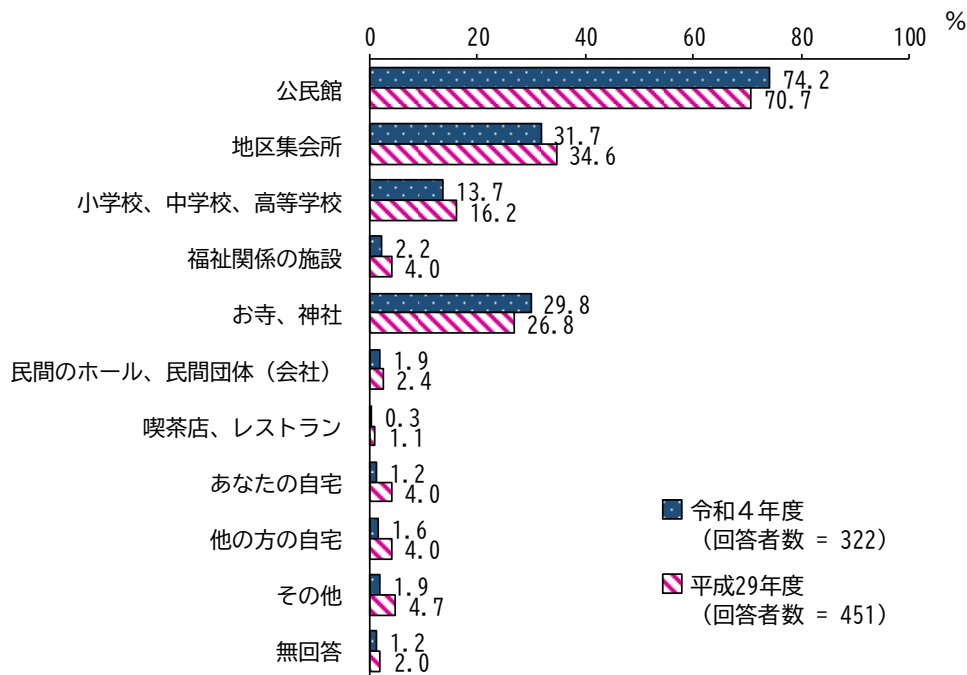
区分		回答者数 (件)	自治会・ 町内会での活動	学校、 PTA、 子ども会等の活動	青少年の課外 (学校以外の) 活動	老人クラブでの活動	婦人部での活動	地域団体での活動	スポーツ・レクリエーション団体 活動(指導を含む)	地元企業の社会的貢献活動	お祭りなどの行事	ボランティアやNPO(民間非営 利組織)などにおける地域活動	その他	無回答
全体		322	74.5	16.1	0.6	5.9	11.2	22.7	8.7	1.2	55.6	5.3	1.2	2.5
性別	男性	148	82.4	17.6	0.7	5.4	1.4	23.0	10.1	0.7	58.8	2.7	2.0	2.0
	女性	166	67.5	15.1	0.6	6.0	19.9	22.9	7.8	1.2	53.6	7.8	0.6	3.0
	答えたくない	3	100.0	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3	—	—	—
年代別	18～29歳	13	53.8	15.4	7.7	—	—	7.7	15.4	—	69.2	—	7.7	—
	30歳代	20	75.0	70.0	—	5.0	10.0	30.0	15.0	—	75.0	5.0	—	—
	40歳代	33	60.6	63.6	—	—	12.1	6.1	9.1	3.0	57.6	—	3.0	3.0
	50歳代	52	82.7	11.5	—	—	17.3	17.3	5.8	—	51.9	1.9	—	3.8
	60歳代	85	83.5	7.1	1.2	4.7	12.9	24.7	5.9	—	58.8	5.9	1.2	2.4
	70歳以上	89	71.9	2.2	—	11.2	7.9	30.3	13.5	2.2	52.8	10.1	1.1	2.2
居住地区別	相良地区	138	68.8	17.4	1.4	8.0	13.8	27.5	10.1	0.7	44.2	6.5	2.2	4.3
	榛原地区	104	83.7	12.5	—	4.8	6.7	19.2	8.7	2.9	66.3	4.8	1.0	1.0
	牧之原地区	77	72.7	18.2	—	3.9	13.0	18.2	6.5	—	62.3	3.9	—	1.3

【問9で「よくしている」「ある程度している」と回答した方への質問】

問9-2 地域活動を行う場として利用している場所はどこですか。

「公民館」の割合が74.2%と最も高く、次いで「地区集会所」の割合が31.7%、「お寺、神社」の割合が29.8%となっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「小学校、中学校、高等学校」の割合が、40歳代で「小学校、中学校、高等学校」「地区集会所」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「公民館」の割合が、相良地区で「地区集会所」の割合が、牧之原地区で「お寺、神社」の割合が高くなっています。

単位：%

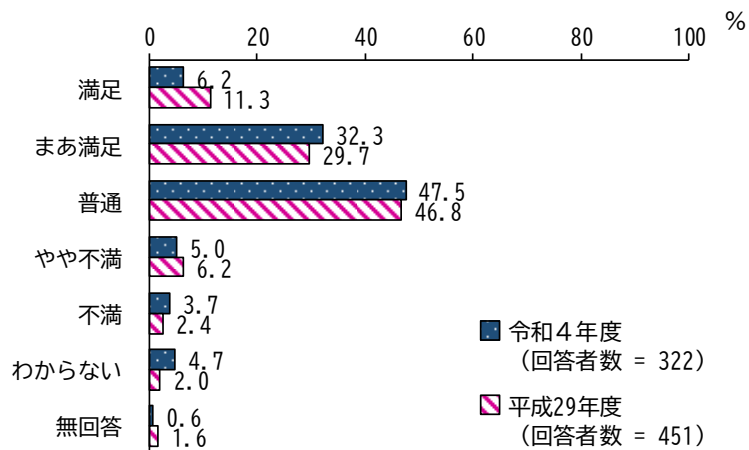
区分		回答者数 (件)	公民館	地区集会所	小学校、 中学校、 高 等学校	福祉関係の施設	お寺、 神社	民間のホール、 民間 団体(会社)	喫茶店、 レストラン	あなたの自宅	他の方の自宅	その他	無回答
全 体		322	74.2	31.7	13.7	2.2	29.8	1.9	0.3	1.2	1.6	1.9	1.2
性別	男性	148	78.4	34.5	12.8	0.7	31.8	0.7	0.7	2.7	2.0	2.7	0.7
	女性	166	71.1	30.1	15.1	3.6	26.5	3.0	-	-	1.2	1.2	1.8
	答えたくない	3	100.0	-	-	-	66.7	-	-	-	-	-	-
年代別	18~29歳	13	84.6	23.1	15.4	-	30.8	-	-	-	-	7.7	-
	30歳代	20	80.0	30.0	60.0	-	35.0	-	-	-	-	5.0	-
	40歳代	33	69.7	42.4	54.5	-	21.2	-	-	-	-	6.1	-
	50歳代	52	76.9	21.2	7.7	-	32.7	1.9	-	-	1.9	1.9	3.8
	60歳代	85	74.1	34.1	4.7	-	35.3	1.2	-	-	1.2	-	1.2
	70歳以上	89	70.8	37.1	3.4	6.7	29.2	2.2	1.1	2.2	1.1	1.1	1.1
居住地区別	相良地区	138	67.4	41.3	15.2	2.2	21.0	2.9	0.7	-	2.2	2.9	2.2
	榛原地区	104	84.6	18.3	7.7	3.8	32.7	1.9	-	1.9	1.9	1.0	1.0
	牧之原地区	77	74.0	33.8	19.5	-	39.0	-	-	2.6	-	1.3	-

【問9で「よくしている」「ある程度している」と回答した方への質問】

問9-3 地域活動に対して、満足していますか。(○は1つだけ)

「普通」の割合が47.5%と最も高く、次いで「満足」と「まあ満足」をあわせた“満足”の割合が38.5%となっています。

平成29年度と比較すると、「満足」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、40歳代以下で“満足”の割合が、60歳代で「普通」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で“満足”の割合が、榛原地区で「普通」の割合が高くなっています。

単位：％

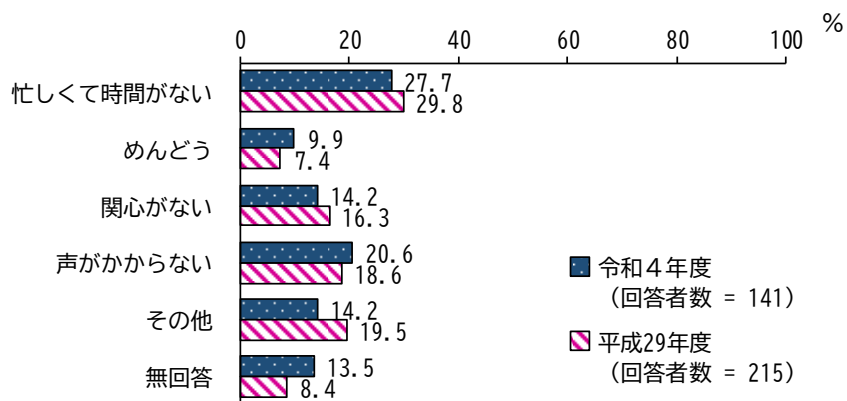
区分		回答者数 (件)	満足	まあ満足	普通	やや不満	不満	わからない	無回答
全 体		322	6.2	32.3	47.5	5.0	3.7	4.7	0.6
性別	男性	148	9.5	32.4	44.6	6.1	4.7	2.0	0.7
	女性	166	3.6	31.9	50.6	4.2	3.0	6.0	0.6
	答えたくない	3	—	—	33.3	—	—	66.7	—
年代別	18～29歳	13	23.1	23.1	53.8	—	—	—	—
	30歳代	20	—	40.0	35.0	5.0	10.0	10.0	—
	40歳代	33	—	45.5	21.2	9.1	12.1	12.1	—
	50歳代	52	1.9	30.8	48.1	7.7	9.6	1.9	—
	60歳代	85	5.9	25.9	61.2	4.7	—	2.4	—
	70歳以上	89	11.2	31.5	47.2	4.5	1.1	4.5	—
居住地区別	相良地区	138	5.8	36.2	43.5	7.2	3.6	3.6	—
	榛原地区	104	7.7	27.9	54.8	2.9	1.9	4.8	—
	牧之原地区	77	5.2	29.9	46.8	3.9	6.5	5.2	2.6

【問9で「あまりしていない」「全くしていない」と回答した方への質問】

問9-4 していない理由をお聞かせください。(○は1つだけ)

「忙しくて時間がない」の割合が27.7%と最も高く、次いで「声がかからない」の割合が20.6%、「関心がない」の割合が14.2%となっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「関心がない」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、50歳代で「声がかからない」の割合が、40歳代で「忙しくて時間がない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「声がかからない」の割合が、相良地区で「忙しくて時間がない」の割合が高くなっています。

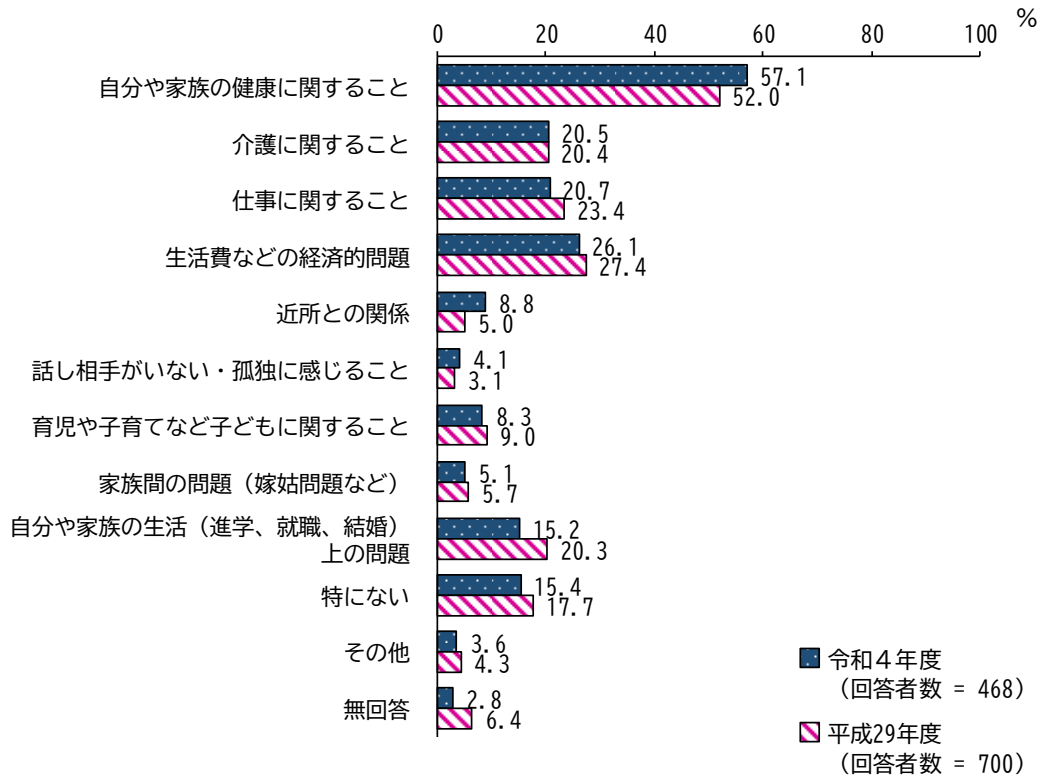
単位：％

区分		回答者数 (件)	忙しくて 時間がない	めんどう	関心がない	声がか からない	その他	無回 答
全 体		141	27.7	9.9	14.2	20.6	14.2	13.5
性別	男性	56	28.6	7.1	25.0	17.9	10.7	10.7
	女性	81	27.2	11.1	7.4	23.5	14.8	16.0
	答えたくない	2	50.0	—	—	—	50.0	—
年代別	18～29歳	26	23.1	7.7	19.2	30.8	—	19.2
	30歳代	21	33.3	—	14.3	9.5	28.6	14.3
	40歳代	19	42.1	10.5	5.3	26.3	10.5	5.3
	50歳代	18	33.3	16.7	5.6	38.9	—	5.6
	60歳代	18	27.8	22.2	11.1	11.1	16.7	11.1
	70歳以上	28	17.9	3.6	21.4	17.9	17.9	21.4
居住地区別	相良地区	65	33.8	7.7	15.4	16.9	12.3	13.8
	榛原地区	40	20.0	7.5	12.5	30.0	10.0	20.0
	牧之原地区	33	24.2	15.2	15.2	18.2	21.2	6.1

問10 毎日の暮らしの中で、どのようなことに悩みや不安を感じていますか。(あてはまるものすべてに○)

「自分や家族の健康に関すること」の割合が57.1%と最も高く、次いで「生活費などの経済的問題」の割合が26.1%、「仕事に関すること」の割合が20.7%となっています。

平成29年度と比較すると、「自分や家族の健康に関すること」の割合が増加しています。一方、「自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「自分や家族の健康に関すること」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、50歳代で「仕事に関すること」の割合が、40歳代で「自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

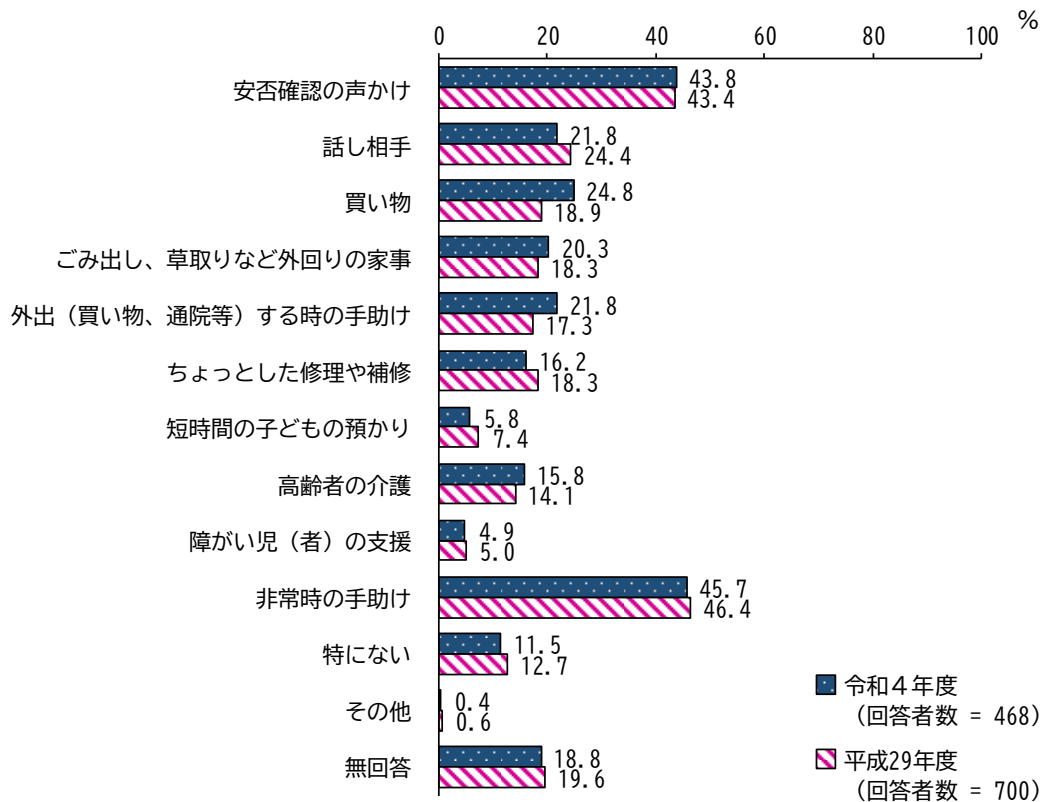
単位：％

区分	回答者数（件）	自分や家族の健康に関すること	介護に関すること	仕事に関すること	生活費などの経済的問題	近所との関係	話し相手がいない・孤独に感じる	育児や子育てなど子どもに関すること	家族間の問題（嫁姑問題など）	自分や家族の生活（進学、就職、結婚）上の問題	特になし	その他	無回答	
全体	468	57.1	20.5	20.7	26.1	8.8	4.1	8.3	5.1	15.2	15.4	3.6	2.8	
性別	男性	208	49.5	21.2	22.6	26.9	6.3	3.8	8.7	3.8	13.5	15.9	4.3	4.3
	女性	247	64.0	20.6	19.0	26.3	10.5	4.5	8.1	6.1	16.6	14.6	3.2	1.2
	答えたくない	5	20.0	—	20.0	20.0	40.0	—	20.0	20.0	—	40.0	—	—
年代別	18～29歳	39	25.6	2.6	35.9	35.9	7.7	2.6	10.3	5.1	20.5	20.5	—	5.1
	30歳代	41	31.7	7.3	31.7	29.3	4.9	4.9	48.8	12.2	22.0	14.6	4.9	2.4
	40歳代	52	55.8	13.5	30.8	30.8	9.6	3.8	19.2	9.6	30.8	13.5	5.8	—
	50歳代	70	64.3	31.4	32.9	30.0	7.1	2.9	2.9	2.9	17.1	12.9	2.9	—
	60歳代	105	62.9	21.9	13.3	20.0	7.6	1.0	1.9	3.8	12.4	19.0	2.9	4.8
	70歳以上	118	65.3	25.4	8.5	22.9	12.7	9.3	0.8	3.4	6.8	16.1	5.1	1.7
居住地区別	相良地区	205	57.6	18.5	18.5	25.4	9.8	3.9	7.8	8.3	18.0	15.1	3.4	2.4
	榛原地区	145	57.2	24.8	23.4	26.2	8.3	2.8	11.0	1.4	11.0	17.9	2.8	2.1
	牧之原地区	111	57.7	19.8	19.8	27.9	7.2	6.3	5.4	3.6	14.4	11.7	5.4	3.6

問 11 ①あなた自身やご家族が、高齢や病気、もしくは子育てなどで日常生活が不自由になったとき、地域の方にどのような手助けをしてほしいですか。(あてはまるものすべてに○)

「非常時の手助け」の割合が 45.7%と最も高く、次いで「安否確認の声かけ」の割合が 43.8%、「買い物」の割合が 24.8%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「買い物」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「安否確認の声かけ」「外出（買い物、通院等）する時の手助け」「ちょっとした修理や補修」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「非常時の手助け」の割合が、30歳代で「安否確認の声かけ」「非常時の手助け」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

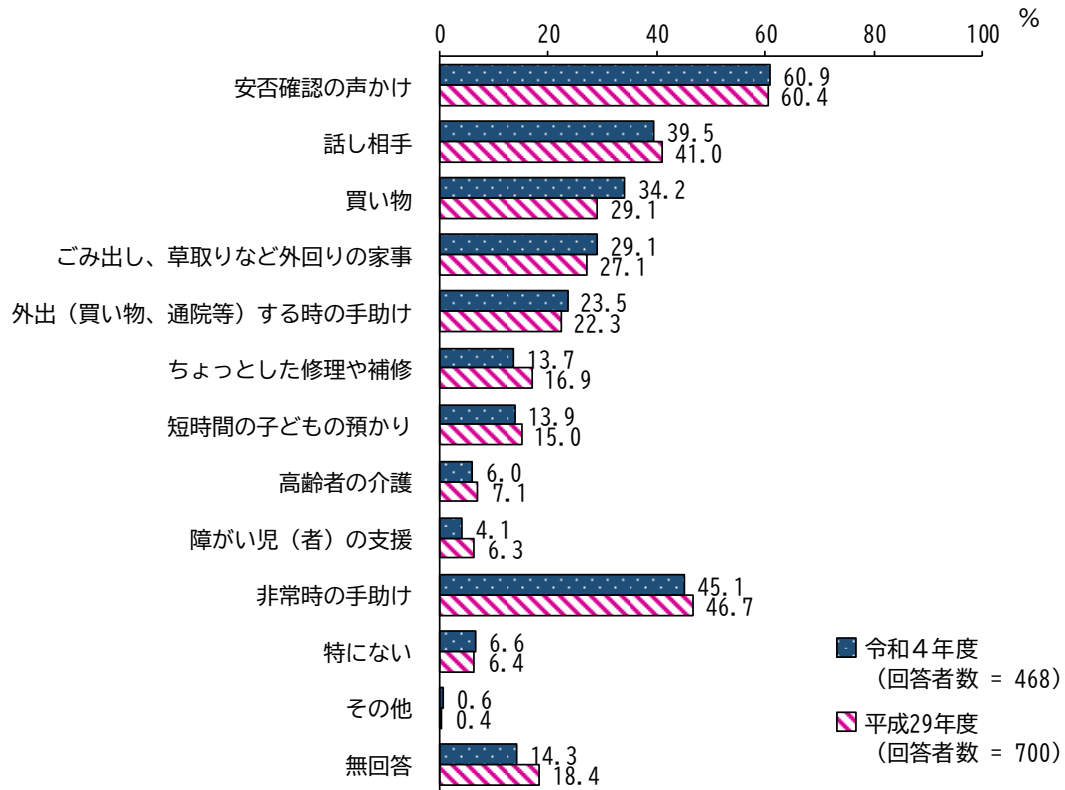
単位：％

区分		回答者数（件）	安否確認の声かけ	話し相手	買い物	ごみ出し、草取りなど外回りの家事	外出（買い物、通院等）する時の手助け	ちよつとした修理や補修	預かり 短時間の子ども	高齢者の介護	障がい児（者）の支援	非常時の手助け	特にない	その他	無回答
全 体		468	43.8	21.8	24.8	20.3	21.8	16.2	5.8	15.8	4.9	45.7	11.5	0.4	18.8
性別	男性	208	36.5	17.3	21.2	14.4	13.9	10.6	3.8	15.4	2.9	41.8	13.9	—	23.6
	女性	247	51.8	26.7	27.9	25.1	28.7	21.5	7.7	16.6	6.5	50.2	8.9	0.8	14.2
	答えたくない	5	20.0	—	40.0	40.0	40.0	20.0	—	20.0	20.0	20.0	20.0	—	20.0
年代別	18～29歳	39	48.7	30.8	25.6	12.8	15.4	20.5	12.8	17.9	10.3	66.7	5.1	2.6	7.7
	30歳代	41	56.1	24.4	26.8	24.4	17.1	17.1	22.0	17.1	2.4	56.1	7.3	—	14.6
	40歳代	52	51.9	28.8	30.8	21.2	23.1	21.2	15.4	21.2	11.5	51.9	11.5	—	7.7
	50歳代	70	35.7	14.3	14.3	14.3	20.0	17.1	2.9	18.6	4.3	41.4	21.4	—	18.6
	60歳代	105	48.6	18.1	27.6	23.8	23.8	11.4	—	14.3	1.0	48.6	12.4	—	15.2
	70歳以上	118	37.3	21.2	28.0	22.0	24.6	16.1	0.8	11.9	5.1	35.6	9.3	0.8	28.0
居住地区別	相良地区	205	42.4	20.5	24.9	22.0	21.5	15.6	6.3	15.1	5.4	43.9	13.2	0.5	19.5
	榛原地区	145	48.3	22.1	23.4	19.3	21.4	16.6	6.2	16.6	4.8	48.3	11.7	0.7	16.6
	牧之原地区	111	43.2	25.2	27.9	18.9	23.4	18.0	4.5	16.2	3.6	47.7	6.3	—	19.8

問11 ②また、隣近所で、同様の理由等で困っている家庭があったら、どのような手助けができると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「安否確認の声かけ」の割合が60.9%と最も高く、次いで「非常時の手助け」の割合が45.1%、「話し相手」の割合が39.5%となっています。

平成29年度と比較すると、「買い物」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「話し相手」「安否確認の声かけ」「買い物」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「外出（買い物、通院等）する時の手助け」「話し相手」の割合が、50歳代で「非常時の手助け」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「買い物」の割合が高くなっています。

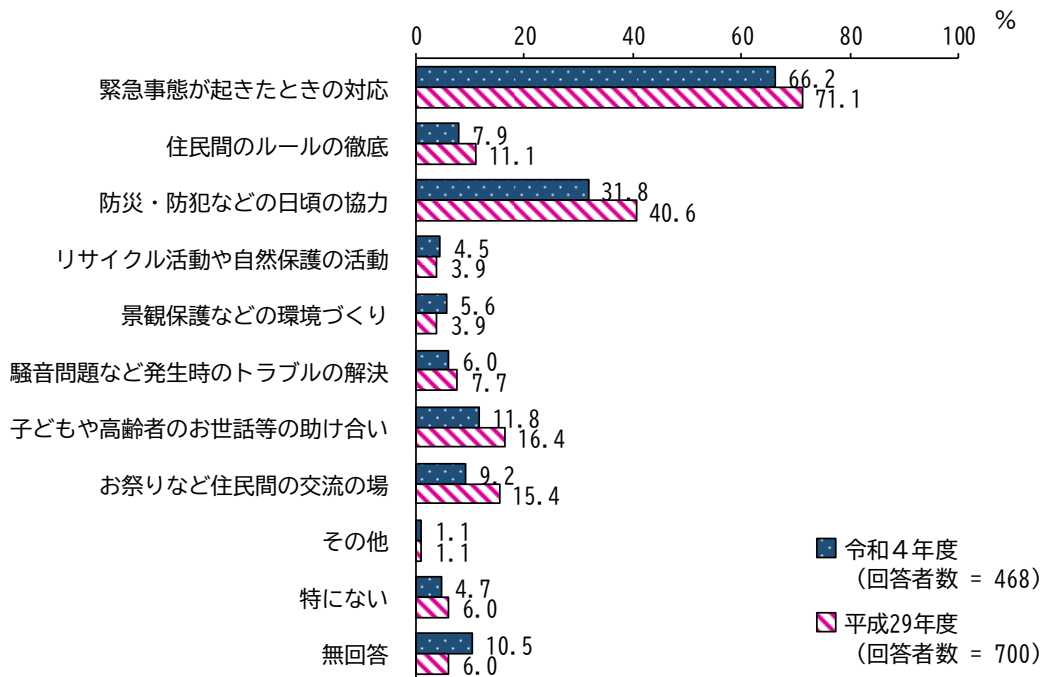
単位：％

区分		回答者数（件）	安否確認の声かけ	話し相手	買い物	ごみ出し、草取りなど外回りの家事	外出（買い物、通院等）する時の手助け	ちよつとした修理や補修	短時間の子どもの預かり	高齢者の介護	障がい児（者）の支援	非常時の手助け	特にない	その他	無回答
全体		468	60.9	39.5	34.2	29.1	23.5	13.7	13.9	6.0	4.1	45.1	6.6	0.6	14.3
性別	男性	208	52.4	28.8	26.0	31.3	17.3	20.2	8.2	3.8	3.8	47.1	7.7	—	18.3
	女性	247	70.0	49.4	42.1	27.1	29.6	8.9	19.4	8.1	4.5	44.5	4.9	1.2	10.5
	答えたくない	5	20.0	—	40.0	40.0	20.0	—	—	—	—	20.0	40.0	—	20.0
年代別	18～29歳	39	66.7	48.7	35.9	28.2	33.3	17.9	20.5	10.3	12.8	53.8	5.1	2.6	12.8
	30歳代	41	65.9	36.6	41.5	26.8	9.8	7.3	19.5	9.8	2.4	46.3	7.3	—	9.8
	40歳代	52	67.3	38.5	36.5	26.9	30.8	13.5	11.5	1.9	3.8	50.0	9.6	1.9	9.6
	50歳代	70	55.7	34.3	28.6	28.6	20.0	20.0	17.1	—	1.4	54.3	10.0	—	12.9
	60歳代	105	68.6	40.0	33.3	30.5	25.7	8.6	10.5	6.7	2.9	46.7	5.7	—	10.5
	70歳以上	118	56.8	39.8	35.6	28.8	22.0	16.9	10.2	5.9	4.2	34.7	3.4	—	19.5
居住地区別	相良地区	205	63.9	41.0	34.1	28.3	21.0	15.6	12.2	5.9	3.9	46.3	7.3	1.5	11.7
	榛原地区	145	60.0	40.0	31.7	29.7	25.5	11.7	15.9	5.5	2.8	45.5	6.9	—	15.2
	牧之原地区	111	59.5	36.9	39.6	30.6	27.0	13.5	15.3	7.2	6.3	43.2	3.6	—	17.1

問 12 地域社会の役割について、どのようなことを期待しますか。(〇は2つまで)

「緊急事態が起きたときの対応」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が 31.8%、「子どもや高齢者のお世話等の助け合い」の割合が 11.8%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「防災・防犯などの日頃の協力」「お祭りなど住民間の交流の場」の割合が減少しています。



【属性別】

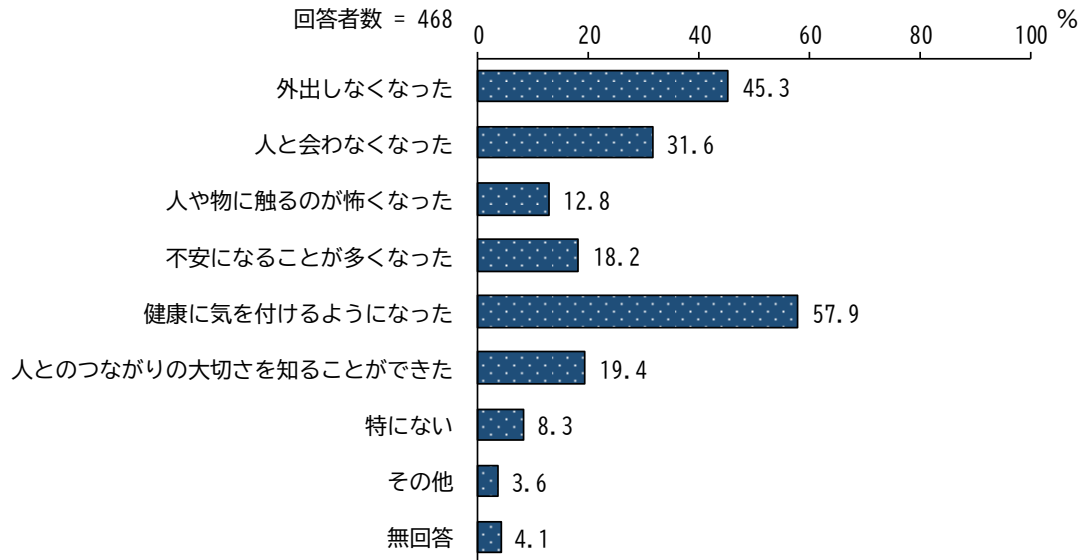
性別にみると、他に比べ、男性で「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が高くなっています。
 年代別にみると、他に比べ、30歳代で「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が、60歳代で「緊急事態が起きたときの対応」「防災・防犯などの日頃の協力」の割合が高くなっています。
 居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分		回答者数(件)	緊急事態が起きたときの対応	住民間のルールの徹底	防災・防犯などの日頃の協力	リサイクル活動や自然保護の活動	景観保護などの環境づくり	騒音問題など発生時のトラブルの解決	子どもや高齢者のお世話等の助け合い	お祭りなど住民間の交流の場	その他	特になし	無回答
全体		468	66.2	7.9	31.8	4.5	5.6	6.0	11.8	9.2	1.1	4.7	10.5
性別	男性	208	64.4	8.2	37.0	4.8	3.8	7.7	8.2	12.0	—	6.3	9.6
	女性	247	69.2	7.7	27.5	4.0	6.5	4.9	15.4	7.3	1.6	2.4	11.3
	答えたくない	5	60.0	20.0	—	20.0	—	—	—	—	20.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	66.7	5.1	17.9	2.6	5.1	5.1	5.1	23.1	—	2.6	15.4
	30歳代	41	58.5	7.3	41.5	7.3	2.4	2.4	7.3	9.8	2.4	4.9	17.1
	40歳代	52	67.3	7.7	26.9	3.8	1.9	13.5	13.5	7.7	—	7.7	7.7
	50歳代	70	68.6	10.0	22.9	7.1	12.9	5.7	14.3	7.1	—	5.7	7.1
	60歳代	105	75.2	8.6	37.1	1.9	3.8	5.7	11.4	9.5	—	1.0	10.5
	70歳以上	118	63.6	8.5	35.6	5.1	5.9	5.1	14.4	6.8	0.8	5.1	9.3
居住地区別	相良地区	205	65.4	10.7	31.7	3.4	5.4	6.8	10.7	9.8	2.0	4.4	10.2
	榛原地区	145	69.0	6.2	30.3	6.2	4.8	6.9	14.5	9.0	—	4.1	11.7
	牧之原地区	111	65.8	4.5	34.2	4.5	6.3	3.6	10.8	9.0	0.9	4.5	9.0

問13 新型コロナウイルス感染症の流行を受けて、あなたの意識や行動に変化はありましたか。(あてはまるものすべてに○)

「健康に気を付けるようになった」の割合が57.9%と最も高く、次いで「外出しなくなった」の割合が45.3%、「人と会わなくなった」の割合が31.6%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「人と会わなくなった」「人とのつながりの大切さを知ることができた」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「人と会わなくなった」の割合が、70歳以上で「外出しなくなった」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「健康に気を付けるようになった」の割合が高くなっています。

単位：％

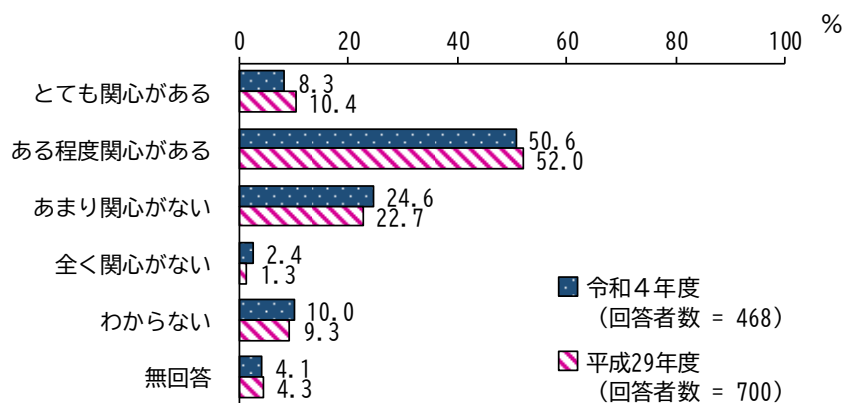
区分		回答者数 (件)	外出しなくなった	人と会わなくなっ た	人や物に触るのが 怖くなった	不安になることが 多くなった	健康に気を付ける ようになった	人とのつながりの 大切さを知ることが できた	特 に な い	その他	無 回 答
全 体		468	45.3	31.6	12.8	18.2	57.9	19.4	8.3	3.6	4.1
性別	男性	208	39.9	23.1	8.7	16.3	57.2	13.9	12.5	2.9	3.8
	女性	247	49.4	38.1	16.2	19.8	59.9	24.7	3.6	4.5	4.5
	答えたくない	5	20.0	20.0	40.0	20.0	20.0	—	60.0	—	—
年代別	18～29歳	39	25.6	15.4	12.8	15.4	64.1	17.9	2.6	7.7	2.6
	30歳代	41	36.6	34.1	19.5	14.6	56.1	17.1	9.8	2.4	—
	40歳代	52	40.4	38.5	19.2	21.2	59.6	15.4	9.6	7.7	3.8
	50歳代	70	38.6	41.4	15.7	15.7	57.1	21.4	5.7	2.9	4.3
	60歳代	105	48.6	32.4	10.5	21.9	52.4	14.3	9.5	1.9	6.7
	70歳以上	118	54.2	28.0	6.8	20.3	61.0	23.7	8.5	3.4	5.1
居住地区別	相良地区	205	43.9	36.1	13.7	16.1	67.3	22.0	7.8	2.4	4.4
	榛原地区	145	44.8	26.9	13.1	19.3	54.5	20.0	9.0	4.8	3.4
	牧之原地区	111	45.9	27.0	10.8	20.7	47.7	15.3	8.1	4.5	4.5

(3) 福祉への関心、意識について

問 14 「福祉」に関心がありますか。(〇は1つだけ)

「とても関心がある」と「ある程度関心がある」をあわせた“関心がある”の割合が58.9%と高くなっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、男性に比べ、女性で“関心がある”の割合が高くなっています。
 年代別にみると、他に比べ、60歳代、70歳以上で“関心がある”の割合が高くなっています。
 居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

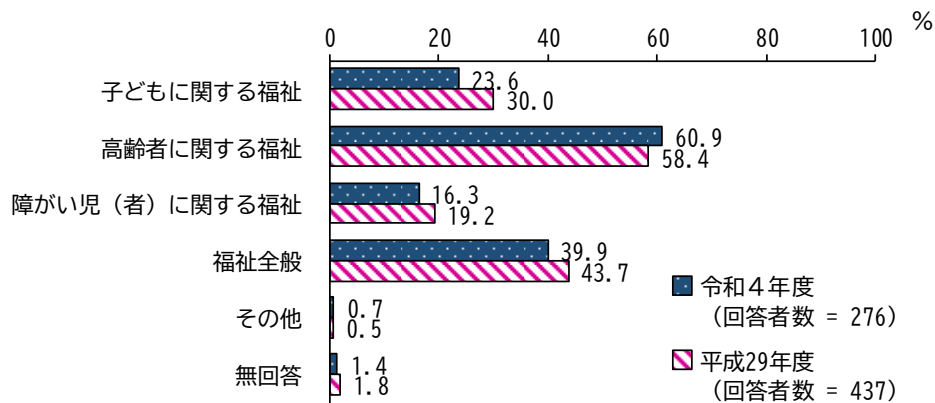
区分		回答者数(件)	とても関心がある	ある程度関心がある	あまり関心がない	全く関心がない	わからない	無回答
全 体		468	8.3	50.6	24.6	2.4	10.0	4.1
性別	男性	208	9.6	43.3	29.8	3.8	9.1	4.3
	女性	247	7.3	57.1	19.8	0.8	10.9	4.0
	答えたくない	5	—	40.0	40.0	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	5.1	38.5	30.8	7.7	12.8	5.1
	30歳代	41	7.3	43.9	26.8	7.3	14.6	—
	40歳代	52	5.8	38.5	38.5	—	13.5	3.8
	50歳代	70	1.4	47.1	35.7	4.3	7.1	4.3
	60歳代	105	9.5	62.9	14.3	—	7.6	5.7
	70歳以上	118	13.6	54.2	17.8	0.8	8.5	5.1
居住地区別	相良地区	205	8.3	53.2	21.5	2.9	9.8	4.4
	榛原地区	145	11.0	45.5	29.0	2.1	9.0	3.4
	牧之原地区	111	5.4	52.3	24.3	0.9	12.6	4.5

【問 14 で「とても関心がある」「ある程度関心がある」と回答した方への質問】

問 14-1 関心がある福祉はどのような分野ですか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢者に関する福祉」の割合が 60.9%と最も高く、次いで「福祉全般」の割合が 39.9%、「子どもに関する福祉」の割合が 23.6%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「子どもに関する福祉」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「子どもに関する福祉」の割合が、40歳代で「子どもに関する福祉」「障がい児（者）に関する福祉」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「障がい児（者）に関する福祉」「子どもに関する福祉」の割合が、榛原地区で「高齢者に関する福祉」の割合が高くなっています。

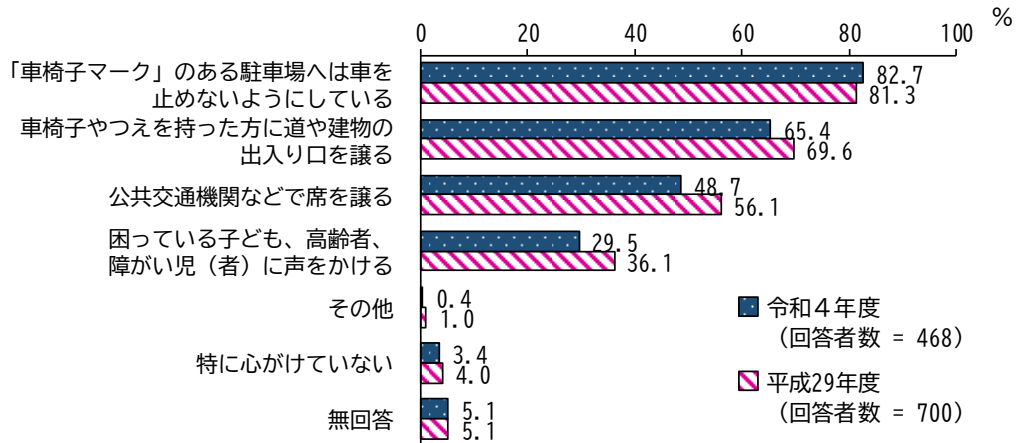
単位：％

区分		回答者数 (件)	子どもに関する 福祉	高齢者に関する 福祉	障がい児(者) に関する福祉	福祉全般	その他	無回答
全 体		276	23.6	60.9	16.3	39.9	0.7	1.4
性別	男性	110	19.1	62.7	15.5	42.7	0.9	1.8
	女性	159	26.4	59.1	17.6	38.4	0.6	1.3
	答えたくない	2	50.0	—	—	50.0	—	—
年代別	18～29歳	17	64.7	52.9	29.4	—	—	—
	30歳代	21	47.6	42.9	14.3	38.1	—	—
	40歳代	23	65.2	43.5	47.8	43.5	—	—
	50歳代	34	14.7	64.7	17.6	35.3	2.9	—
	60歳代	76	14.5	69.7	13.2	46.1	1.3	—
	70歳以上	80	12.5	61.3	11.3	45.0	—	1.3
居住地区別	相良地区	126	31.7	58.7	24.6	40.5	—	—
	榛原地区	82	14.6	67.1	9.8	42.7	1.2	—
	牧之原地区	64	17.2	56.3	9.4	35.9	1.6	6.3

問 15 街中でどのようなことに心がけていますか。(あてはまるものすべてに○)

「車椅子マーク」のある駐車場へは車を止めないようにしている」の割合が 82.7%と最も高く、次いで「車椅子やつえを持った方に道や建物の出入り口を譲る」の割合が 65.4%、「公共交通機関などで席を譲る」の割合が 48.7%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「公共交通機関などで席を譲る」「困っている子ども、高齢者、障がい児（者）に声をかける」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「公共交通機関などで席を譲る」「車椅子やつえを持った方に道や建物の出入り口を譲る」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「公共交通機関などで席を譲る」の割合が、30歳代で「車椅子マーク」のある駐車場へは車を止めないようにしている」「公共交通機関などで席を譲る」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「公共交通機関などで席を譲る」の割合が高くなっています。

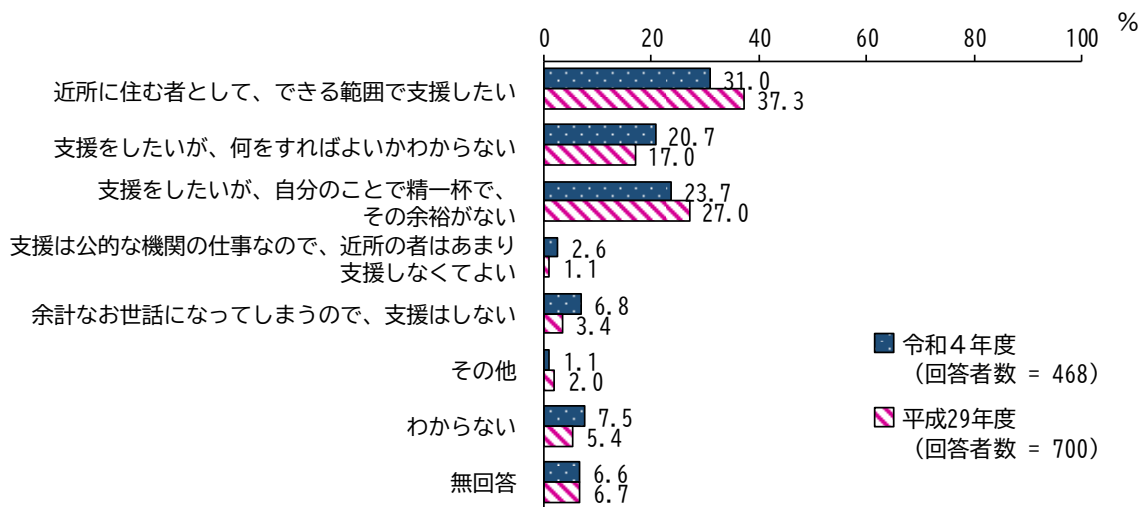
単位：%

区分	回答者数(件)	「車椅子マーク」のある駐車場へは車を止めないようにしている	車椅子やつえを持った方に道や建物の出入り口を譲る	公共交通機関などで席を譲る	困っている子ども、高齢者、障がい児(者)に声をかける	その他	特に心がけていない	無回答	
全体	468	82.7	65.4	48.7	29.5	0.4	3.4	5.1	
性別	男性	208	78.8	60.6	42.8	24.5	0.5	4.3	5.3
	女性	247	85.8	70.9	55.1	34.0	—	2.4	5.3
	答えたくない	5	80.0	60.0	40.0	20.0	20.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	61.5	51.3	71.8	23.1	—	10.3	2.6
	30歳代	41	95.1	68.3	61.0	34.1	—	—	—
	40歳代	52	88.5	67.3	55.8	30.8	—	3.8	5.8
	50歳代	70	87.1	68.6	47.1	24.3	—	2.9	7.1
	60歳代	105	84.8	69.5	49.5	34.3	—	1.9	6.7
	70歳以上	118	78.8	64.4	37.3	28.0	0.8	3.4	6.8
居住地区別	相良地区	205	82.4	66.8	45.9	33.7	0.5	2.9	6.8
	榛原地区	145	85.5	67.6	57.2	27.6	0.7	2.8	3.4
	牧之原地区	111	78.4	62.2	45.9	25.2	—	5.4	4.5

問 16 近所に住む「ひとり暮らしの高齢者」「ねたきりの高齢者や障がい児（者）のいる家族」「子育てをしている家族」「災害の時に自力で避難できない方」などに対する支援（日常生活上のお手伝いなど）について、考えに最も近いものをお選びください。（○は1つだけ）

「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が31.0%と最も高く、次いで「支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない」の割合が23.7%、「支援をしたいが、何をすればよいかわからない」の割合が20.7%となっています。

平成29年度と比較すると、「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「支援をしたいが、何をすればよいかわからない」の割合が、60歳代、70歳以上で「近所に住む者として、できる範囲で支援したい」の割合が高くなっています。

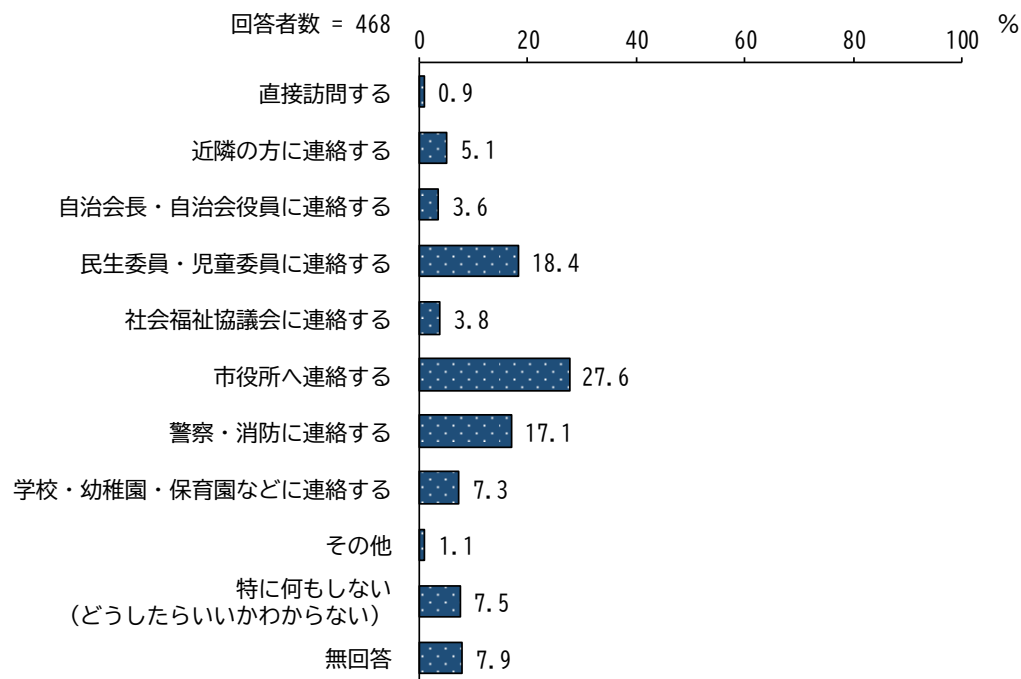
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	近所に住む者として、できる範囲で支援したい	支援をしたいが、何をすればよいかわからない	余裕がない 支援をしたいが、自分のことで精一杯で、その余裕がない	支援は公的な機関の仕事なので、近所の者はあまり支援しなくてよい	余計なお世話になってしまうので、支援はしない	その他	わからない	無回答	
全体	468	31.0	20.7	23.7	2.6	6.8	1.1	7.5	6.6	
性別	男性	208	31.3	19.7	23.1	1.9	9.6	1.4	6.3	6.7
	女性	247	30.8	21.9	23.9	2.8	4.9	0.8	8.1	6.9
	答えたくない	5	20.0	—	40.0	20.0	—	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	10.3	43.6	23.1	2.6	2.6	—	12.8	5.1
	30歳代	41	19.5	22.0	29.3	4.9	12.2	—	9.8	2.4
	40歳代	52	19.2	17.3	28.8	1.9	9.6	3.8	9.6	9.6
	50歳代	70	30.0	15.7	24.3	7.1	4.3	—	8.6	10.0
	60歳代	105	38.1	23.8	21.9	1.9	1.9	1.0	3.8	7.6
	70歳以上	118	37.3	16.1	22.0	0.8	11.0	0.8	5.1	6.8
居住地区別	相良地区	205	32.2	23.4	21.5	3.9	4.9	2.0	5.9	6.3
	榛原地区	145	28.3	20.0	26.9	2.1	7.6	—	9.7	5.5
	牧之原地区	111	31.5	17.1	25.2	—	9.0	0.9	7.2	9.0

問 17 周辺で虐待などの恐れがある状況を知ったら、どのように対応しますか。子どもについて（虐待など）

「市役所へ連絡する」の割合が 27.6%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員に連絡する」の割合が 18.4%、「警察・消防に連絡する」の割合が 17.1%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、40歳代で「市役所へ連絡する」の割合が、30歳代で「警察・消防に連絡する」の割合が高くなっています。

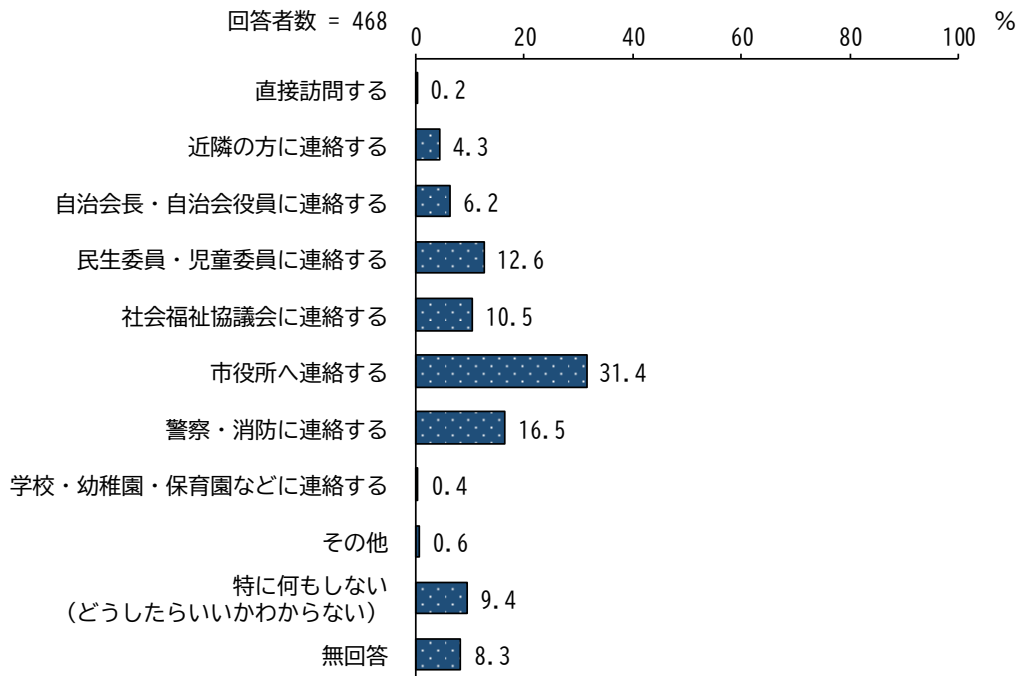
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	直接訪問する	近隣の方に連絡する	自治会長・自治会役員に連絡する	民生委員・児童委員に連絡する	社会福祉協議会に連絡する	市役所へ連絡する	警察・消防に連絡する	学校・幼稚園・保育園などに連絡する	その他	特に何もしない(どうしたらいいかわからない)	無回答	
全体	468	0.9	5.1	3.6	18.4	3.8	27.6	17.1	7.3	1.1	7.5	7.9	
性別	男性	208	1.0	3.8	3.4	15.4	2.9	27.4	21.2	7.7	1.0	7.7	8.7
	女性	247	0.8	6.5	4.0	21.1	4.5	29.1	13.0	6.9	1.2	6.9	6.5
	答えたくない	5	—	—	—	—	20.0	—	60.0	—	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	—	5.1	—	7.7	—	41.0	28.2	5.1	—	10.3	2.6
	30歳代	41	—	—	2.4	4.9	2.4	36.6	31.7	9.8	4.9	4.9	2.4
	40歳代	52	1.9	3.8	—	1.9	1.9	42.3	25.0	9.6	1.9	7.7	3.8
	50歳代	70	—	2.9	5.7	18.6	4.3	32.9	15.7	4.3	1.4	7.1	7.1
	60歳代	105	—	3.8	6.7	21.9	8.6	23.8	15.2	7.6	—	5.7	7.6
	70歳以上	118	0.8	8.5	4.2	29.7	2.5	16.9	10.2	8.5	—	5.9	12.7
居住地区別	相良地区	205	1.0	5.4	2.9	18.5	2.9	29.8	17.1	6.8	1.0	6.3	8.3
	榛原地区	145	0.7	5.5	2.1	18.6	5.5	29.0	17.2	7.6	2.1	6.9	5.5
	牧之原地区	111	0.9	4.5	7.2	18.0	3.6	22.5	16.2	7.2	—	9.9	9.9

問 17 周辺で虐待などの恐れがある状況を知ったら、どのように対応しますか。障がい者について（虐待など）

「市役所へ連絡する」の割合が 31.4%と最も高く、次いで「警察・消防に連絡する」の割合が 16.5%、「民生委員・児童委員に連絡する」の割合が 12.6%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「警察・消防に連絡する」の割合が、40歳代で「市役所へ連絡する」の割合が高くなっています。

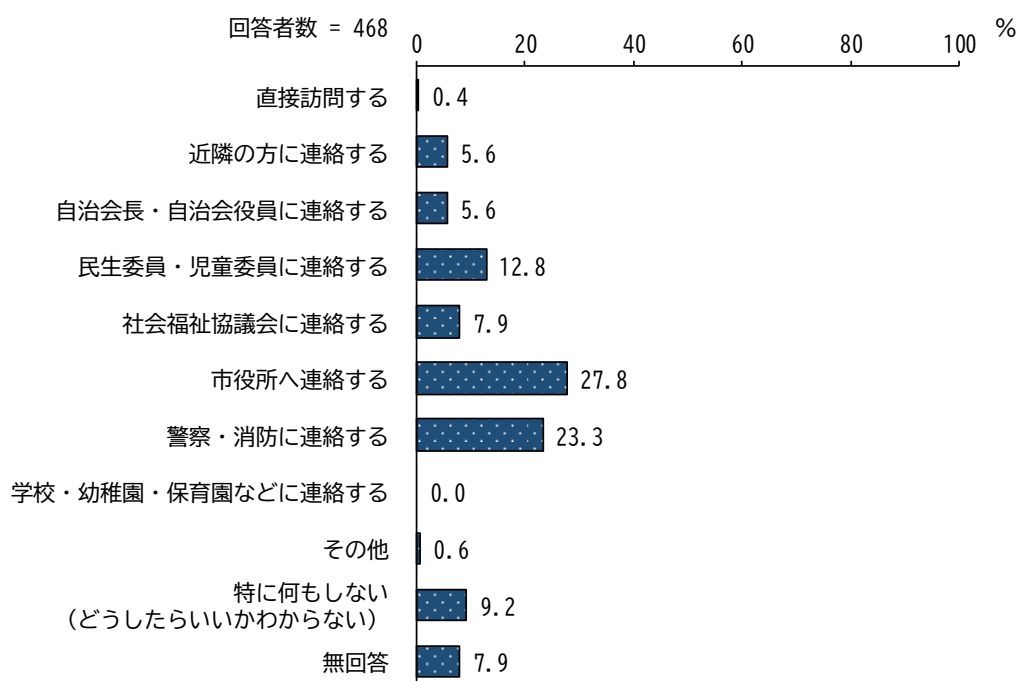
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数(件)	直接訪問する	近隣の方に連絡する	自治会長・自治会役員に連絡する	民生委員・児童委員に連絡する	社会福祉協議会に連絡する	市役所へ連絡する	警察・消防に連絡する	学校・幼稚園・保育園などに連絡する	その他	特に何もしない(どうしたらいかがわからない)	無回答
全体	468	0.2	4.3	6.2	12.6	10.5	31.4	16.5	0.4	0.6	9.4	8.3
性別	男性	208	0.5	2.9	5.3	13.5	9.1	29.3	20.7	0.5	0.5	8.7
	女性	247	—	5.7	7.3	12.1	11.3	34.0	12.6	0.4	0.8	7.3
	答えたくない	5	—	—	—	—	20.0	—	60.0	—	20.0	—
年代別	18~29歳	39	—	2.6	—	5.1	2.6	43.6	23.1	2.6	—	20.5
	30歳代	41	—	2.4	2.4	2.4	4.9	43.9	31.7	—	4.9	2.4
	40歳代	52	—	5.8	—	1.9	5.8	51.9	21.2	—	—	3.8
	50歳代	70	—	2.9	5.7	12.9	8.6	35.7	15.7	—	1.4	7.1
	60歳代	105	—	4.8	12.4	16.2	16.2	21.9	14.3	1.0	—	7.6
	70歳以上	118	0.8	5.1	9.3	18.6	10.2	23.7	11.9	—	—	13.6
居住地区別	相良地区	205	—	4.9	4.4	13.7	10.2	33.2	17.1	—	0.5	8.8
	榛原地区	145	—	2.8	6.2	13.8	11.7	33.8	15.2	0.7	1.4	6.2
	牧之原地区	111	0.9	5.4	9.9	9.0	9.9	24.3	17.1	0.9	—	9.9

問 17 周辺で虐待などの恐れがある状況を知ったら、どのように対応しますか。高齢者について（高齢者虐待・孤独死など）

「市役所へ連絡する」の割合が 27.8%と最も高く、次いで「警察・消防に連絡する」の割合が 23.3%、「民生委員・児童委員に連絡する」の割合が 12.8%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「警察・消防に連絡する」の割合が、40歳代で「市役所へ連絡する」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「民生委員・児童委員に連絡する」の割合が高くなっています。

単位：％

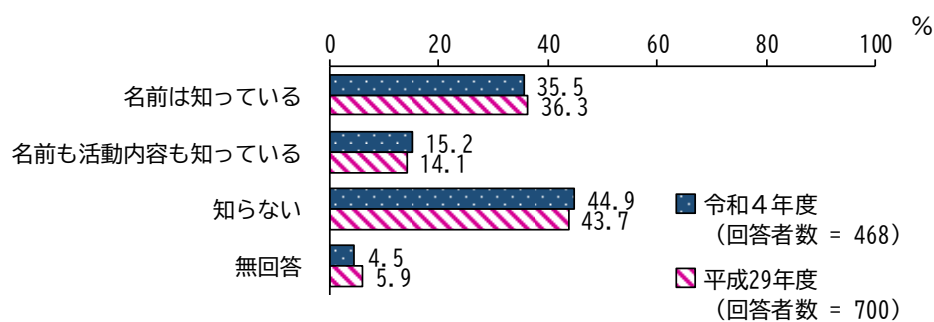
区分	回答者数(件)	直接訪問する	近隣の方に連絡する	自治会長・自治会役員に連絡する	民生委員・児童委員に連絡する	社会福祉協議会に連絡する	市役所へ連絡する	警察・消防に連絡する	学校・幼稚園・保育園などに連絡する	その他	特に何もしない(どうしたらいいかわからない)	無回答
全体	468	0.4	5.6	5.6	12.8	7.9	27.8	23.3	—	0.6	9.2	7.9
性別	男性	208	1.0	5.3	5.8	11.1	6.3	30.3	24.5	—	0.5	8.7
	女性	247	—	6.1	5.7	15.0	8.5	26.7	21.9	—	0.8	6.9
	答えたくない	5	—	—	—	—	20.0	—	60.0	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	—	5.1	2.6	5.1	5.1	38.5	30.8	—	—	17.9
	30歳代	41	—	2.4	2.4	2.4	2.4	41.5	36.6	—	4.9	2.4
	40歳代	52	—	5.8	—	1.9	5.8	46.2	25.0	—	—	11.5
	50歳代	70	—	1.4	5.7	10.0	8.6	37.1	18.6	—	1.4	7.1
	60歳代	105	—	6.7	10.5	20.0	9.5	21.9	20.0	—	—	7.6
	70歳以上	118	1.7	7.6	7.6	18.6	7.6	16.1	22.0	—	—	12.7
居住地区別	相良地区	205	—	4.9	3.9	12.2	8.8	28.8	25.9	—	0.5	8.3
	榛原地区	145	0.7	3.4	6.2	17.9	6.2	30.3	20.7	—	1.4	5.5
	牧之原地区	111	0.9	9.9	8.1	8.1	8.1	22.5	21.6	—	—	9.9

(4) 民生委員・児童委員について

問 18 お住まいの地域の民生委員・児童委員を知っていますか。(〇は1つだけ)

「知らない」の割合が44.9%と最も高く、次いで「名前は知っている」の割合が35.5%、「名前も活動内容も知っている」の割合が15.2%となっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「知らない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「名前は知っている」の割合が高くなっています。

単位：％

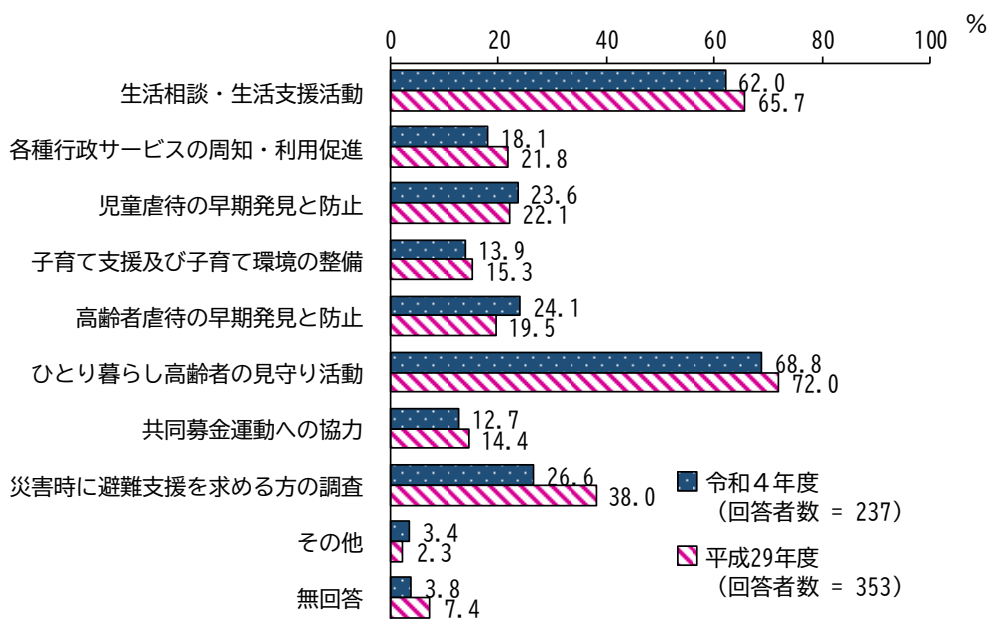
区分		回答者数 (件)	名前は知っている	名前も活動内容も 知っている	知らない	無回答
全 体		468	35.5	15.2	44.9	4.5
性別	男性	208	30.8	16.8	48.1	4.3
	女性	247	39.3	14.2	41.7	4.9
	答えたくない	5	—	20.0	80.0	—
年代別	18～29歳	39	15.4	—	82.1	2.6
	30歳代	41	19.5	2.4	78.0	—
	40歳代	52	25.0	11.5	59.6	3.8
	50歳代	70	34.3	8.6	52.9	4.3
	60歳代	105	42.9	17.1	34.3	5.7
	70歳以上	118	40.7	28.8	24.6	5.9
居住地区別	相良地区	205	33.7	16.6	44.9	4.9
	榛原地区	145	34.5	16.6	44.8	4.1
	牧之原地区	111	40.5	11.7	43.2	4.5

【問 18 で「名前は知っている」「名前も活動内容も知っている」と回答した方への質問】

問 18-1 お住まいの地域の民生委員・児童委員が行っている活動を知っていますか。
知っている活動をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

「ひとり暮らし高齢者の見守り活動」の割合が 68.8%と最も高く、次いで「生活相談・生活支援活動」の割合が 62.0%、「災害時に避難支援を求める方の調査」の割合が 26.6%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「災害時に避難支援を求める方の調査」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、40歳代で「生活相談・生活支援活動」の割合が、60歳代で「災害時に避難支援を求める方の調査」、70歳以上で「ひとり暮らし高齢者の見守り活動」の割合がの割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「災害時に避難支援を求める方の調査」「ひとり暮らし高齢者の見守り活動」「各種行政サービスの周知・利用促進」「共同募金運動への協力」の割合が高くなっています。

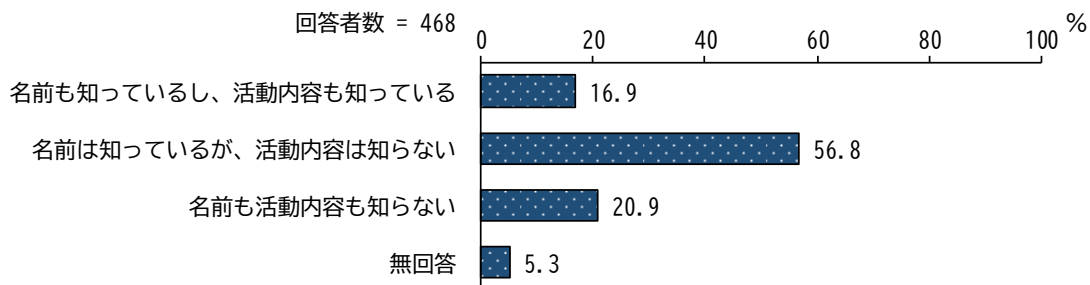
単位：%

区分	回答者数(件)	生活相談・生活支援活動	各種行政サービスの周知・利用促進	児童虐待の早期発見と防止	子育て支援及び子育て環境の整備	高齢者虐待の早期発見と防止	ひとり暮らし高齢者の見守り活動	共同募金運動への協力	災害時に避難支援を求める方の調査	その他	無回答	
全体	237	62.0	18.1	23.6	13.9	24.1	68.8	12.7	26.6	3.4	3.8	
性別	男性	99	63.6	17.2	22.2	14.1	26.3	66.7	16.2	28.3	3.0	6.1
	女性	132	61.4	19.7	25.8	14.4	22.7	72.7	10.6	26.5	2.3	2.3
	答えたくない	1	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—
年代別	18～29歳	6	66.7	33.3	—	—	—	66.7	—	—	—	—
	30歳代	9	33.3	11.1	11.1	—	11.1	55.6	—	22.2	—	11.1
	40歳代	19	78.9	15.8	15.8	21.1	15.8	52.6	10.5	10.5	—	5.3
	50歳代	30	50.0	6.7	10.0	10.0	13.3	50.0	10.0	20.0	—	3.3
	60歳代	63	63.5	23.8	25.4	17.5	20.6	71.4	9.5	38.1	1.6	4.8
	70歳以上	82	67.1	22.0	32.9	17.1	35.4	85.4	20.7	30.5	4.9	1.2
居住地区別	相良地区	103	67.0	20.4	28.2	15.5	30.1	68.0	12.6	25.2	4.9	2.9
	榛原地区	74	63.5	24.3	27.0	17.6	24.3	75.7	18.9	33.8	2.7	2.7
	牧之原地区	58	50.0	6.9	12.1	6.9	13.8	63.8	5.2	20.7	1.7	6.9

(5) 福祉支援機関・福祉サービスについて

問 19 牧之原市社会福祉協議会について知っていますか。(〇は1つだけ)

「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が 56.8%と最も高く、次いで「名前も活動内容も知らない」の割合が 20.9%、「名前も知っているし、活動内容も知っている」の割合が 16.9%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「名前も活動内容も知らない」の割合が、40歳代で「名前は知っているが、活動内容は知らない」の割合が高くなっています。

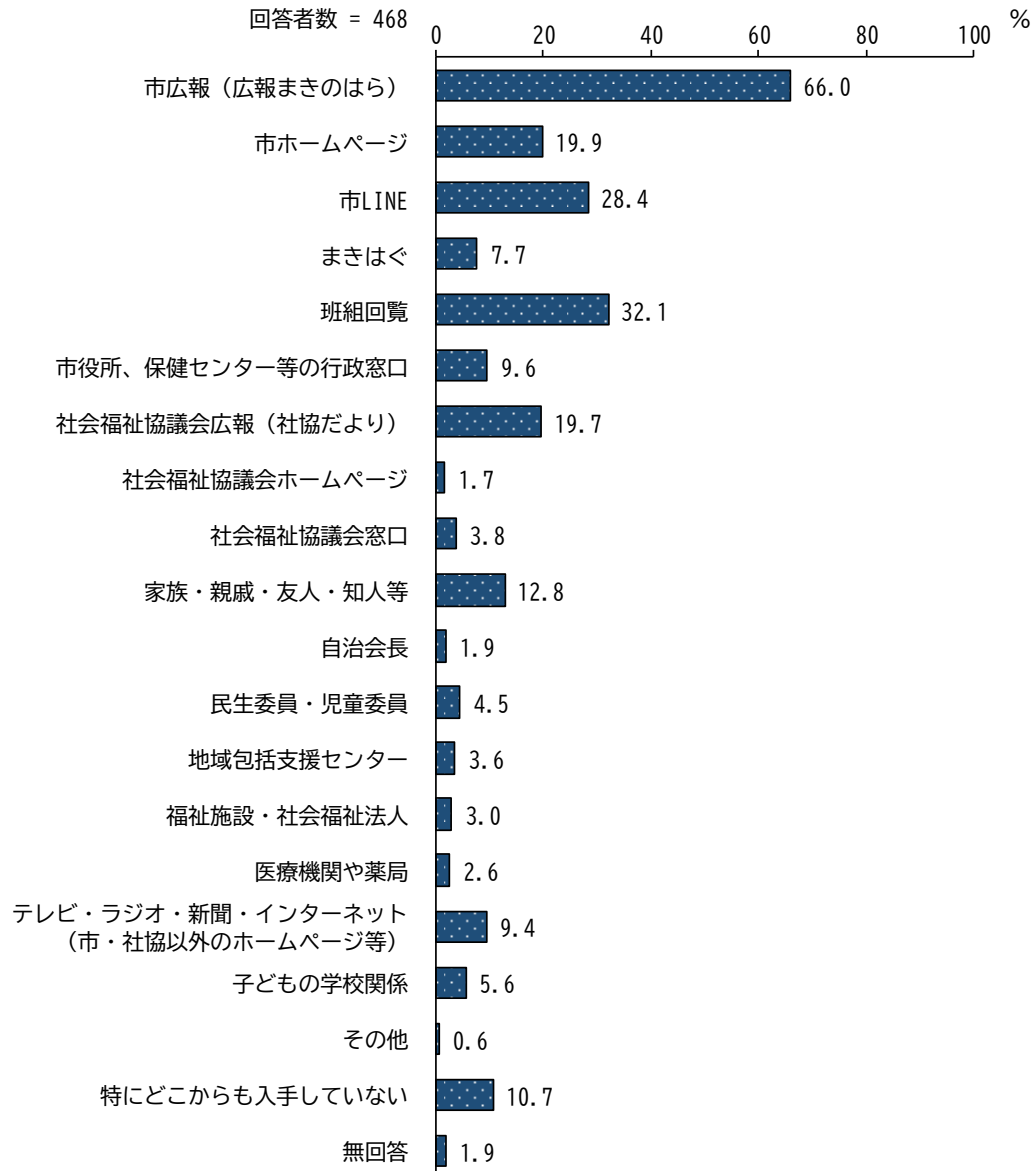
居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「名前も活動内容も知らない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分		回答者数 (件)	名前も知っている し、活動内容も知っ ている	名前は知っている が、活動内容は知ら ない	名前も活動内容も 知らない	無回答
全 体		468	16.9	56.8	20.9	5.3
性別	男性	208	19.7	50.0	24.5	5.8
	女性	247	15.0	62.3	17.4	5.3
	答えたくない	5	—	60.0	40.0	—
年代別	18～29歳	39	10.3	38.5	48.7	2.6
	30歳代	41	9.8	56.1	34.1	—
	40歳代	52	11.5	67.3	15.4	5.8
	50歳代	70	12.9	54.3	28.6	4.3
	60歳代	105	18.1	65.7	10.5	5.7
	70歳以上	118	26.3	51.7	11.9	10.2
居住地区別	相良地区	205	20.5	54.6	19.0	5.9
	榛原地区	145	16.6	61.4	17.9	4.1
	牧之原地区	111	11.7	54.1	27.9	6.3

問 20 福祉サービスの情報入手先は、以下のどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「市広報(広報まきのはら)」の割合が 66.0%と最も高く、次いで「班組回覧」の割合が 32.1%、「市LINE」の割合が 28.4%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「市LINE」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「特にどこからも入手していない」の割合が、40歳代で「市LINE」の割合が、70歳以上で「社会福祉協議会広報（社協だより）」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「市広報（広報まきのはら）」「班組回覧」の割合が高くなっています。

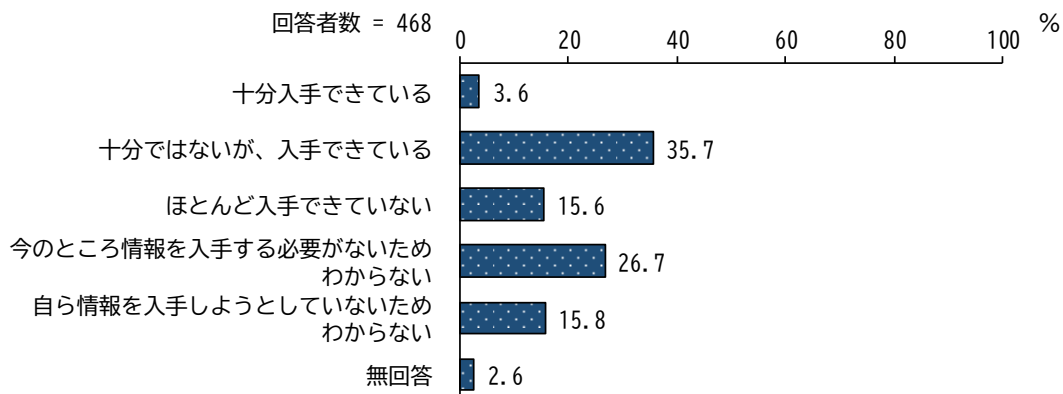
単位：%

区分	回答者数（件）	市広報（広報まきのはら）	市ホームページ	市LINE	まきはぐ	班組回覧	市役所、保健センター等の行政窓口	社会福祉協議会広報（社協だより）	社会福祉協議会ホームページ	社会福祉協議会窓口	家族・親戚・友人・知人等	
全体	468	66.0	19.9	28.4	7.7	32.1	9.6	19.7	1.7	3.8	12.8	
性別	男性	208	66.3	21.6	22.6	4.8	28.4	11.1	16.3	2.4	3.4	12.0
	女性	247	68.0	19.0	34.0	10.1	35.2	8.9	23.5	1.2	4.5	13.4
	答えたくない	5	20.0	20.0	—	20.0	20.0	—	—	—	—	20.0
年代別	18～29歳	39	35.9	23.1	33.3	5.1	17.9	—	—	2.6	—	20.5
	30歳代	41	53.7	26.8	41.5	29.3	19.5	7.3	—	—	—	17.1
	40歳代	52	61.5	32.7	44.2	30.8	28.8	7.7	13.5	—	3.8	13.5
	50歳代	70	65.7	17.1	25.7	1.4	32.9	5.7	12.9	1.4	1.4	7.1
	60歳代	105	77.1	21.0	29.5	1.0	35.2	16.2	21.9	1.0	5.7	10.5
	70歳以上	118	77.1	11.9	18.6	2.5	39.8	10.2	35.6	0.8	2.5	11.0
居住地区別	相良地区	205	65.9	19.0	29.8	9.3	29.3	9.8	24.4	2.9	5.9	14.6
	榛原地区	145	72.4	20.0	31.0	6.9	37.9	9.0	18.6	0.7	1.4	12.4
	牧之原地区	111	61.3	22.5	23.4	5.4	30.6	10.8	13.5	0.9	3.6	9.0

区分		自治会長	民生委員・児童委員	地域包括支援センター	福祉施設・社会福祉法人	医療機関や薬局	テレビ・ラジオ・新聞・インターネット(市・社協以外のホームページ等)	子どもの学校関係	その他	特にどこからも入手していない	無回答
全体		1.9	4.5	3.6	3.0	2.6	9.4	5.6	0.6	10.7	1.9
性別	男性	3.8	3.4	2.9	4.8	2.4	8.2	5.3	0.5	13.9	1.4
	女性	0.4	5.3	4.5	1.6	2.8	10.9	5.7	0.8	6.9	2.4
	答えたくない	—	—	—	—	—	—	20.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	—	—	—	—	—	15.4	5.1	2.6	28.2	2.6
	30歳代	—	—	—	—	—	7.3	14.6	—	14.6	—
	40歳代	1.9	—	1.9	—	3.8	9.6	25.0	1.9	15.4	1.9
	50歳代	1.4	1.4	4.3	2.9	2.9	8.6	1.4	—	11.4	2.9
	60歳代	2.9	6.7	4.8	4.8	4.8	7.6	1.9	—	1.9	1.9
	70歳以上	3.4	9.3	4.2	5.1	1.7	10.2	0.8	0.8	6.8	2.5
居住地区別	相良地区	2.0	4.9	4.9	3.4	2.9	11.7	7.8	1.0	10.2	1.0
	榛原地区	2.1	4.1	2.1	3.4	3.4	10.3	4.1	0.7	7.6	2.8
	牧之原地区	1.8	3.6	3.6	1.8	0.9	4.5	2.7	—	13.5	2.7

問 21 福祉サービスの情報について、入手できていますか。(○は1つだけ)

「十分ではないが、入手できている」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「今のところ情報を入手する必要がないためわからない」の割合が 26.7%、「自ら情報を入手しようとしていないためわからない」の割合が 15.8%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で、30歳代で「自ら情報を入手しようとしていないためわからない」の割合が、60歳代で「十分ではないが、入手できている」の割合が高くなっています。

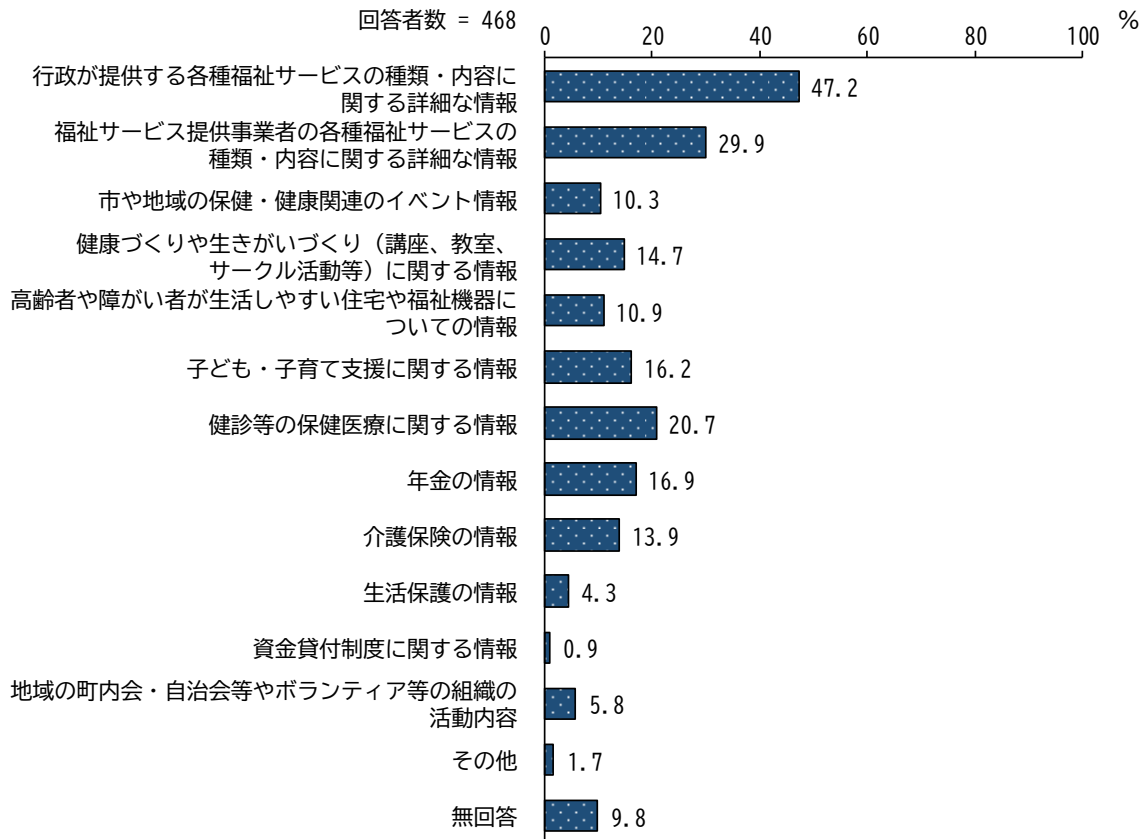
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分		回答者数(件)	十分入手できている	十分ではないが、入手できている	ほとんど入手できていない	今のところ情報を入手する必要がないためわからない	自ら情報を入手しようとしていないためわからない	無回答
全体		468	3.6	35.7	15.6	26.7	15.8	2.6
性別	男性	208	4.3	35.1	15.9	24.5	18.3	1.9
	女性	247	3.2	37.2	14.6	29.1	12.6	3.2
	答えたくない	5	—	20.0	—	40.0	40.0	—
年代別	18～29歳	39	—	25.6	23.1	20.5	28.2	2.6
	30歳代	41	2.4	26.8	22.0	19.5	29.3	—
	40歳代	52	7.7	26.9	7.7	36.5	19.2	1.9
	50歳代	70	4.3	27.1	17.1	32.9	15.7	2.9
	60歳代	105	2.9	47.6	12.4	23.8	11.4	1.9
	70歳以上	118	4.2	46.6	14.4	22.0	8.5	4.2
居住地区別	相良地区	205	4.9	37.1	16.6	28.3	12.2	1.0
	榛原地区	145	0.7	38.6	14.5	26.9	15.9	3.4
	牧之原地区	111	5.4	31.5	13.5	24.3	20.7	4.5

問 22 福祉サービスに関して、特にどのような情報がほしいと思いますか。(〇は3つまで)

「行政が提供する各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報」の割合が47.2%と最も高く、次いで「福祉サービス提供事業者の各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報」の割合が29.9%、「健診等の保健医療に関する情報」の割合が20.7%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代、40歳代で「子ども・子育て支援に関する情報」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「行政が提供する各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報」の割合が高くなっています。

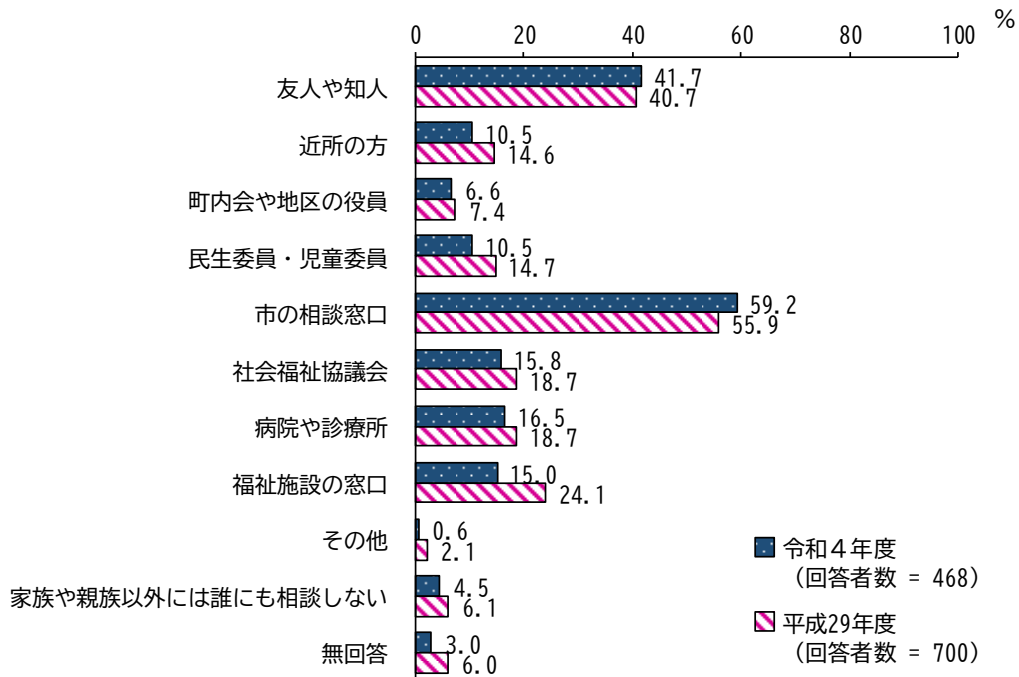
単位：％

区分		回答者数(件)	行政が提供する各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報	福祉サービスの提供事業者の各種福祉サービスの種類・内容に関する詳細な情報	市や地域の保健・健康関連のイベント情報	健康づくりや生きがいづくり(講座、教室、サークル活動等)に関する情報	高齢者や障がい者が生活しやすい住宅や福祉機器についての情報	子ども・子育て支援に関する情報	健診等の保健医療に関する情報	年金の情報	介護保険の情報	生活保護の情報	資金貸付制度に関する情報	地域の町内会・自治会等やボランティア等の組織の活動内容	その他	無回答
全体		468	47.2	29.9	10.3	14.7	10.9	16.2	20.7	16.9	13.9	4.3	0.9	5.8	1.7	9.8
性別	男性	208	43.8	28.8	7.7	11.1	9.6	15.9	19.2	18.8	12.0	7.2	1.4	7.2	1.9	10.6
	女性	247	50.2	31.2	12.6	17.8	12.6	17.0	22.3	15.0	15.4	1.6	0.4	4.0	1.6	8.5
	答えたくない	5	40.0	20.0	20.0	—	—	20.0	20.0	—	—	—	—	20.0	—	20.0
年代別	18～29歳	39	28.2	15.4	23.1	17.9	5.1	33.3	17.9	15.4	5.1	12.8	2.6	7.7	2.6	5.1
	30歳代	41	43.9	22.0	4.9	2.4	2.4	61.0	29.3	7.3	4.9	—	—	2.4	2.4	12.2
	40歳代	52	38.5	30.8	15.4	11.5	9.6	40.4	21.2	7.7	7.7	1.9	—	5.8	1.9	11.5
	50歳代	70	51.4	35.7	5.7	12.9	14.3	10.0	21.4	28.6	12.9	2.9	1.4	7.1	2.9	5.7
	60歳代	105	56.2	33.3	10.5	19.0	6.7	3.8	23.8	19.0	16.2	2.9	1.0	2.9	—	10.5
	70歳以上	118	44.9	29.7	8.5	18.6	16.1	2.5	16.1	12.7	16.1	5.9	0.8	5.9	2.5	12.7
居住地区別	相良地区	205	53.7	29.8	12.7	11.7	10.2	16.6	23.9	16.6	13.2	3.4	0.5	3.4	1.0	11.2
	榛原地区	145	40.7	32.4	9.7	17.2	13.8	16.6	23.4	17.9	13.8	4.1	0.7	5.5	1.4	7.6
	牧之原地区	111	44.1	27.9	7.2	17.1	9.0	15.3	10.8	15.3	15.3	6.3	1.8	9.9	2.7	9.9

問 23 生活上で困ったり、福祉サービスが必要になったとき、家族や親族以外に誰（どこ）に相談しますか。（あてはまるものすべてに○）

「市の相談窓口」の割合が 59.2%と最も高く、次いで「友人や知人」の割合が 41.7%、「病院や診療所」の割合が 16.5%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「福祉施設の窓口」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「友人や知人」の割合が、40歳代で「市の相談窓口」の割合が、70歳以上で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

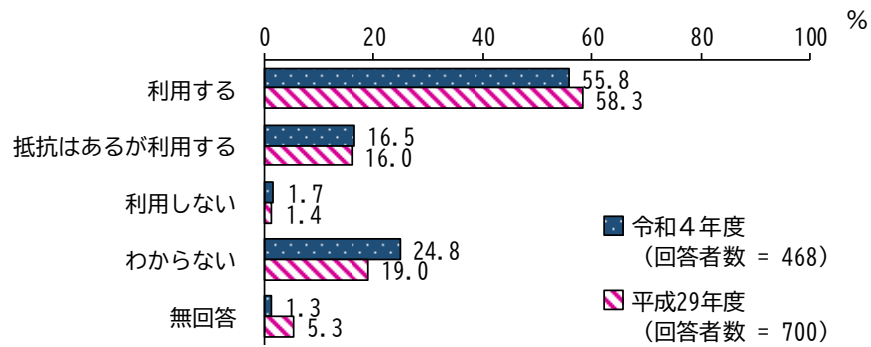
単位：％

区分		回答者数 (件)	友人や知人	近所の方	町内会や地区の役員	民生委員・児童委員	市の相談窓口	社会福祉協議会	病院や診療所	福祉施設の窓口	その他	家族や親族以外には 誰にも相談しない	無回答
全体		468	41.7	10.5	6.6	10.5	59.2	15.8	16.5	15.0	0.6	4.5	3.0
性別	男性	208	36.5	12.0	10.6	10.1	55.3	17.3	12.0	14.4	1.4	5.8	4.8
	女性	247	46.2	8.9	3.2	10.5	63.6	15.4	20.6	15.8	—	2.8	1.6
	答えたくない	5	20.0	—	—	—	40.0	—	20.0	20.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	39	74.4	5.1	—	—	28.2	5.1	12.8	5.1	2.6	7.7	2.6
	30歳代	41	46.3	22.0	4.9	—	68.3	7.3	7.3	9.8	—	4.9	—
	40歳代	52	42.3	11.5	1.9	5.8	75.0	15.4	11.5	15.4	—	7.7	—
	50歳代	70	34.3	5.7	7.1	2.9	71.4	15.7	24.3	14.3	1.4	2.9	2.9
	60歳代	105	40.0	12.4	4.8	12.4	63.8	21.0	21.0	18.1	1.0	2.9	3.8
	70歳以上	118	38.1	9.3	12.7	22.9	49.2	17.8	16.1	16.9	—	3.4	5.1
居住地区別	相良地区	205	45.4	10.2	6.3	12.2	60.0	14.1	18.0	11.7	0.5	3.9	2.4
	榛原地区	145	40.0	9.7	4.8	7.6	61.4	20.0	15.9	17.2	—	3.4	2.8
	牧之原地区	111	36.9	10.8	9.0	9.9	56.8	14.4	15.3	18.9	1.8	6.3	4.5

問 24 あなた自身やご家族に、福祉サービスが必要になったとき、すぐにサービスを利用しますか。(〇は1つだけ)

「利用する」の割合が 55.8%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 24.8%、「抵抗はあるが利用する」の割合が 16.5%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で、40歳代で「わからない」の割合が、60歳代で「利用する」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

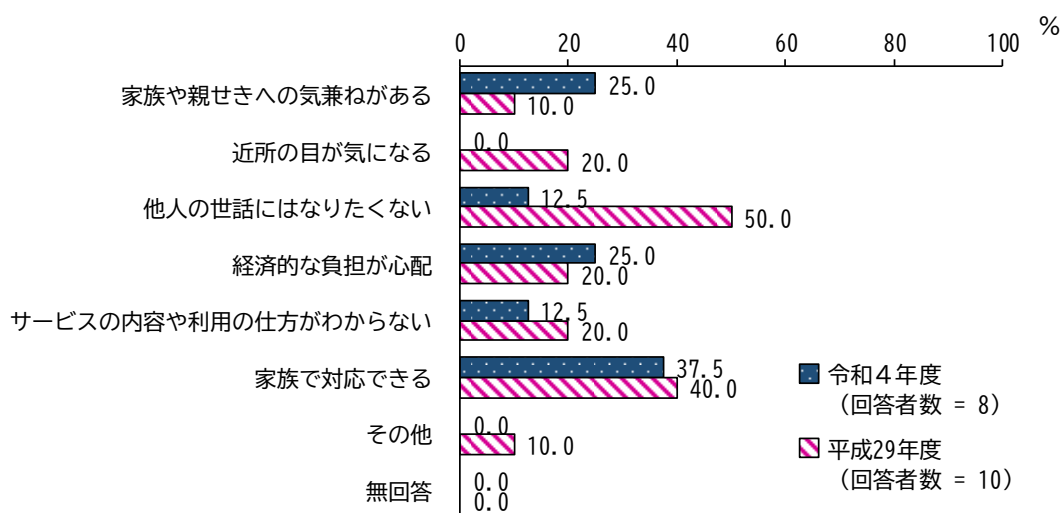
区分		回答者数 (件)	利用する	抵抗はあるが 利用する	利用しない	わからない	無回答
全 体		468	55.8	16.5	1.7	24.8	1.3
性別	男性	208	53.4	18.3	2.9	24.0	1.4
	女性	247	58.7	14.6	0.4	25.1	1.2
	答えたくない	5	20.0	40.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	39	30.8	10.3	5.1	51.3	2.6
	30歳代	41	39.0	29.3	—	31.7	—
	40歳代	52	32.7	23.1	—	44.2	—
	50歳代	70	60.0	12.9	1.4	22.9	2.9
	60歳代	105	70.5	12.4	—	15.2	1.9
	70歳以上	118	61.9	17.8	3.4	16.1	0.8
居住地区別	相良地区	205	56.6	15.6	1.5	26.3	—
	榛原地区	145	59.3	17.2	1.4	20.0	2.1
	牧之原地区	111	50.5	16.2	2.7	27.9	2.7

【問 24 で「利用しない」と回答した方への質問】

問 24-1 すぐにサービスを利用しない理由をお聞かせください。(あてはまるものすべてに○)

「家族で対応できる」の割合が 37.5%と最も高く、次いで「家族や親せきへの気兼ねがある」、「経済的な負担が心配」の割合が 25.0%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「家族や親せきへの気兼ねがある」の割合が増加しています。一方、「近所の目が気になる」「他人の世話にはなりたくない」「サービスの内容や利用の仕方がわからない」の割合が減少しています。



【属性別】

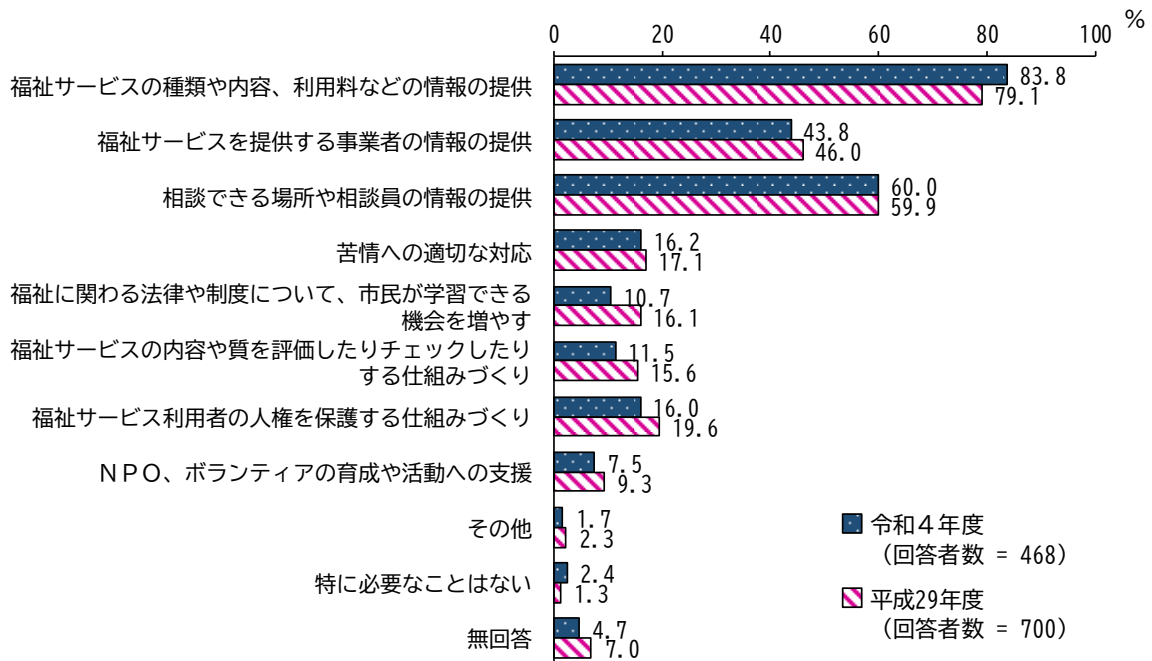
単位：％

区分		回答者数(件)	家族や親せきへの 気兼ねがある	近所の目が気になる	他人の世話にはな りたくない	配 経済的な負担が心 配	サービスの内容や 利用の仕方がわか らない	家族で対応できる	その他	無回答
全 体		8	25.0	—	12.5	25.0	12.5	37.5	—	—
性別	男性	6	33.3	—	16.7	16.7	—	50.0	—	—
	女性	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—
	答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年代別	18～29 歳	2	50.0	—	—	—	—	100.0	—	—
	30 歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	40 歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	50 歳代	1	—	—	—	—	—	100.0	—	—
	60 歳代	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	70 歳以上	4	25.0	—	25.0	50.0	—	—	—	—
居住地区別	相良地区	3	—	—	33.3	33.3	—	33.3	—	—
	榛原地区	2	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—
	牧之原地区	3	66.7	—	—	33.3	—	33.3	—	—

問 25 福祉サービスを安心して利用できる状況をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「福祉サービスの種類や内容、利用料などの情報の提供」の割合が 83.8%と最も高く、次いで「相談できる場所や相談員の情報の提供」の割合が 60.0%、「福祉サービスを提供する事業者の情報の提供」の割合が 43.8%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「福祉に関わる法律や制度について、市民が学習できる機会を増やす」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「相談できる場所や相談員の情報の提供」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「福祉サービスの内容や質を評価したりチェックしたりする仕組みづくり」の割合が、60歳代で「福祉サービスを提供する事業者の情報の提供」「相談できる場所や相談員の情報の提供」の割合が、70歳以上で「福祉サービス利用者の人権を保護する仕組みづくり」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「相談できる場所や相談員の情報の提供」の割合が高くなっています。

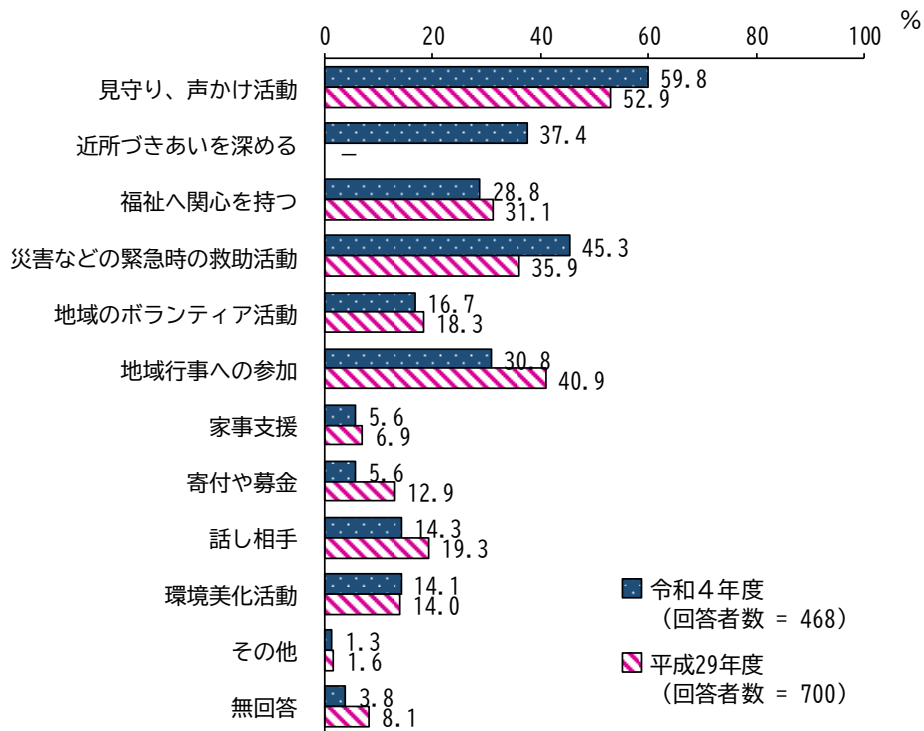
単位：%

区分	回答者数(件)	福祉サービスの種類や内容、利用料などの情報の提供	福祉サービスを提供する事業者の情報の提供	相談できる場所や相談員の情報の提供	苦情への適切な対応	福祉に関わる法律や制度について、市民が学習できる機会を増やす	福祉サービスの内容や質を評価したりチェックしたりする仕組みづくり	福祉サービス利用者の人権を保護する仕組みづくり	NPO、ボランティアの育成や活動への支援	その他	特に必要なことはない	無回答	
全体	468	83.8	43.8	60.0	16.2	10.7	11.5	16.0	7.5	1.7	2.4	4.7	
性別	男性	208	82.7	45.2	51.9	17.3	9.1	12.5	16.8	7.2	1.4	2.9	5.3
	女性	247	86.6	43.3	68.8	15.4	12.1	10.5	15.0	7.3	1.6	1.6	3.2
	答えたくない	5	40.0	40.0	—	—	—	—	20.0	20.0	20.0	—	20.0
年代別	18～29歳	39	71.8	28.2	43.6	20.5	7.7	12.8	15.4	5.1	—	7.7	2.6
	30歳代	41	87.8	36.6	56.1	22.0	9.8	17.1	17.1	12.2	2.4	2.4	2.4
	40歳代	52	84.6	42.3	48.1	13.5	11.5	9.6	15.4	9.6	5.8	1.9	5.8
	50歳代	70	88.6	40.0	64.3	10.0	7.1	8.6	12.9	4.3	1.4	1.4	4.3
	60歳代	105	87.6	54.3	69.5	16.2	14.3	11.4	12.4	9.5	1.0	1.9	3.8
	70歳以上	118	81.4	45.8	61.0	16.9	10.2	11.0	22.0	5.9	1.7	1.7	5.1
居住地区別	相良地区	205	87.3	47.8	66.3	18.0	14.1	13.7	16.1	9.3	2.0	2.0	3.4
	榛原地区	145	87.6	45.5	57.2	13.8	10.3	9.7	13.1	8.3	1.4	2.1	4.8
	牧之原地区	111	73.9	35.1	54.1	15.3	5.4	9.9	18.9	3.6	1.8	1.8	7.2

問 26 地域の住民が安心して暮らせるために、できることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「見守り、声かけ活動」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「災害などの緊急時の救助活動」の割合が 45.3%、「近所づきあいを深める」の割合が 37.4%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「見守り、声かけ活動」「災害などの緊急時の救助活動」の割合が増加しています。一方、「地域行事への参加」「寄付や募金」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「福祉へ関心を持つ」「見守り、声かけ活動」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「見守り、声かけ活動」の割合が、30歳代で「災害などの緊急時の救助活動」の割合が、70歳以上で「近所づきあいを深める」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分	回答者数(件)	見守り、声かけ活動	近所づきあいを深める	福祉へ関心を持つ	災害などの緊急時の救助活動	地域のボランティア活動	地域行事への参加	家事支援	寄付や募金	話し相手	環境美化活動	その他	無回答	
全体	468	59.8	37.4	28.8	45.3	16.7	30.8	5.6	5.6	14.3	14.1	1.3	3.8	
性別	男性	208	55.3	39.9	21.2	49.0	15.4	30.3	3.8	5.3	11.5	14.4	1.0	4.3
	女性	247	66.0	36.0	36.0	41.7	17.0	32.0	6.9	5.3	17.0	13.4	0.8	3.2
	答えたくない	5	—	—	20.0	60.0	20.0	—	20.0	20.0	—	20.0	40.0	—
年代別	18～29歳	39	69.2	38.5	10.3	33.3	25.6	38.5	5.1	10.3	12.8	15.4	2.6	2.6
	30歳代	41	61.0	19.5	17.1	65.9	17.1	34.1	14.6	4.9	17.1	7.3	—	—
	40歳代	52	51.9	30.8	32.7	53.8	7.7	34.6	5.8	9.6	17.3	17.3	1.9	7.7
	50歳代	70	52.9	22.9	32.9	44.3	11.4	30.0	2.9	5.7	10.0	21.4	—	5.7
	60歳代	105	61.9	38.1	37.1	48.6	16.2	30.5	4.8	2.9	14.3	9.5	1.9	2.9
	70歳以上	118	61.0	51.7	23.7	39.0	19.5	27.1	5.1	5.1	17.8	11.9	0.8	4.2
居住地区別	相良地区	205	62.4	37.6	29.8	45.9	21.0	35.6	4.9	6.3	14.1	16.6	1.0	2.4
	榛原地区	145	61.4	36.6	32.4	44.8	13.1	24.8	6.9	2.8	15.2	11.0	1.4	4.8
	牧之原地区	111	55.9	38.7	24.3	43.2	12.6	30.6	4.5	7.2	13.5	13.5	1.8	5.4

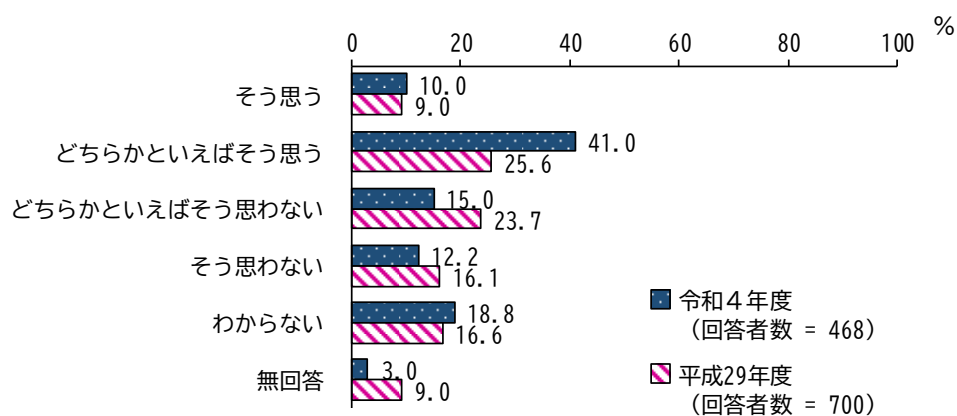
(6) 福祉施策に関することについて

問 27 牧之原市がどのようなまちだと思いますか。(それぞれ〇は1つだけ)

1 子どもがいきいきと育つまち

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が51.0%と高くなっています。

平成29年度と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が、60歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

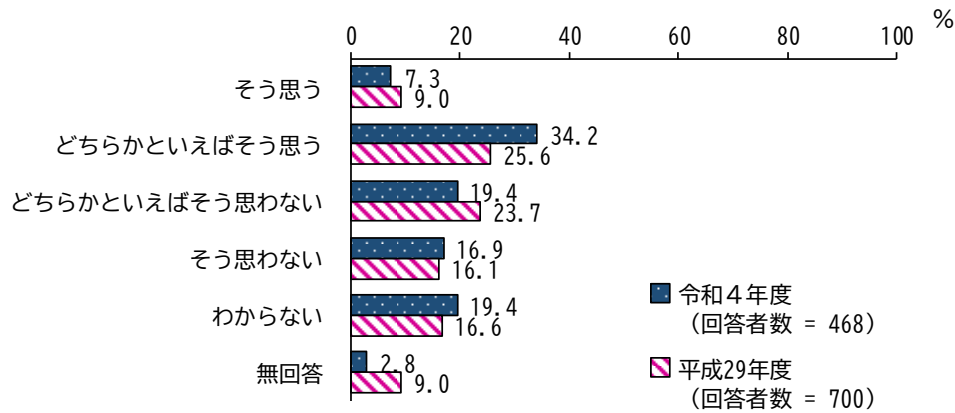
単位：％

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
全 体	468	10.0	41.0	15.0	12.2	18.8	3.0	
性別	男性	208	9.1	36.5	16.3	14.4	20.7	2.9
	女性	247	10.9	44.9	14.2	9.7	17.4	2.8
	答えたくない	5	20.0	20.0	—	40.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	15.4	38.5	15.4	20.5	10.3	—
	30歳代	41	7.3	39.0	14.6	26.8	12.2	—
	40歳代	52	7.7	44.2	15.4	11.5	19.2	1.9
	50歳代	70	8.6	35.7	21.4	8.6	24.3	1.4
	60歳代	105	5.7	54.3	13.3	10.5	14.3	1.9
	70歳以上	118	14.4	34.7	11.0	9.3	22.9	7.6
居住地区別	相良地区	205	12.2	39.0	14.6	14.6	16.1	3.4
	榛原地区	145	4.8	43.4	17.2	13.1	20.0	1.4
	牧之原地区	111	13.5	40.5	12.6	6.3	22.5	4.5

2 高齢者が暮らしやすいまち

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が41.5%と高くなっています。

平成29年度と比較すると、“そう思う”の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、70歳以上で“そう思う”の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

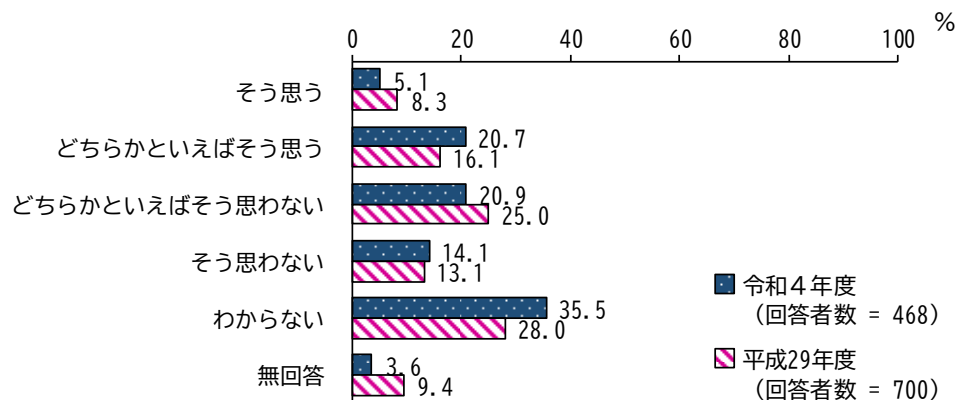
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	468	7.3	34.2	19.4	16.9	19.4	2.8	
性別	男性	208	7.2	30.8	20.7	17.8	20.7	2.9
	女性	247	7.3	38.5	17.8	15.4	18.6	2.4
	答えたくない	5	20.0	20.0	—	40.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	15.4	25.6	20.5	17.9	20.5	—
	30歳代	41	4.9	39.0	12.2	24.4	19.5	—
	40歳代	52	3.8	38.5	23.1	11.5	21.2	1.9
	50歳代	70	5.7	30.0	15.7	22.9	24.3	1.4
	60歳代	105	4.8	39.0	18.1	15.2	20.0	2.9
	70歳以上	118	9.3	37.3	20.3	12.7	14.4	5.9
居住地区別	相良地区	205	7.8	33.7	22.0	17.1	17.1	2.4
	榛原地区	145	4.8	37.2	16.6	15.2	24.1	2.1
	牧之原地区	111	9.9	33.3	17.1	17.1	18.0	4.5

3 障がい児（者）が暮らしやすいまち

「わからない」の割合が35.5%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が35.0%となっています。

平成29年度と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、50歳代で「わからない」の割合が高くなっています。

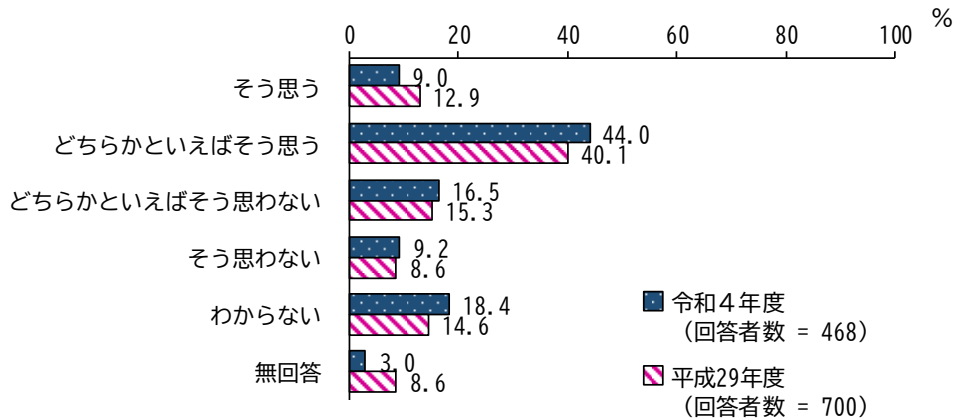
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	468	5.1	20.7	20.9	14.1	35.5	3.6	
性別	男性	208	4.8	19.2	21.6	17.3	33.2	3.8
	女性	247	5.7	22.7	20.6	10.1	37.7	3.2
	答えたくない	5	—	20.0	20.0	40.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	12.8	10.3	20.5	23.1	33.3	—
	30歳代	41	—	22.0	22.0	26.8	26.8	2.4
	40歳代	52	1.9	25.0	25.0	11.5	34.6	1.9
	50歳代	70	4.3	17.1	20.0	11.4	45.7	1.4
	60歳代	105	2.9	20.0	23.8	11.4	40.0	1.9
	70歳以上	118	6.8	26.3	15.3	11.0	31.4	9.3
居住地区別	相良地区	205	6.8	19.0	25.4	14.1	30.2	4.4
	榛原地区	145	1.4	24.8	19.3	13.8	39.3	1.4
	牧之原地区	111	7.2	19.8	15.3	11.7	40.5	5.4

4 困った時に隣近所で助け合えるまち

「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が53.0%と高くなっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「わからない」の割合が、40歳代で“そう思う”の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「わからない」の割合が高くなっています。

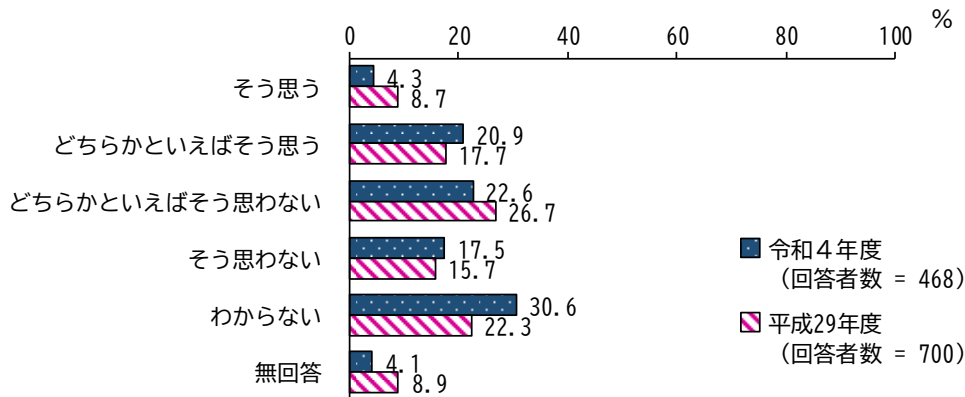
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	468	9.0	44.0	16.5	9.2	18.4	3.0	
性別	男性	208	9.6	41.3	13.5	13.5	18.8	3.4
	女性	247	8.1	47.4	18.6	4.5	18.6	2.8
	答えたくない	5	—	20.0	40.0	20.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	12.8	28.2	20.5	10.3	28.2	—
	30歳代	41	9.8	41.5	19.5	9.8	17.1	2.4
	40歳代	52	1.9	63.5	7.7	3.8	21.2	1.9
	50歳代	70	5.7	47.1	11.4	10.0	24.3	1.4
	60歳代	105	8.6	50.5	21.0	4.8	14.3	1.0
	70歳以上	118	13.6	33.9	17.8	11.9	16.1	6.8
居住地区別	相良地区	205	8.8	46.8	15.6	9.3	15.6	3.9
	榛原地区	145	4.1	44.1	18.6	8.3	23.4	1.4
	牧之原地区	111	15.3	39.6	15.3	8.1	18.0	3.6

5 福祉施設が整備されているまち

「わからない」の割合が30.6%と最も高く、次いで「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が40.1%となっています。

平成29年度と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で“そう思わない”の割合が、60歳代で「わからない」の割合が、70歳以上で「どちらかといえばそう思う」と「そう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他と比べ、牧之原地区で“そう思う”の割合が高くなっています。

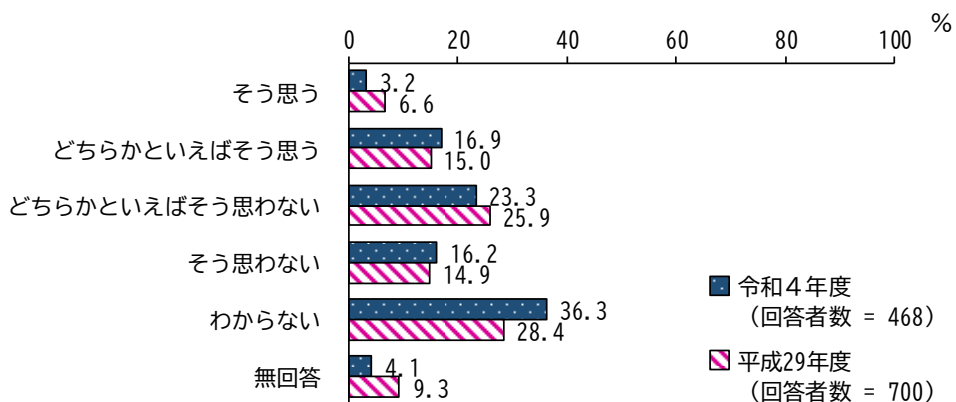
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	468	4.3	20.9	22.6	17.5	30.6	4.1	
性別	男性	208	5.3	19.7	18.8	23.1	29.3	3.8
	女性	247	3.6	22.7	26.3	11.3	32.0	4.0
	答えたくない	5	—	20.0	20.0	40.0	20.0	—
年代別	18～29歳	39	10.3	17.9	15.4	23.1	33.3	—
	30歳代	41	—	24.4	22.0	29.3	24.4	—
	40歳代	52	1.9	19.2	26.9	17.3	32.7	1.9
	50歳代	70	2.9	21.4	18.6	18.6	35.7	2.9
	60歳代	105	3.8	18.1	26.7	11.4	36.2	3.8
	70歳以上	118	5.9	27.1	20.3	14.4	23.7	8.5
居住地区別	相良地区	205	4.9	18.5	22.9	17.1	32.2	4.4
	榛原地区	145	1.4	23.4	24.8	20.0	29.0	1.4
	牧之原地区	111	7.2	23.4	19.8	11.7	30.6	7.2

6 市民の福祉活動が活発に行われているまち

「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が39.5%と最も高く、次いで「わからない」の割合が36.3%となっています。

平成29年度と比較すると、「わからない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、60歳代で「わからない」の割合が、70歳以上で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他と比べ、牧之原地区で“そう思う”の割合が高くなっています。

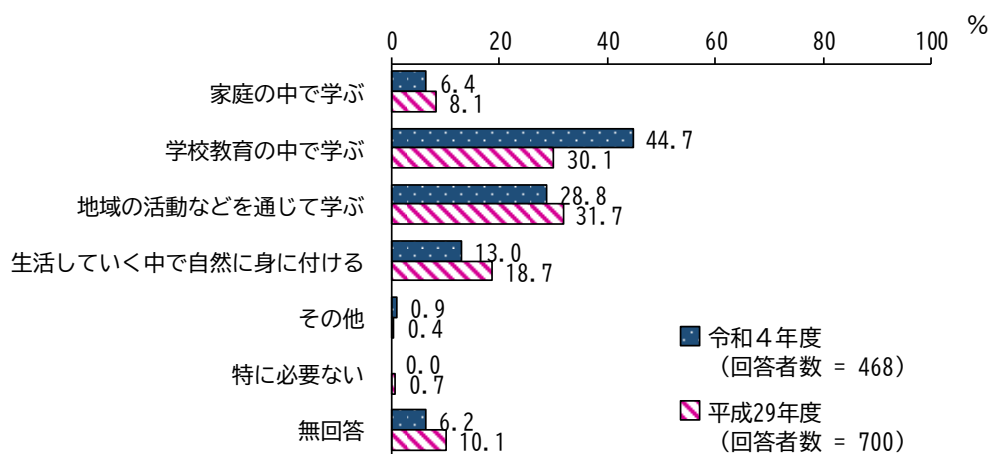
単位：%

区分	回答者数(件)	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	わからない	無回答	
全体	468	3.2	16.9	23.3	16.2	36.3	4.1	
性別	男性	208	4.8	15.9	19.7	21.6	34.1	3.8
	女性	247	2.0	18.2	26.3	11.3	38.1	4.0
	答えたくない	5	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—
年代別	18～29歳	39	7.7	12.8	17.9	25.6	35.9	—
	30歳代	41	—	14.6	22.0	24.4	39.0	—
	40歳代	52	—	17.3	23.1	17.3	38.5	3.8
	50歳代	70	1.4	17.1	25.7	11.4	42.9	1.4
	60歳代	105	2.9	16.2	22.9	10.5	43.8	3.8
	70歳以上	118	5.1	22.9	17.8	18.6	26.3	9.3
居住地区別	相良地区	205	2.9	15.1	24.4	18.5	33.7	5.4
	榛原地区	145	1.4	16.6	24.1	17.2	38.6	2.1
	牧之原地区	111	6.3	21.6	19.8	9.9	37.8	4.5

問 28 子どもたちが福祉について学ぶ場として、最もふさわしいと思うのはどの場面ですか。(〇は1つだけ)

「学校教育の中で学ぶ」の割合が 44.7%と最も高く、次いで「地域の活動などを通じて学ぶ」の割合が 28.8%、「生活していく中で自然に身に付ける」の割合が 13.0%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「学校教育の中で学ぶ」の割合が増加しています。一方、「生活していく中で自然に身に付ける」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29 歳、30 歳代、40 歳代で「学校教育の中で学ぶ」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

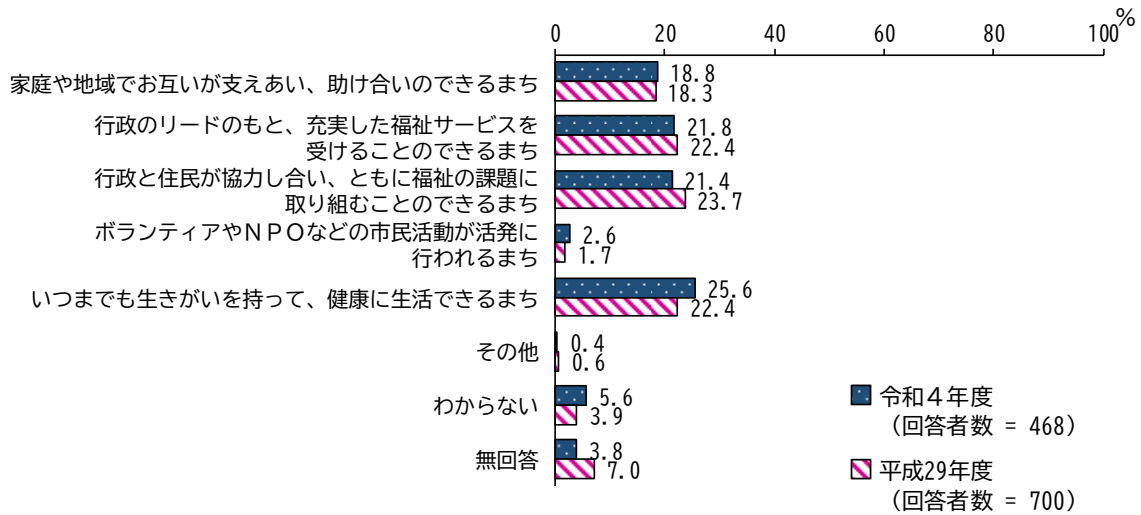
単位：％

区分		回答者数 (件)	家庭 の中で学 ぶ	学 校 教 育 の 中 で 学 ぶ	地 域 の 活 動 な ど を 通 じ て 学 ぶ	生 活 し て い く 中 で 自 然 に 身 に 付 け る	そ の 他	特 に 必 要 な い	無 回 答
全 体		468	6.4	44.7	28.8	13.0	0.9	—	6.2
性 別	男性	208	7.7	43.8	25.5	14.4	1.4	—	7.2
	女性	247	5.3	45.7	31.2	12.6	—	—	5.3
	答えたくない	5	—	40.0	20.0	—	20.0	—	20.0
年 代 別	18～29 歳	39	10.3	51.3	20.5	15.4	—	—	2.6
	30 歳代	41	2.4	61.0	22.0	9.8	2.4	—	2.4
	40 歳代	52	5.8	51.9	19.2	11.5	1.9	—	9.6
	50 歳代	70	5.7	44.3	34.3	14.3	—	—	1.4
	60 歳代	105	7.6	44.8	29.5	10.5	—	—	7.6
	70 歳以上	118	5.9	34.7	33.9	15.3	0.8	—	9.3
居 住 地 区 別	相良地区	205	5.9	46.8	27.3	12.2	1.0	—	6.8
	榛原地区	145	6.9	46.9	28.3	11.7	0.7	—	5.5
	牧之原地区	111	7.2	37.8	31.5	16.2	0.9	—	6.3

問 29 牧之原市をどのような『福祉のまち』にしたいと思いますか。(〇は1つだけ)

「いつまでも生きがいを持って、健康に生活できるまち」の割合が25.6%と最も高く、次いで「行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち」の割合が21.8%、「行政と住民が協力し合い、ともに福祉の課題に取り組むことのできるまち」の割合が21.4%となっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「行政と住民が協力し合い、ともに福祉の課題に取り組むことのできるまち」の割合が、50歳代で「行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

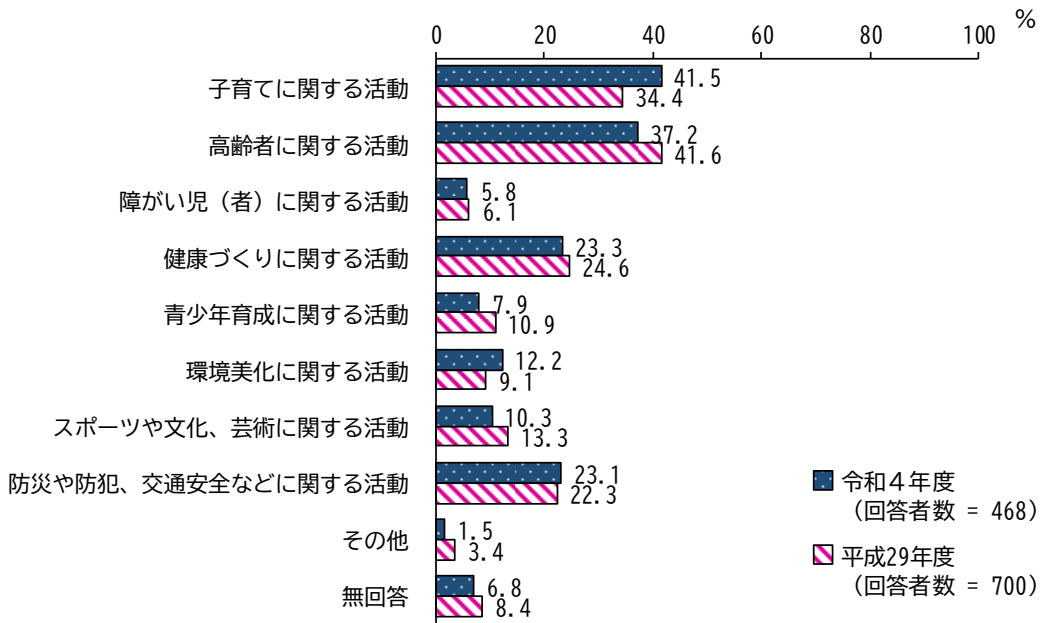
単位：％

区分		回答者数(件)	家庭や地域で互いが支えあい、助け合いのできるまち	行政のリードのもと、充実した福祉サービスを受けることのできるまち	行政と住民が協力し合い、ともに福祉の課題に取り組むことのできるまち	ボランティアやNPOなどの市民活動が活発に行われるまち	いつまでも生きがいを持って、健康に生活できるまち	その他	わからない	無回答
全体		468	18.8	21.8	21.4	2.6	25.6	0.4	5.6	3.8
性別	男性	208	16.8	18.8	22.6	2.4	26.0	0.5	7.7	5.3
	女性	247	21.1	24.3	20.6	2.8	25.5	—	3.2	2.4
	答えたくない	5	—	60.0	—	—	—	20.0	—	20.0
年代別	18～29歳	39	30.8	12.8	15.4	5.1	28.2	—	5.1	2.6
	30歳代	41	14.6	29.3	29.3	2.4	19.5	—	4.9	—
	40歳代	52	19.2	28.8	21.2	3.8	13.5	1.9	5.8	5.8
	50歳代	70	8.6	32.9	22.9	—	24.3	—	10.0	1.4
	60歳代	105	21.0	21.9	23.8	1.9	23.8	—	3.8	3.8
	70歳以上	118	20.3	14.4	17.8	4.2	32.2	—	4.2	6.8
居住地区別	相良地区	205	16.6	22.4	20.5	2.9	29.8	0.5	2.9	4.4
	榛原地区	145	20.7	17.9	24.8	2.1	21.4	—	9.7	3.4
	牧之原地区	111	20.7	25.2	18.0	2.7	24.3	0.9	4.5	3.6

問 30 牧之原市に今後どのような活動が必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「子育てに関する活動」の割合が41.5%と最も高く、次いで「高齢者に関する活動」の割合が37.2%、「健康づくりに関する活動」の割合が23.3%となっています。

平成29年度と比較すると、「子育てに関する活動」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「子育てに関する活動」の割合が、30歳代で「子育てに関する活動」「防災や防犯、交通安全などに関する活動」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「健康づくりに関する活動」「高齢者に関する活動」の割合が高くなっています。

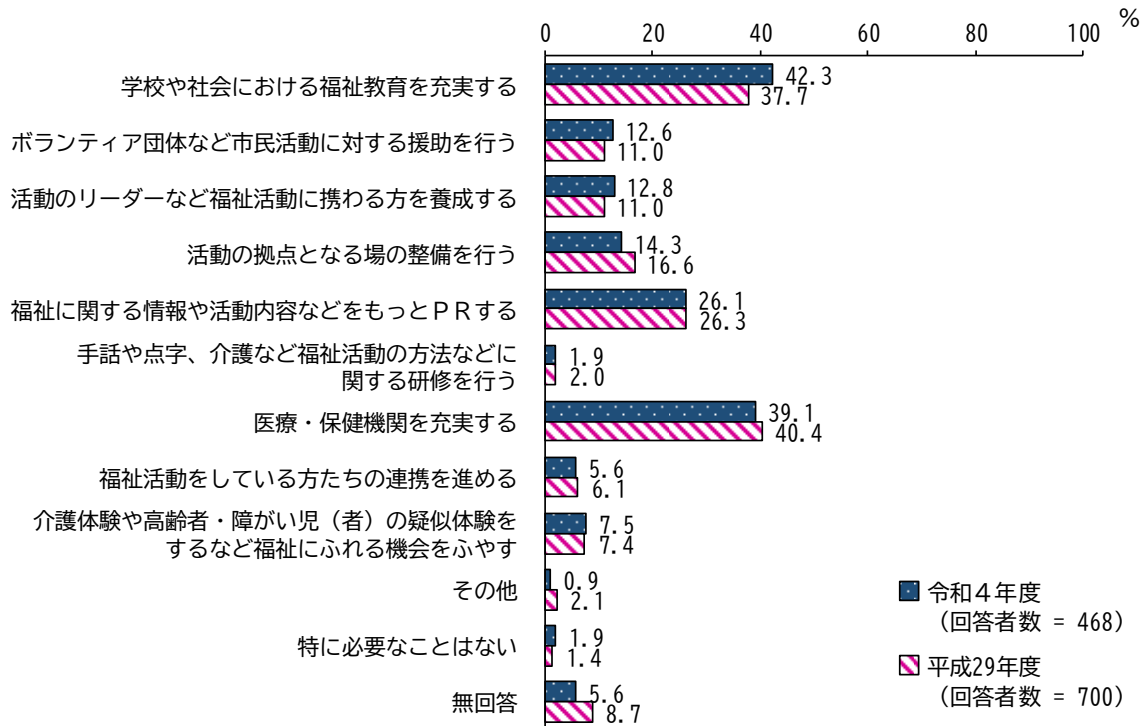
単位：％

区分		回答者数(件)	子育てに関する活動	高齢者に関する活動	障がい児(者)に関する活動	健康づくりに関する活動	青少年育成に関する活動	環境美化に関する活動	スポーツや文化、芸術に関する活動	防災や防犯、交通安全などに関する活動	その他	無回答
全体		468	41.5	37.2	5.8	23.3	7.9	12.2	10.3	23.1	1.5	6.8
性別	男性	208	42.3	34.6	6.3	19.7	7.2	11.1	13.0	23.6	1.4	7.7
	女性	247	41.3	39.7	5.3	26.7	8.5	13.4	8.5	22.7	0.8	5.7
	答えたくない	5	20.0	20.0	20.0	—	—	—	—	—	20.0	40.0
年代別	18～29歳	39	59.0	28.2	5.1	17.9	2.6	10.3	15.4	17.9	—	5.1
	30歳代	41	75.6	7.3	9.8	14.6	4.9	12.2	17.1	31.7	—	7.3
	40歳代	52	46.2	38.5	15.4	21.2	5.8	9.6	7.7	13.5	5.8	5.8
	50歳代	70	34.3	44.3	7.1	24.3	4.3	10.0	12.9	18.6	1.4	5.7
	60歳代	105	42.9	43.8	2.9	23.8	5.7	7.6	7.6	25.7	1.0	5.7
	70歳以上	118	27.1	39.8	1.7	29.7	14.4	16.9	6.8	23.7	—	10.2
居住地区別	相良地区	205	43.4	33.2	7.3	23.4	9.3	12.7	11.7	22.4	2.0	6.8
	榛原地区	145	39.3	43.4	4.8	33.1	5.5	9.7	7.6	21.4	0.7	5.5
	牧之原地区	111	41.4	36.9	4.5	10.8	8.1	13.5	11.7	24.3	1.8	8.1

問 31 地域の助け合いや福祉活動を進めるために、どのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「学校や社会における福祉教育を充実する」の割合が42.3%と最も高く、次いで「医療・保健機関を充実する」の割合が39.1%、「福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする」の割合が26.1%となっています。

平成29年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「学校や社会における福祉教育を充実する」の割合が、70歳以上で「活動のリーダーなど福祉活動に携わる方を養成する」の割合が高くなっています。

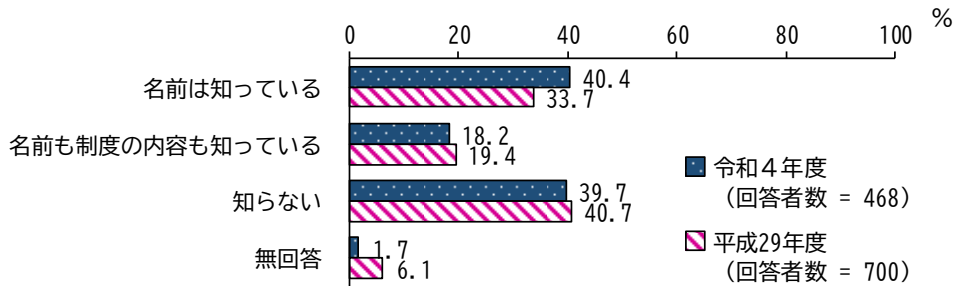
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

区分		回答者数(件)	学校や社会における福祉教育を充実する	ボランティア団体など市民活動に対する援助を行う	活動のリーダーなど福祉活動に携わる方を養成する	活動の拠点となる場の整備を行う	福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする	福祉に関する情報や活動内容などをもっとPRする	手話や点字、介護など福祉活動の方法などに関する研修を行う	医療・保健機関を充実する	福祉活動をしている方たちの連携を進める	介護体験や高齢者・障がい児(者)の疑似体験をするなど福祉にふれる機会をいやす	その他	特に必要なことはない	無回答
全体		468	42.3	12.6	12.8	14.3	26.1	1.9	39.1	5.6	7.5	0.9	1.9	5.6	
性別	男性	208	42.8	17.3	12.0	14.9	23.6	0.5	37.0	4.8	5.3	1.4	2.4	4.8	
	女性	247	42.9	8.9	14.2	13.8	29.1	3.2	39.3	5.7	9.7	—	1.2	6.1	
	答えたくない	5	40.0	—	—	—	—	—	60.0	20.0	—	20.0	—	20.0	
年代別	18～29歳	39	64.1	12.8	10.3	7.7	10.3	5.1	41.0	2.6	7.7	—	2.6	5.1	
	30歳代	41	56.1	9.8	4.9	17.1	34.1	4.9	48.8	2.4	2.4	—	—	—	
	40歳代	52	50.0	9.6	3.8	13.5	13.5	1.9	46.2	1.9	3.8	1.9	3.8	7.7	
	50歳代	70	37.1	12.9	8.6	17.1	20.0	—	41.4	5.7	8.6	1.4	2.9	4.3	
	60歳代	105	39.0	10.5	12.4	15.2	36.2	1.9	44.8	5.7	7.6	—	1.0	3.8	
	70歳以上	118	36.4	16.9	23.7	11.0	25.4	1.7	24.6	7.6	10.2	0.8	1.7	9.3	
居住地区別	相良地区	205	44.9	13.7	15.1	15.1	26.3	2.4	34.6	5.9	7.3	1.0	2.0	6.3	
	榛原地区	145	38.6	11.0	8.3	16.6	28.3	2.1	43.4	5.5	6.9	0.7	0.7	4.8	
	牧之原地区	111	43.2	12.6	15.3	9.9	23.4	0.9	40.5	5.4	9.0	0.9	1.8	5.4	

問 32 成年後見制度を知っていますか。(○は1つだけ)

「名前は知っている」の割合が40.4%と最も高く、次いで「知らない」の割合が39.7%、「名前も制度の内容も知っている」の割合が18.2%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「知らない」の割合が、70歳以上で「名前は知っている」の割合が高くなっています。

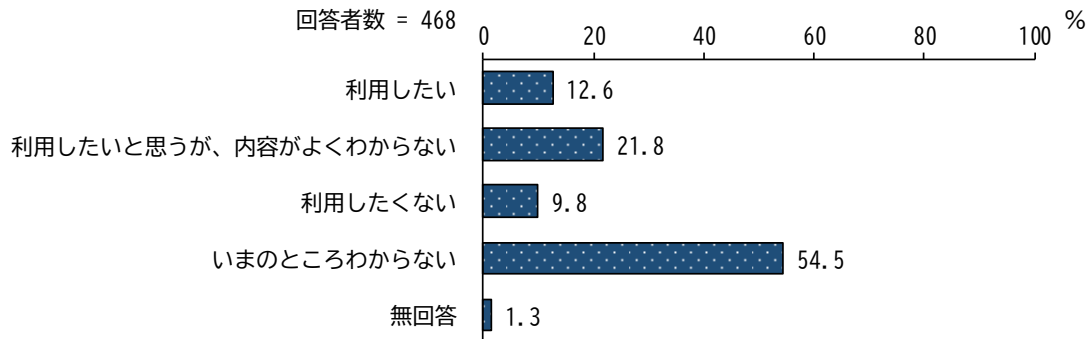
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	名前は知っている	名前も制度の内容も知っている	知らない	無回答	
全体	468	40.4	18.2	39.7	1.7	
性別	男性	208	40.9	16.3	41.3	1.4
	女性	247	40.5	19.8	37.7	2.0
	答えたくない	5	20.0	40.0	40.0	—
年代別	18～29歳	39	28.2	12.8	59.0	—
	30歳代	41	24.4	24.4	51.2	—
	40歳代	52	38.5	23.1	38.5	—
	50歳代	70	37.1	17.1	45.7	—
	60歳代	105	41.9	23.8	32.4	1.9
	70歳以上	118	51.7	14.4	29.7	4.2
居住地区別	相良地区	205	39.5	21.0	38.0	1.5
	榛原地区	145	38.6	17.2	42.1	2.1
	牧之原地区	111	44.1	15.3	38.7	1.8

問 33 あなた自身やご家族が認知症などにより、物事を判断する能力が十分でなくなったときに、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つだけ)

「いまのところわからない」の割合が54.5%と最も高く、次いで「利用したいと思うが、内容がよくわからない」の割合が21.8%、「利用したい」の割合が12.6%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「いまのところわからない」「利用したいと思うが、内容がよくわからない」の割合が、40歳代で「利用したい」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

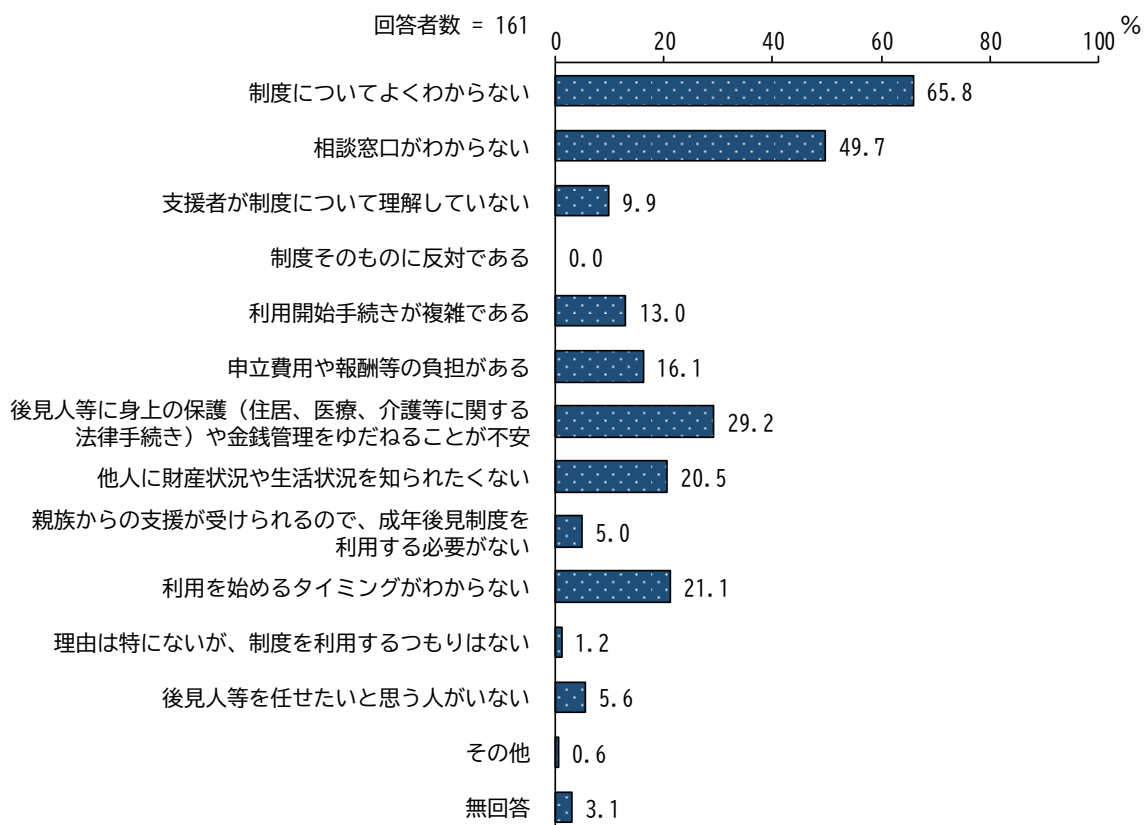
単位：%

区分		回答者数 (件)	利用したい	利用したいと思うが、 内容がよくわからない	利用したくない	いまのところわからない	無回答
全 体		468	12.6	21.8	9.8	54.5	1.3
性別	男性	208	14.9	24.0	9.6	49.5	1.9
	女性	247	11.3	19.4	9.7	58.7	0.8
	答えたくない	5	—	40.0	—	60.0	—
年代別	18～29歳	39	10.3	28.2	2.6	59.0	—
	30歳代	41	4.9	29.3	2.4	63.4	—
	40歳代	52	21.2	17.3	15.4	46.2	—
	50歳代	70	11.4	18.6	14.3	55.7	—
	60歳代	105	11.4	21.0	4.8	61.9	1.0
	70歳以上	118	15.3	21.2	12.7	48.3	2.5
居住地区別	相良地区	205	14.1	18.5	7.8	57.6	2.0
	榛原地区	145	13.1	25.5	13.1	48.3	—
	牧之原地区	111	9.9	22.5	8.1	57.7	1.8

【問 33 で「利用したい」または「利用したいと思うが、内容がよくわからない」と回答した方への質問】

問 33-1 成年後見制度を利用する場合に不安や心配なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「制度についてよくわからない」の割合が 65.8%と最も高く、次いで「相談窓口がわからない」の割合が 49.7%、「後見人等に身上の保護（住居、医療、介護等に関する法律手続き）や金銭管理をゆだねることが不安」の割合が 29.2%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「利用開始手続きが複雑である」の割合が、40歳代で「後見人等に身上の保護（住居、医療、介護等に関する法律手続き）や金銭管理をゆだねることが不安」の割合が、70歳以上で「利用を始めるタイミングがわからない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区、牧之原地区で「制度についてよくわからない」の割合が、相良地区で「利用を始めるタイミングがわからない」の割合が高くなっています。

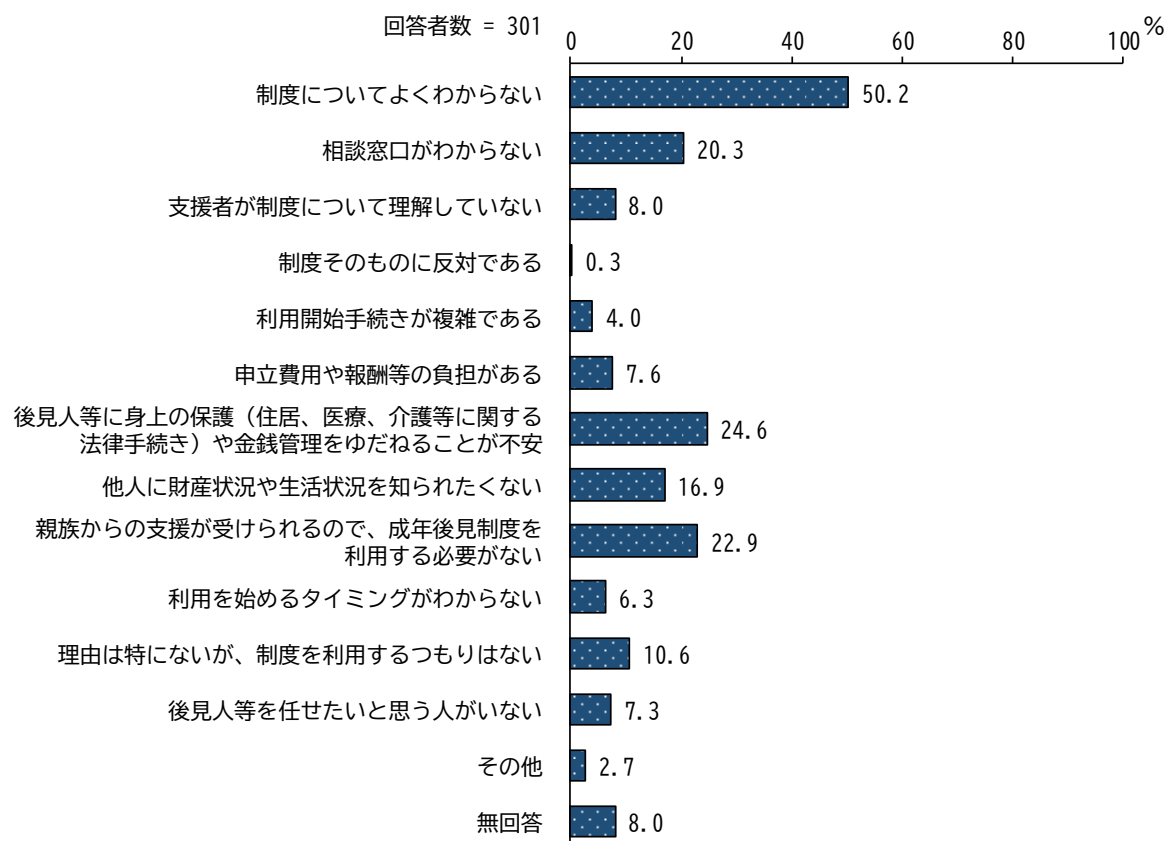
単位：％

区分		回答者数（件）	制度についてよくわからない	相談窓口がわからない	支援者が制度について理解していない	制度そのものに反対である	利用開始手続きが複雑である	申立費用や報酬等の負担がある	後見人等に身上の保護（住居、医療、介護等に関する法律手続き）や金銭管理をゆだねることが不安	他人に財産状況や生活状況を知られたくない	親族からの支援が受けられるので、成年後見制度を利用する必要がない	利用を始めるタイミングがわからない	理由は特にないが、制度を利用するつもりはない	後見人等を任せたいと思う人がいない	その他	無回答
全体		161	65.8	49.7	9.9	—	13.0	16.1	29.2	20.5	5.0	21.1	1.2	5.6	0.6	3.1
性別	男性	81	66.7	48.1	9.9	—	14.8	17.3	25.9	21.0	1.2	22.2	1.2	7.4	—	3.7
	女性	76	64.5	51.3	9.2	—	10.5	14.5	31.6	18.4	7.9	19.7	1.3	2.6	1.3	2.6
	答えたくない	2	50.0	50.0	—	—	—	—	50.0	50.0	—	—	—	50.0	—	—
年代別	18～29歳	15	73.3	40.0	20.0	—	26.7	13.3	20.0	13.3	—	—	—	6.7	—	—
	30歳代	14	57.1	28.6	—	—	7.1	14.3	28.6	28.6	—	21.4	—	—	—	—
	40歳代	20	65.0	60.0	10.0	—	5.0	5.0	45.0	20.0	—	25.0	—	—	—	10.0
	50歳代	21	71.4	57.1	4.8	—	9.5	28.6	38.1	23.8	—	4.8	—	9.5	4.8	—
	60歳代	34	70.6	52.9	14.7	—	8.8	5.9	23.5	17.6	8.8	17.6	5.9	8.8	—	2.9
	70歳以上	43	65.1	48.8	7.0	—	11.6	18.6	25.6	18.6	9.3	39.5	—	4.7	—	4.7
居住地区別	相良地区	67	55.2	49.3	11.9	—	16.4	11.9	29.9	20.9	4.5	28.4	1.5	3.0	1.5	6.0
	榛原地区	56	73.2	51.8	8.9	—	8.9	17.9	30.4	19.6	3.6	17.9	—	8.9	—	1.8
	牧之原地区	36	72.2	47.2	5.6	—	11.1	19.4	25.0	19.4	5.6	11.1	2.8	5.6	—	—

【問 33 で「利用したくない」または「いまのところわからない」と回答した方への質問】

問 33-2 利用したくないまたはわからないと思う理由はどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「制度についてよくわからない」の割合が 50.2%と最も高く、次いで「後見人等に身上の保護（住居、医療、介護等に関する法律手続き）や金銭管理をゆだねることが不安」の割合が 24.6%、「親族からの支援が受けられるので、成年後見制度を利用する必要がない」の割合が 22.9%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「親族からの支援が受けられるので、成年後見制度を利用する必要がない」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「制度についてよくわからない」の割合が、50歳代で「後見人等に身上の保護（住居、医療、介護等に関する法律手続き）や金銭管理をゆだねることが不安」の割合が、60歳代で「親族からの支援が受けられるので、成年後見制度を利用する必要がない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

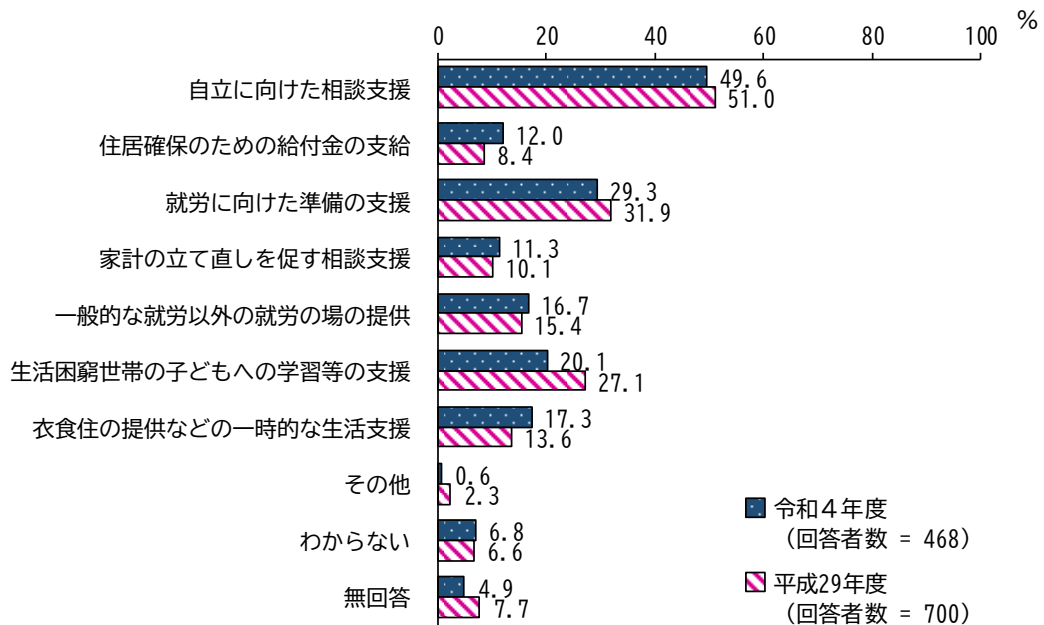
単位：％

区分	回答者数（件）	制度についてよくわからない	相談窓口がわからない	支援者が制度について理解していない	制度そのものに反対である	利用開始手続きが複雑である	申立費用や報酬等の負担がある	後見人等に身上の保護（住居、医療、介護等に関する法律手続き）や金銭管理をゆだねることが不安	他人に財産状況や生活状況を知られたくない	親族からの支援が受けられるので、成年後見制度を利用する必要がない	利用を始めるタイミングがわからない	理由は特にないが、制度を利用するつもりはない	後見人等を任せたいと思う人がいない	その他	無回答	
全体	301	50.2	20.3	8.0	0.3	4.0	7.6	24.6	16.9	22.9	6.3	10.6	7.3	2.7	8.0	
性別	男性	123	50.4	22.8	8.9	0.8	3.3	4.9	21.1	15.4	14.6	6.5	10.6	8.1	3.3	8.1
	女性	169	49.7	18.9	6.5	—	4.7	10.1	27.8	18.3	29.6	6.5	10.7	6.5	2.4	7.1
	答えたくない	3	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	—	—	
年代別	18～29歳	24	66.7	12.5	4.2	—	4.2	—	12.5	—	4.2	8.3	8.3	4.2	12.5	—
	30歳代	27	63.0	29.6	3.7	—	—	3.7	18.5	7.4	7.4	—	7.4	11.1	3.7	3.7
	40歳代	32	53.1	18.8	6.3	—	—	3.1	25.0	21.9	15.6	9.4	9.4	9.4	—	3.1
	50歳代	49	57.1	24.5	8.2	—	12.2	18.4	40.8	26.5	18.4	6.1	2.0	10.2	4.1	10.2
	60歳代	70	41.4	20.0	10.0	1.4	1.4	5.7	22.9	14.3	35.7	8.6	11.4	2.9	—	10.0
	70歳以上	72	41.7	16.7	8.3	—	4.2	9.7	20.8	19.4	27.8	5.6	19.4	8.3	1.4	8.3
居住地区別	相良地区	134	50.0	19.4	9.0	0.7	3.0	6.0	20.9	18.7	20.9	5.2	12.7	6.7	2.2	9.7
	榛原地区	89	47.2	21.3	4.5	—	4.5	10.1	28.1	13.5	25.8	7.9	6.7	7.9	2.2	7.9
	牧之原地区	73	52.1	20.5	9.6	—	5.5	8.2	28.8	19.2	24.7	6.8	11.0	6.8	4.1	4.1

問 34 生活困窮者（就労したくてもできない、住居がない方など）を支援するための
 ような施策が重要だと思いますか。（〇は2つまで）

「自立に向けた相談支援」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「就労に向けた準備の支援」の割合が 29.3%、「生活困窮世帯の子どもへの学習等の支援」の割合が 20.1%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「生活困窮世帯の子どもへの学習等の支援」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「衣食住の提供などの一時的な生活支援」の割合が、30歳代で「就労に向けた準備の支援」の割合が、50歳代で「自立に向けた相談支援」の割合が高くなっています。

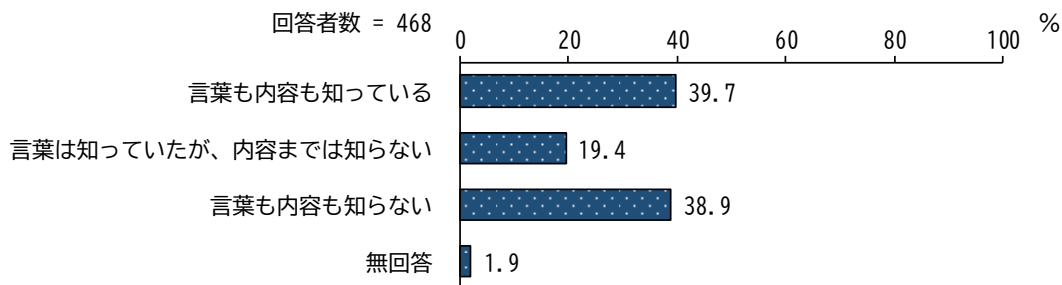
居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「生活困窮世帯の子どもへの学習等の支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数(件)	自立に向けた相談支援	住居確保のための給付金の支給	就労に向けた準備の支援	家計の立て直しを促す相談支援	一般的な就労以外の就労の場の提供	生活困窮世帯の子どもへの学習等の支援	衣食住の提供などの一時的な生活支援	その他	わからない	無回答
全体	468	49.6	12.0	29.3	11.3	16.7	20.1	17.3	0.6	6.8	4.9
性別	男性	208	46.6	13.9	29.3	8.7	15.4	20.2	18.3	1.0	4.8
	女性	247	53.4	10.9	30.0	13.8	18.2	21.1	16.6	—	4.5
	答えたくない	5	20.0	—	20.0	—	—	—	20.0	40.0	20.0
年代別	18～29歳	39	38.5	17.9	25.6	10.3	7.7	17.9	30.8	—	10.3
	30歳代	41	48.8	7.3	46.3	9.8	22.0	14.6	17.1	—	2.4
	40歳代	52	50.0	7.7	36.5	7.7	17.3	23.1	19.2	1.9	3.8
	50歳代	70	60.0	8.6	22.9	12.9	22.9	21.4	12.9	1.4	5.7
	60歳代	105	50.5	15.2	32.4	14.3	18.1	18.1	11.4	—	5.7
	70歳以上	118	43.2	10.2	26.3	11.0	13.6	23.7	16.1	—	11.0
居住地区別	相良地区	205	50.7	12.7	28.3	10.7	17.1	25.9	17.6	0.5	5.9
	榛原地区	145	51.7	16.6	29.0	10.3	15.2	15.2	15.9	—	4.8
	牧之原地区	111	45.0	5.4	32.4	13.5	18.0	17.1	18.0	1.8	10.8

問 35 「ヤングケアラー」という言葉を知っていますか。(○は1つだけ)

「言葉も内容も知っている」の割合が 39.7%と最も高く、次いで「言葉も内容も知らない」の割合が 38.9%、「言葉は知っていたが、内容までは知らない」の割合が 19.4%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「言葉も内容も知らない」の割合が、30歳代、40歳代で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

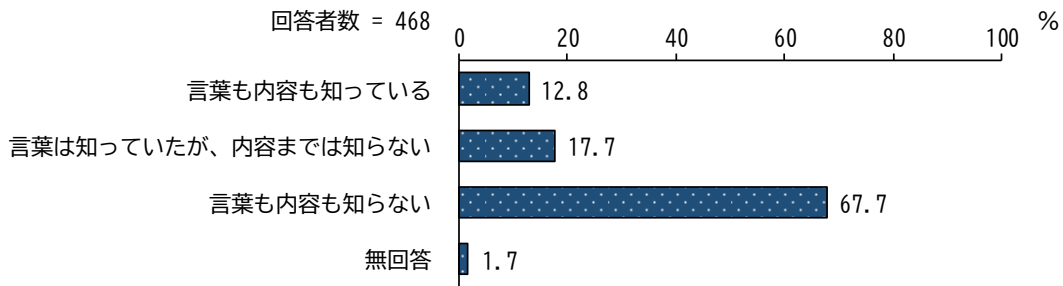
居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「言葉も内容も知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	言葉も内容も知っている	言葉は知っていたが、内容までは知らない	言葉も内容も知らない	無回答	
全体	468	39.7	19.4	38.9	1.9	
性別	男性	208	34.1	23.1	40.9	1.9
	女性	247	45.3	17.0	35.6	2.0
	答えたくない	5	60.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	39	30.8	20.5	48.7	—
	30歳代	41	48.8	7.3	43.9	—
	40歳代	52	59.6	17.3	21.2	1.9
	50歳代	70	40.0	14.3	45.7	—
	60歳代	105	44.8	22.9	29.5	2.9
	70歳以上	118	32.2	23.7	40.7	3.4
居住地区別	相良地区	205	46.3	18.0	33.2	2.4
	榛原地区	145	37.9	18.6	42.1	1.4
	牧之原地区	111	31.5	23.4	43.2	1.8

問 36 「ダブルケア」という言葉を知っていますか。(〇は1つだけ)

「言葉も内容も知らない」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「言葉は知っていたが、内容までは知らない」の割合が 17.7%、「言葉も内容も知っている」の割合が 12.8%となっています。



【属性別】

性別にみると、女性に比べ、男性で「言葉も内容も知らない」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代、60歳代で「言葉も内容も知っている」の割合が、18～29歳、50歳代で「言葉も内容も知らない」の割合が、70歳以上で「言葉は知っていたが、内容までは知らない」の割合が高くなっています。

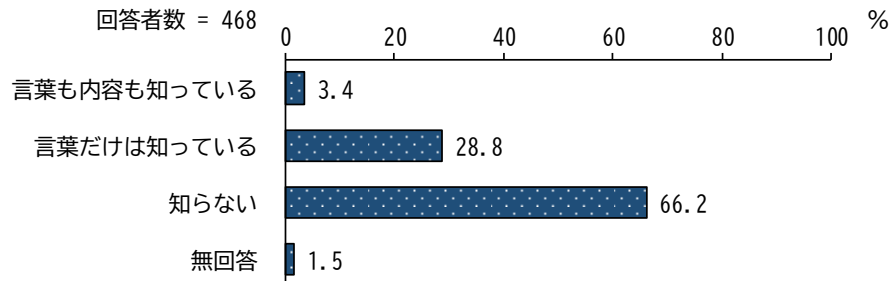
居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

区分	回答者数 (件)	言葉も内容も知っている	言葉は知っていたが、内容までは知らない	言葉も内容も知らない	無回答
全体	468	12.8	17.7	67.7	1.7
性別	男性	8.2	17.3	73.1	1.4
	女性	16.2	18.6	63.2	2.0
	答えたくない	60.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	2.6	12.8	84.6	—
	30歳代	12.2	14.6	70.7	2.4
	40歳代	23.1	7.7	69.2	—
	50歳代	10.0	10.0	80.0	—
	60歳代	20.0	19.0	60.0	1.0
	70歳以上	7.6	28.0	61.0	3.4
居住地区別	相良地区	16.6	18.5	62.9	2.0
	榛原地区	9.7	17.9	71.7	0.7
	牧之原地区	9.9	15.3	72.1	2.7

問 37 再犯の防止等の推進に関する法律（再犯防止推進法）について知っていますか。
（○は1つだけ）

「知らない」の割合が 66.2%と最も高く、次いで「言葉だけは知っている」の割合が 28.8%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「知らない」の割合が、70歳以上で「言葉だけは知っている」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「言葉だけは知っている」の割合が高くなっています。

単位：%

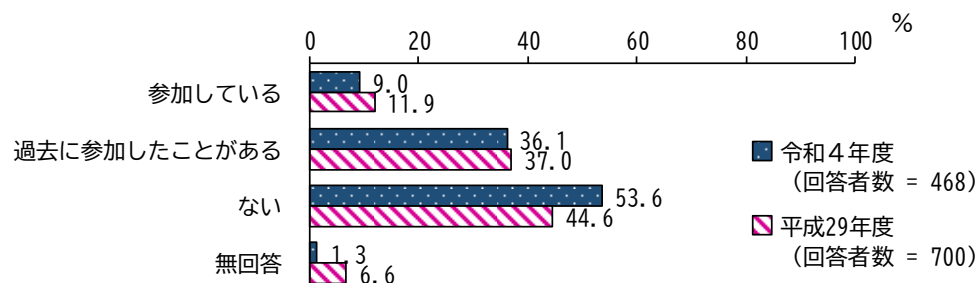
区分		回答者数 (件)	言葉も 内容も知 っている	言葉 だけは知 っている	知らない	無 回 答
全 体		468	3.4	28.8	66.2	1.5
性 別	男性	208	2.9	31.3	64.4	1.4
	女性	247	3.6	27.5	67.2	1.6
	答えたくない	5	20.0	20.0	60.0	—
年 代 別	18～29歳	39	2.6	28.2	69.2	—
	30歳代	41	4.9	24.4	70.7	—
	40歳代	52	7.7	19.2	73.1	—
	50歳代	70	—	18.6	81.4	—
	60歳代	105	3.8	30.5	64.8	1.0
	70歳以上	118	3.4	38.1	54.2	4.2
居 住 地 区 別	相良地区	205	2.9	35.1	60.5	1.5
	榛原地区	145	2.1	26.2	70.3	1.4
	牧之原地区	111	6.3	21.6	70.3	1.8

(7) ボランティア活動などに関することについて

問 38 ボランティア活動に参加したことがありますか。(〇は1つだけ)

「ない」の割合が53.6%と最も高く、次いで「過去に参加したことがある」の割合が36.1%となっています。

平成29年度と比較すると、「ない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「過去に参加したことがある」の割合が、50歳代で「ない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

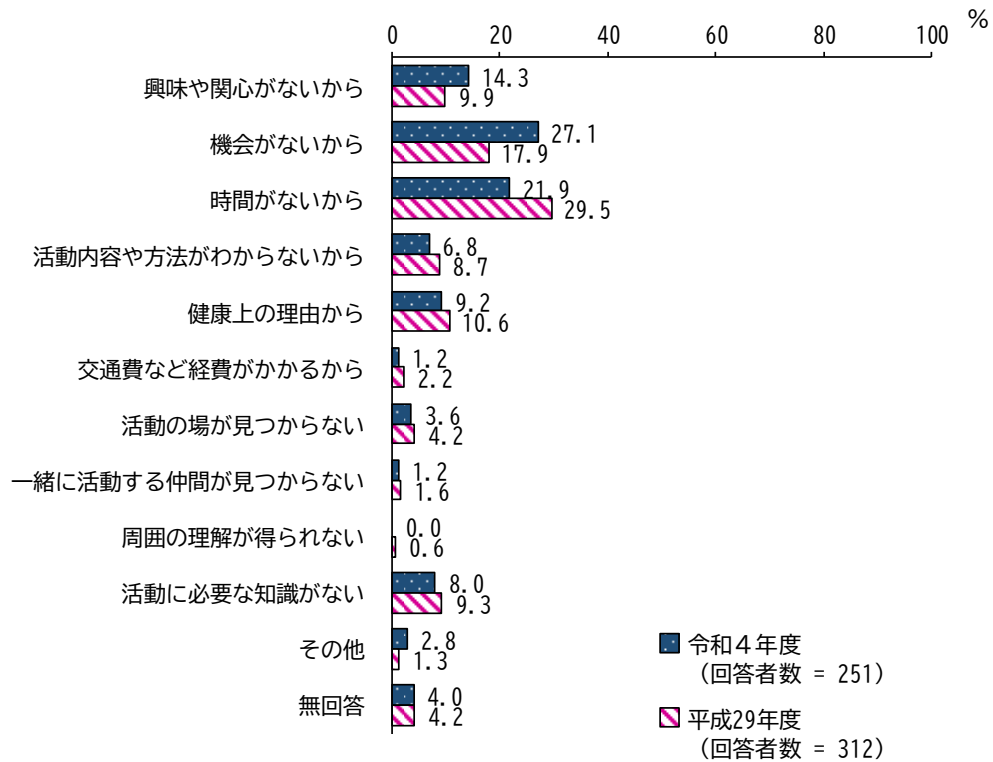
区分	回答者数 (件)	参加している	過去に参加したことがある	ない	無回答	
全体	468	9.0	36.1	53.6	1.3	
性別	男性	208	9.1	32.7	55.8	2.4
	女性	247	9.3	38.5	51.8	0.4
	答えたくない	5	—	40.0	60.0	—
年代別	18～29歳	39	5.1	61.5	33.3	—
	30歳代	41	2.4	58.5	36.6	2.4
	40歳代	52	3.8	44.2	51.9	—
	50歳代	70	2.9	32.9	64.3	—
	60歳代	105	12.4	26.7	59.0	1.9
	70歳以上	118	16.9	28.8	52.5	1.7
居住地区別	相良地区	205	10.7	36.1	51.7	1.5
	榛原地区	145	8.3	34.5	55.9	1.4
	牧之原地区	111	7.2	36.9	55.0	0.9

【問 38 で「ない」と回答した方への質問】

問 38－1 参加したことがない理由は何ですか。(○は1つだけ)

「機会がないから」の割合が 27.1%と最も高く、次いで「時間がないから」の割合が 21.9%、「興味や関心がないから」の割合が 14.3%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「機会がないから」の割合が増加しています。一方、「時間がないから」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「機会がないから」の割合が、30歳代で「時間がないから」の割合が、50歳代で「興味や関心がないから」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「機会がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

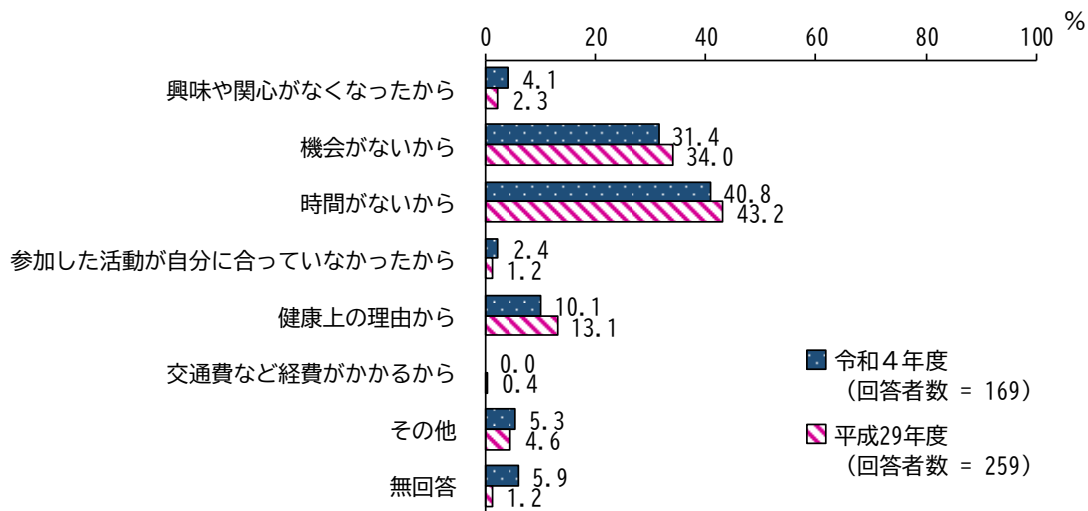
区分	回答者数(件)	興味や関心がないから	機会がないから	時間がないから	活動内容や方法がわからないから	健康上の理由から	かかるから	交通費など経費がかかるから	活動の場が見つからない	一緒に活動する仲間が見つからない	周囲の理解が得られない	活動に必要な知識がない	その他	無回答
全体	251	14.3	27.1	21.9	6.8	9.2	1.2	3.6	1.2	—	8.0	2.8	4.0	
性別	男性	116	19.0	26.7	19.0	7.8	7.8	1.7	3.4	—	—	7.8	3.4	3.4
	女性	128	10.9	27.3	25.0	5.5	10.2	0.8	3.1	2.3	—	8.6	2.3	3.9
	答えたくない	3	—	33.3	—	—	33.3	—	—	—	—	—	—	33.3
年代別	18～29歳	13	23.1	46.2	23.1	—	—	7.7	—	—	—	—	—	—
	30歳代	15	—	26.7	33.3	—	—	—	—	—	—	13.3	6.7	20.0
	40歳代	27	14.8	33.3	29.6	11.1	—	—	—	—	—	3.7	3.7	3.7
	50歳代	45	26.7	24.4	22.2	6.7	4.4	2.2	4.4	2.2	—	4.4	—	2.2
	60歳代	62	8.1	37.1	19.4	6.5	8.1	—	4.8	3.2	—	9.7	1.6	1.6
	70歳以上	62	16.1	19.4	19.4	4.8	16.1	1.6	3.2	—	—	11.3	3.2	4.8
居住地区別	相良地区	106	16.0	24.5	20.8	4.7	11.3	1.9	3.8	0.9	—	7.5	4.7	3.8
	榛原地区	81	12.3	27.2	22.2	8.6	6.2	1.2	2.5	1.2	—	11.1	1.2	6.2
	牧之原地区	61	13.1	32.8	23.0	8.2	9.8	—	3.3	1.6	—	4.9	1.6	1.6

【問 38 で「過去に参加したことがある」と回答した方への質問】

問 38－2 現在参加していない理由は何ですか。(○は1つだけ)

「時間がないから」の割合が 40.8%と最も高く、次いで「機会がないから」の割合が 31.4%、「健康上の理由から」の割合が 10.1%となっています。

平成 29 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代、40歳代で「時間がないから」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「機会がないから」の割合が、榛原地区で「健康上の理由から」「時間がないから」の割合が高くなっています。

単位：％

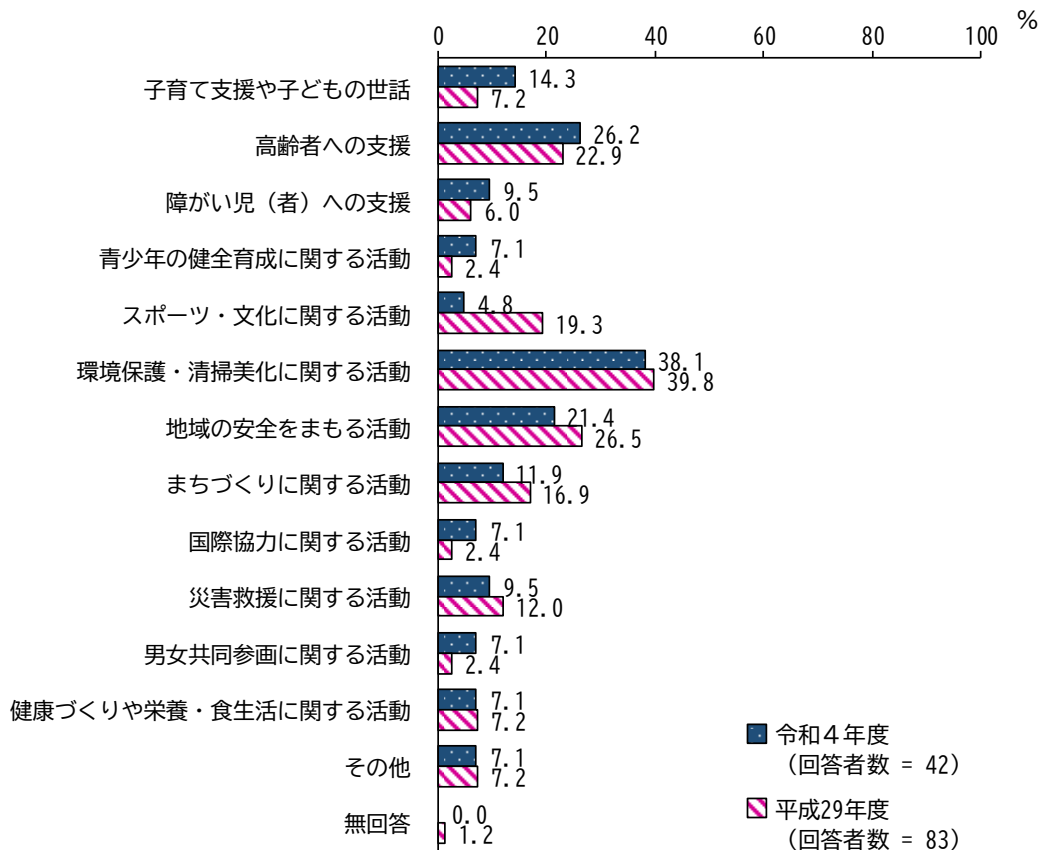
区分	回答者数(件)	興味や関心がなくなつたから	機会がないから	時間がないから	参加した活動が自分に合っていないから	健康上の理由から	交通費など経費がかかるから	その他	無回答	
全 体	169	4.1	31.4	40.8	2.4	10.1	—	5.3	5.9	
性別	男性	68	8.8	29.4	41.2	1.5	10.3	—	5.9	2.9
	女性	95	1.1	33.7	41.1	3.2	8.4	—	4.2	8.4
	答えたくない	2	—	—	50.0	—	50.0	—	—	—
年代別	18～29歳	24	4.2	33.3	58.3	—	4.2	—	—	—
	30歳代	24	4.2	12.5	70.8	—	4.2	—	—	8.3
	40歳代	23	4.3	17.4	60.9	—	4.3	—	4.3	8.7
	50歳代	23	—	39.1	39.1	8.7	—	—	8.7	4.3
	60歳代	28	3.6	42.9	28.6	3.6	3.6	—	7.1	10.7
	70歳以上	34	5.9	38.2	11.8	2.9	26.5	—	8.8	5.9
居住地区別	相良地区	74	2.7	39.2	40.5	1.4	5.4	—	4.1	6.8
	榛原地区	50	2.0	20.0	46.0	4.0	16.0	—	8.0	4.0
	牧之原地区	41	9.8	31.7	34.1	2.4	12.2	—	2.4	7.3

【問 38 で「参加している」と回答した方への質問】

問 38-3 参加している活動はどのような活動ですか。(あてはまるものすべてに○)

「環境保護・清掃美化に関する活動」の割合が 38.1%と最も高く、次いで「高齢者への支援」の割合が 26.2%、「地域の安全をまもる活動」の割合が 21.4%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「子育て支援や子どもの世話」の割合が増加しています。一方、「スポーツ・文化に関する活動」「地域の安全をまもる活動」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「環境保護・清掃美化に関する活動」の割合が、女性で「子育て支援や子どもの世話」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「地域の安全をまもる活動」「高齢者への支援」の割合が高くなっています。

単位：％

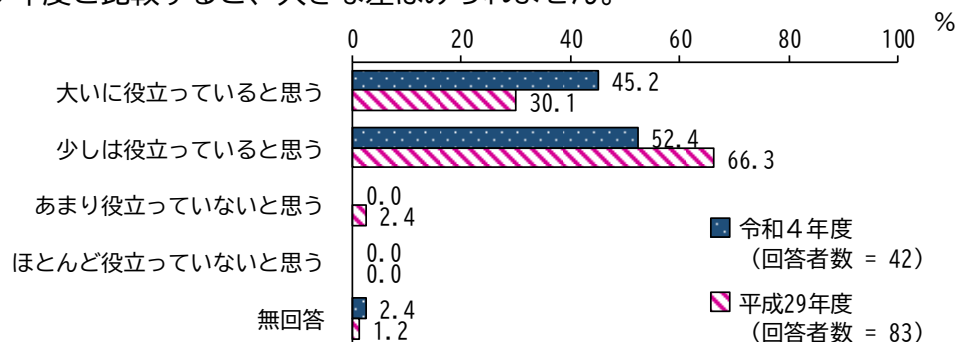
区分	回答者数(件)	子育て支援や子どもの世話	高齢者への支援	障がい児(者)への支援	青少年の健全育成に関する活動	スポーツ・文化に関する活動	環境保護・清掃美化に関する活動	地域の安全をまもる活動	まちづくりに関する活動	国際協力に関する活動	災害救援に関する活動	男性女性共同参加に関する活動	健康づくりや栄養・食生活に関する活動	その他	無回答	
全体	42	14.3	26.2	9.5	7.1	4.8	38.1	21.4	11.9	7.1	9.5	7.1	7.1	7.1	—	
性別	男性	19	5.3	21.1	10.5	10.5	5.3	52.6	26.3	10.5	—	15.8	10.5	—	5.3	—
	女性	23	21.7	30.4	8.7	4.3	4.3	26.1	17.4	13.0	13.0	4.3	4.3	13.0	8.7	—
	答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年代別	18～29歳	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—
	30歳代	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—
	40歳代	2	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0	—
	50歳代	2	—	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—
	60歳代	13	23.1	15.4	7.7	7.7	15.4	30.8	30.8	15.4	7.7	—	—	7.7	7.7	—
	70歳以上	20	5.0	35.0	5.0	10.0	—	45.0	20.0	5.0	5.0	15.0	10.0	5.0	—	—
居住地区別	相良地区	22	18.2	31.8	9.1	13.6	4.5	36.4	31.8	13.6	4.5	9.1	9.1	13.6	4.5	—
	榛原地区	12	16.7	25.0	16.7	—	8.3	41.7	8.3	8.3	16.7	8.3	—	—	—	—
	牧之原地区	8	—	12.5	—	—	—	37.5	12.5	12.5	—	12.5	12.5	—	25.0	—

【問 38 で「参加している」と回答した方への質問】

問 38-4 現在参加しているボランティア活動は、社会や地域に役立っていると思いますか。(○は1つだけ)

「大いに役立っていると思う」と「少しは役立っていると思う」をあわせた“役立っていると思う”の割合が 97.6%と高くなっています。

平成 29 年度と比較すると、大きな差はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、大きな差はみられません。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

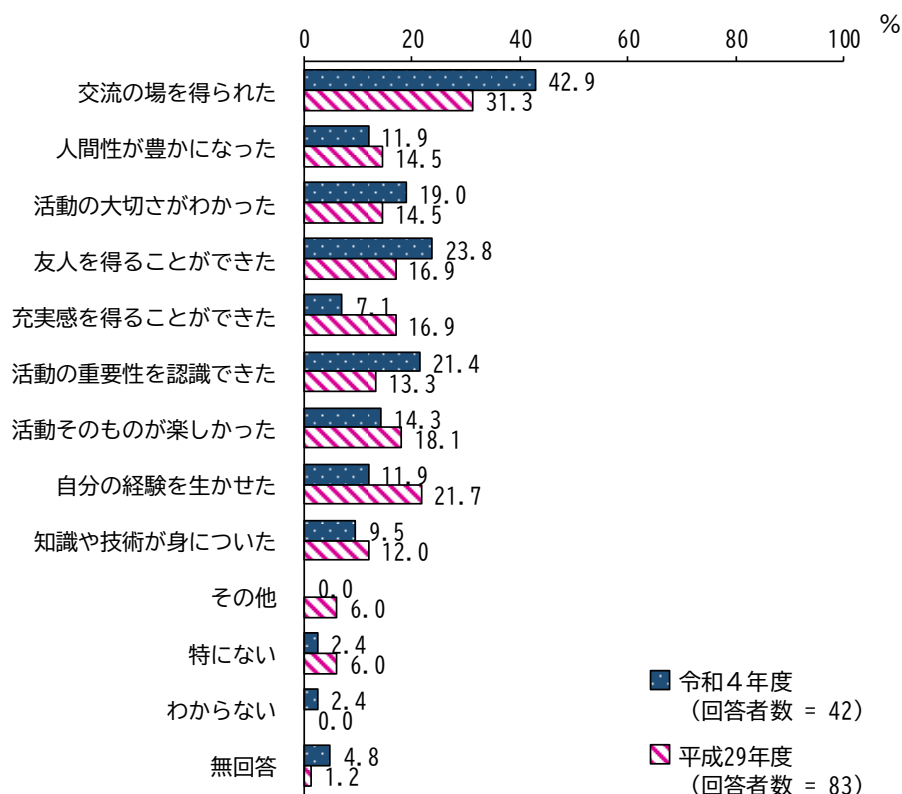
区分	回答者数 (件)	大いに役立っていると思う	少しは役立っていると思う	あまり役立っていないと思う	ほとんど役立っていないと思う	無回答
全体	42	45.2	52.4	—	—	2.4
性別	男性	19	52.6	47.4	—	—
	女性	23	39.1	56.5	—	—
	答えたくない	—	—	—	—	—
年代別	18～29 歳	2	100.0	—	—	—
	30 歳代	1	—	100.0	—	—
	40 歳代	2	100.0	—	—	—
	50 歳代	2	50.0	50.0	—	—
	60 歳代	13	23.1	69.2	—	—
	70 歳以上	20	50.0	50.0	—	—
居住地区別	相良地区	22	45.5	54.5	—	—
	榛原地区	12	50.0	41.7	—	—
	牧之原地区	8	37.5	62.5	—	—

【問 38 で「参加している」と回答した方への質問】

問 38-5 ボランティア活動をしてよかったことは、次のうちどれですか。(〇は2つまで)

「交流の場を得られた」の割合が 42.9%と最も高く、次いで「友人を得ることができた」の割合が 23.8%、「活動の重要性を認識できた」の割合が 21.4%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「交流の場を得られた」「友人を得ることができた」「活動の重要性を認識できた」の割合が増加しています。一方、「充実感を得ることができた」「自分の経験を生かした」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「交流の場を得られた」「活動そのものが楽しかった」の割合が、男性で「自分の経験を生かせた」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「交流の場を得られた」「活動の大切さがわかった」の割合が高くなっています。

単位：%

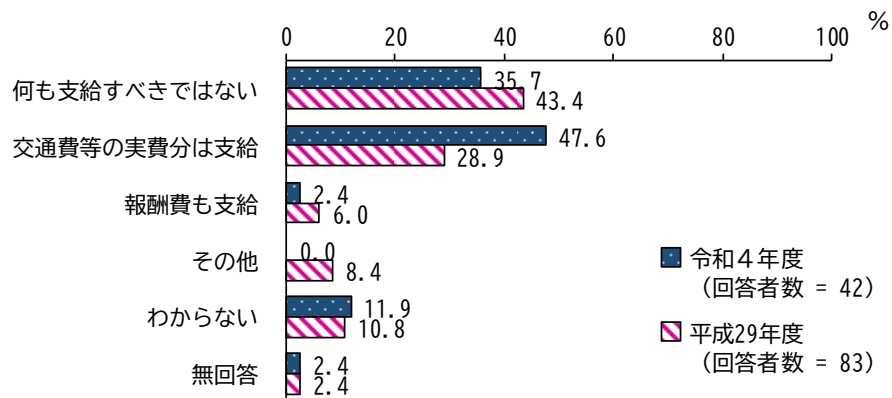
区分		回答者数 (件)	た交流の場を得られた	人間性が豊かになった	活動の大切さがわかった	友人を得ることができた	充実感を得ることができた	活動の重要性を認識できた	活動そのものが楽しかった	自分の経験を生かせた	知識や技術が身についた	その他	特にな	わからない	無回答
全 体		42	42.9	11.9	19.0	23.8	7.1	21.4	14.3	11.9	9.5	—	2.4	2.4	4.8
性別	男性	19	21.1	10.5	10.5	21.1	10.5	26.3	5.3	21.1	21.1	—	5.3	5.3	—
	女性	23	60.9	13.0	26.1	26.1	4.3	17.4	21.7	4.3	—	—	—	—	8.7
	答えたくない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年代別	18～29 歳	2	50.0	—	—	—	—	—	100.0	50.0	—	—	—	—	—
	30 歳代	1	100.0	—	—	—	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—
	40 歳代	2	—	—	—	50.0	—	—	—	50.0	100.0	—	—	—	—
	50 歳代	2	50.0	—	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—
	60 歳代	13	46.2	7.7	46.2	15.4	7.7	23.1	7.7	—	—	—	7.7	7.7	7.7
	70 歳以上	20	45.0	20.0	5.0	25.0	10.0	20.0	15.0	15.0	10.0	—	—	—	—
居住地区別	相良地区	22	40.9	13.6	18.2	18.2	9.1	22.7	18.2	13.6	9.1	—	4.5	—	4.5
	榛原地区	12	58.3	16.7	25.0	16.7	—	25.0	16.7	—	16.7	—	—	—	8.3
	牧之原地区	8	25.0	—	12.5	50.0	12.5	12.5	—	25.0	—	—	—	12.5	—

【問 38 で「参加している」と回答した方への質問】

問 38－6 ボランティア活動に対する交通費等の実費や報酬費の支給は必要だと思いますか。(○は1つだけ)

「交通費等の実費分は支給」の割合が 47.6%と最も高く、次いで「何も支給すべきではない」の割合が 35.7%、「わからない」の割合が 11.9%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「交通費等の実費分は支給」の割合が増加しています。一方、「何も支給すべきではない」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「わからない」の割合が、男性で「交通費等の実費分は支給」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「交通費等の実費分は支給」の割合が高くなっています。

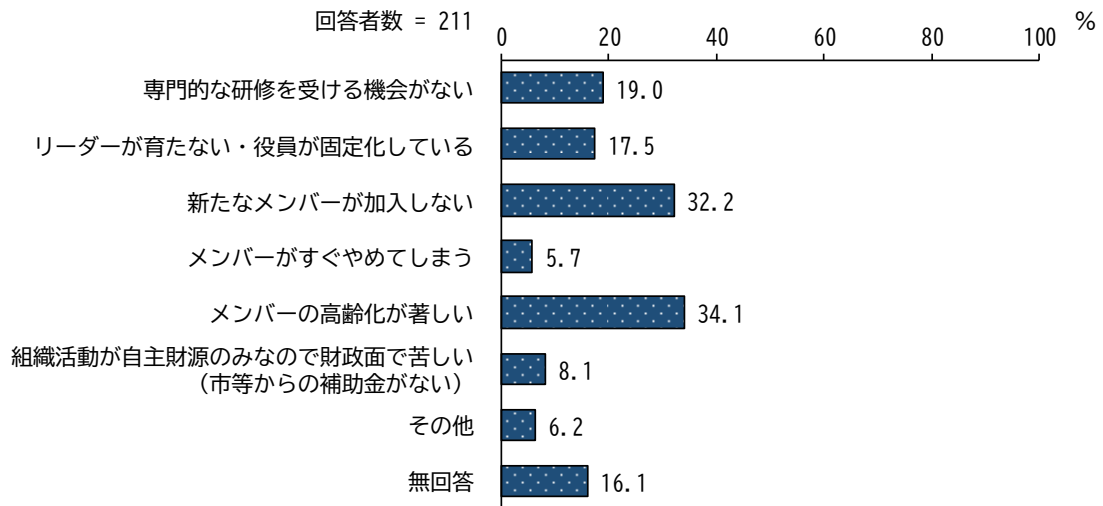
単位：％

区分		回答者数(件)	何も支給すべきではない	交通費等の実費分は支給	報酬費も支給	その他	わからない	無回答
全 体		42	35.7	47.6	2.4	—	11.9	2.4
性別	男性	19	36.8	52.6	5.3	—	5.3	—
	女性	23	34.8	43.5	—	—	17.4	4.3
	答えたくない	—	—	—	—	—	—	—
年代別	18～29 歳	2	—	100.0	—	—	—	—
	30 歳代	1	100.0	—	—	—	—	—
	40 歳代	2	—	100.0	—	—	—	—
	50 歳代	2	100.0	—	—	—	—	—
	60 歳代	13	15.4	53.8	—	—	23.1	7.7
	70 歳以上	20	50.0	35.0	5.0	—	10.0	—
居住地区別	相良地区	22	36.4	45.5	4.5	—	13.6	—
	榛原地区	12	25.0	58.3	—	—	8.3	8.3
	牧之原地区	8	50.0	37.5	—	—	12.5	—

【問 38 で「参加している」または「過去に参加したことがある」と回答した方への質問】

問 38-7 活動にあたっての問題点は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「メンバーの高齢化が著しい」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「新たなメンバーが加入しない」の割合が 32.2%、「専門的な研修を受ける機会がない」の割合が 19.0%となっています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「新たなメンバーが加入しない」「メンバーの高齢化が著しい」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「専門的な研修を受ける機会がない」の割合が、50歳代で「新たなメンバーが加入しない」の割合が、70歳以上で「メンバーの高齢化が著しい」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、榛原地区で「メンバーの高齢化が著しい」の割合が高くなっています。

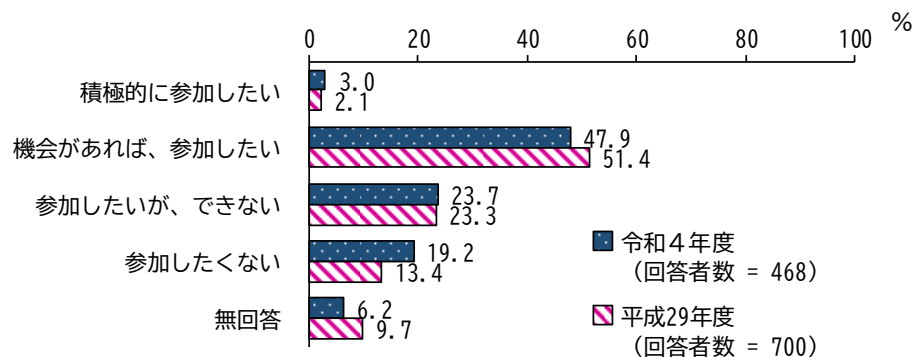
単位：%

区分		回答者数(件)	専門的な研修を受ける機会がない	リーダーが育たない・役員が固定化している	新たなメンバーが加入しない	メンバーがすぐやめてしまう	メンバーの高齢化が著しい	組織活動が自主財源のみなので財政面で苦しい(市等からの補助金がない)	その他	無回答
全体		211	19.0	17.5	32.2	5.7	34.1	8.1	6.2	16.1
性別	男性	87	14.9	13.8	43.7	8.0	43.7	4.6	4.6	16.1
	女性	118	21.2	19.5	23.7	4.2	28.0	11.0	7.6	15.3
	答えたくない	2	50.0	—	50.0	—	50.0	—	—	—
年代別	18～29歳	26	30.8	11.5	19.2	15.4	23.1	7.7	7.7	7.7
	30歳代	25	16.0	16.0	32.0	4.0	20.0	4.0	16.0	12.0
	40歳代	25	24.0	12.0	28.0	—	16.0	4.0	8.0	24.0
	50歳代	25	12.0	16.0	40.0	12.0	40.0	8.0	4.0	16.0
	60歳代	41	24.4	12.2	36.6	4.9	36.6	19.5	4.9	17.1
	70歳以上	54	11.1	20.4	31.5	1.9	48.1	3.7	3.7	16.7
居住地区別	相良地区	96	22.9	20.8	32.3	4.2	34.4	6.3	3.1	16.7
	榛原地区	62	16.1	17.7	29.0	9.7	40.3	11.3	9.7	14.5
	牧之原地区	49	12.2	8.2	36.7	4.1	26.5	8.2	8.2	16.3

問 39 今後ボランティア活動に参加したいと思いますか。(〇は1つだけ)

「機会があれば、参加したい」の割合が47.9%と最も高く、次いで「参加したいが、できない」の割合が23.7%、「参加したくない」の割合が19.2%となっています。

平成29年度と比較すると、「参加したくない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「機会があれば、参加したい」の割合が、70歳以上で「参加したいが、できない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「機会があれば、参加したい」の割合が高くなっています。

単位：％

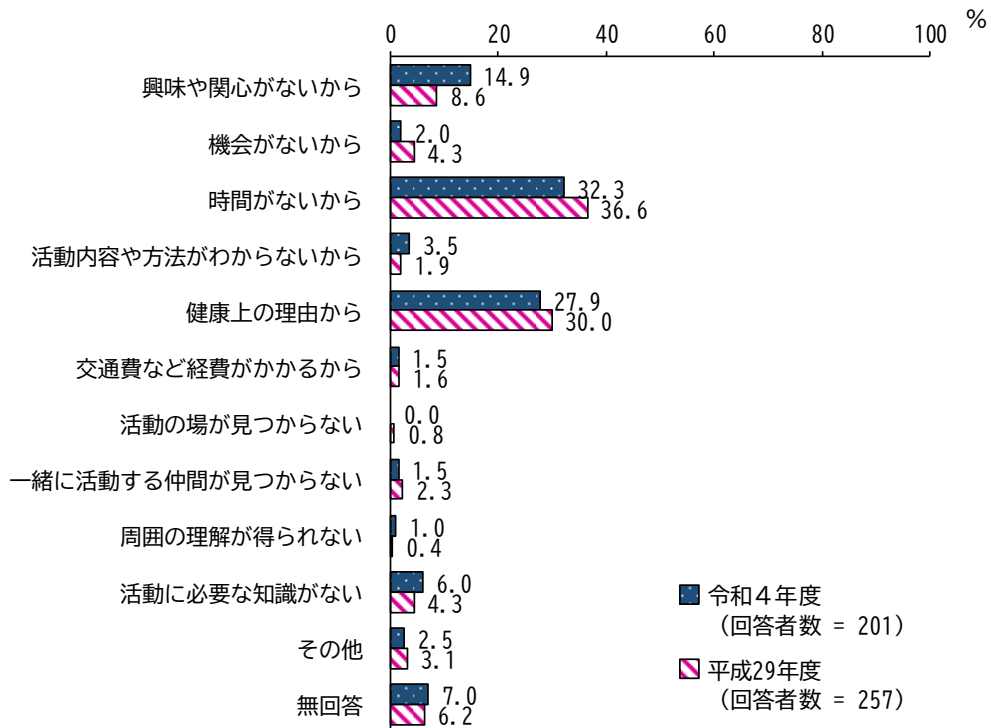
区分		回答者数 (件)	積極的に 参加したい	機会があれば、 参加したい	参加したいが、 できない	参加したくない	無回答
全 体		468	3.0	47.9	23.7	19.2	6.2
性別	男性	208	4.3	48.6	21.6	18.8	6.7
	女性	247	2.0	47.8	25.9	19.0	5.3
	答えたくない	5	—	60.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	39	7.7	46.2	25.6	20.5	—
	30歳代	41	—	65.9	24.4	7.3	2.4
	40歳代	52	1.9	59.6	15.4	21.2	1.9
	50歳代	70	—	50.0	20.0	24.3	5.7
	60歳代	105	2.9	51.4	18.1	21.0	6.7
	70歳以上	118	4.2	36.4	32.2	17.8	9.3
居住地区別	相良地区	205	3.9	44.4	24.4	20.5	6.8
	榛原地区	145	2.1	50.3	24.1	18.6	4.8
	牧之原地区	111	2.7	53.2	21.6	16.2	6.3

【問 39 で「参加したいが、できない」「参加したくない」と回答した方への質問】

問 39-1 参加したくない（できない）理由は何ですか。（○は1つだけ）

「時間がないから」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「健康上の理由から」の割合が 27.9%、「興味や関心がないから」の割合が 14.9%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「興味や関心がないから」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「興味や関心がないから」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「時間がないから」の割合が、70歳以上で「健康上の理由から」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「健康上の理由から」の割合が、榛原地区で「時間がないから」の割合が高くなっています。

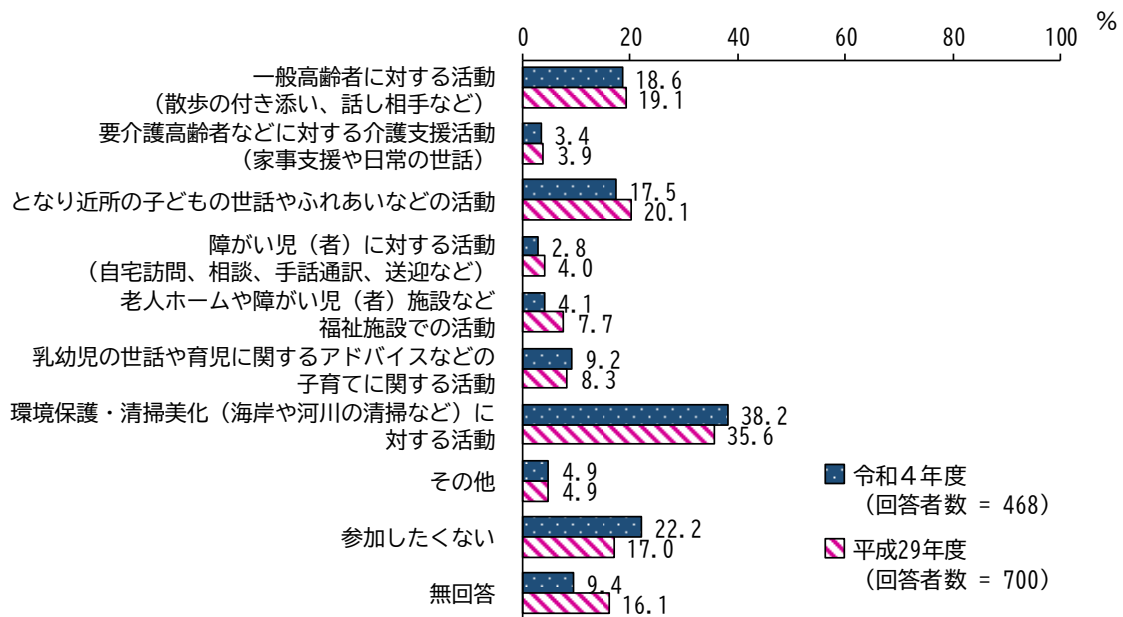
単位：％

区分	回答者数(件)	興味や関心がないから	機会がないから	時間がないから	活動内容や方法がわからないから	健康上の理由から	かかるから	交通費など経費がかかるから	活動の場が見つからない	一緒に活動する仲間が見つからない	周囲の理解が得られない	活動に必要な知識がない	その他	無回答
全体	201	14.9	2.0	32.3	3.5	27.9	1.5	—	1.5	1.0	6.0	2.5	7.0	
性別	男性	84	20.2	1.2	31.0	3.6	23.8	3.6	—	—	—	4.8	3.6	8.3
	女性	111	10.8	2.7	34.2	3.6	31.5	—	—	2.7	0.9	6.3	1.8	5.4
	答えたくない	2	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—
年代別	18～29歳	18	22.2	5.6	61.1	—	5.6	5.6	—	—	—	—	—	—
	30歳代	13	7.7	—	61.5	—	7.7	—	—	—	—	15.4	—	7.7
	40歳代	19	21.1	5.3	42.1	10.5	—	—	—	5.3	—	—	5.3	10.5
	50歳代	31	22.6	—	48.4	3.2	6.5	3.2	—	—	—	6.5	—	9.7
	60歳代	41	17.1	2.4	29.3	2.4	31.7	—	—	—	—	12.2	2.4	2.4
	70歳以上	59	8.5	1.7	13.6	5.1	52.5	1.7	—	3.4	—	1.7	3.4	8.5
居住地区別	相良地区	92	15.2	4.3	29.3	4.3	27.2	2.2	—	1.1	—	5.4	4.3	6.5
	榛原地区	62	11.3	—	38.7	4.8	25.8	1.6	—	1.6	1.6	4.8	1.6	8.1
	牧之原地区	42	16.7	—	31.0	—	35.7	—	—	2.4	—	7.1	—	7.1

問 40 今後、次のような福祉に関するボランティア活動に参加したいと思いますか。
 (あてはまるものすべてに○)

「環境保護・清掃美化（海岸や河川の清掃など）に対する活動」の割合が 38.2%と最も高く、次いで「参加したくない」の割合が 22.2%、「一般高齢者に対する活動（散歩の付き添い、話し相手など）」の割合が 18.6%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「参加したくない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「一般高齢者に対する活動（散歩の付き添い、話し相手など）」の割合が、男性で「環境保護・清掃美化（海岸や河川の清掃など）」に対する活動の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、30歳代で「となり近所の子どもの世話やふれあいなどの活動」の割合が、50歳代、60歳代で「環境保護・清掃美化（海岸や河川の清掃など）」に対する活動の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

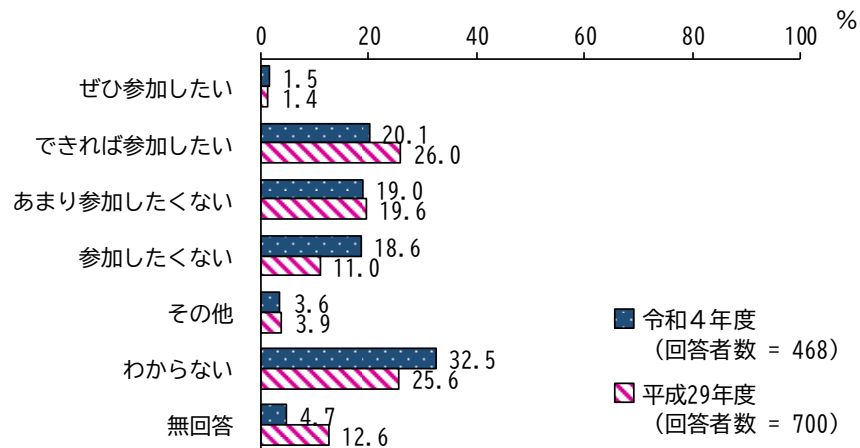
単位：％

区分		回答者数（件）	一般高齢者に対する活動（散歩の付き添い、話し相手など）	要介護高齢者などに対する介護支援活動（家事支援や日常の世話）	となり近所の子どもの世話やふれあいなどの活動	障がい児（者）に対する活動（自宅訪問、相談、手話通訳、送迎など）	老人ホームや障がい児（者）施設など福祉施設での活動	乳幼児の世話や育児に関するアドバイスなどの子育てに関する活動	環境保護・清掃美化（海岸や河川の清掃など）に対する活動	その他	参加したくない	無回答
全体		468	18.6	3.4	17.5	2.8	4.1	9.2	38.2	4.9	22.2	9.4
性別	男性	208	10.6	2.4	14.9	1.4	1.0	3.4	44.7	4.8	22.6	11.5
	女性	247	26.3	4.5	20.6	4.0	6.9	14.2	33.2	4.9	20.6	7.7
	答えたくない	5	—	—	—	—	—	20.0	20.0	20.0	40.0	—
年代別	18～29歳	39	23.1	—	33.3	2.6	2.6	10.3	43.6	2.6	17.9	—
	30歳代	41	17.1	12.2	31.7	7.3	7.3	24.4	19.5	2.4	17.1	2.4
	40歳代	52	3.8	1.9	13.5	5.8	5.8	15.4	40.4	15.4	23.1	7.7
	50歳代	70	18.6	4.3	17.1	1.4	2.9	10.0	45.7	—	24.3	7.1
	60歳代	105	20.0	2.9	18.1	2.9	2.9	8.6	46.7	2.9	20.0	8.6
	70歳以上	118	21.2	1.7	11.0	0.8	5.1	2.5	32.2	6.8	24.6	16.1
居住地区別	相良地区	205	19.5	3.9	18.0	3.9	4.9	10.2	40.0	3.9	20.5	8.3
	榛原地区	145	20.0	2.8	18.6	2.1	3.4	7.6	39.3	5.5	24.1	7.6
	牧之原地区	111	16.2	3.6	16.2	1.8	3.6	9.9	34.2	6.3	20.7	13.5

問 41 ボランティア活動に関する研修や講習会が開催されたら、参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

「あまり参加したくない」と「参加したくない」をあわせた“参加したくない”の割合が 37.6%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 32.5%となっています。

平成 29 年度と比較すると、“参加したくない”「わからない」の割合が増加しています。一方、「ぜひ参加したい」と「できれば参加したい」をあわせた“参加したい”の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「あまり参加したくない」「わからない」の割合が、50歳代で「わからない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

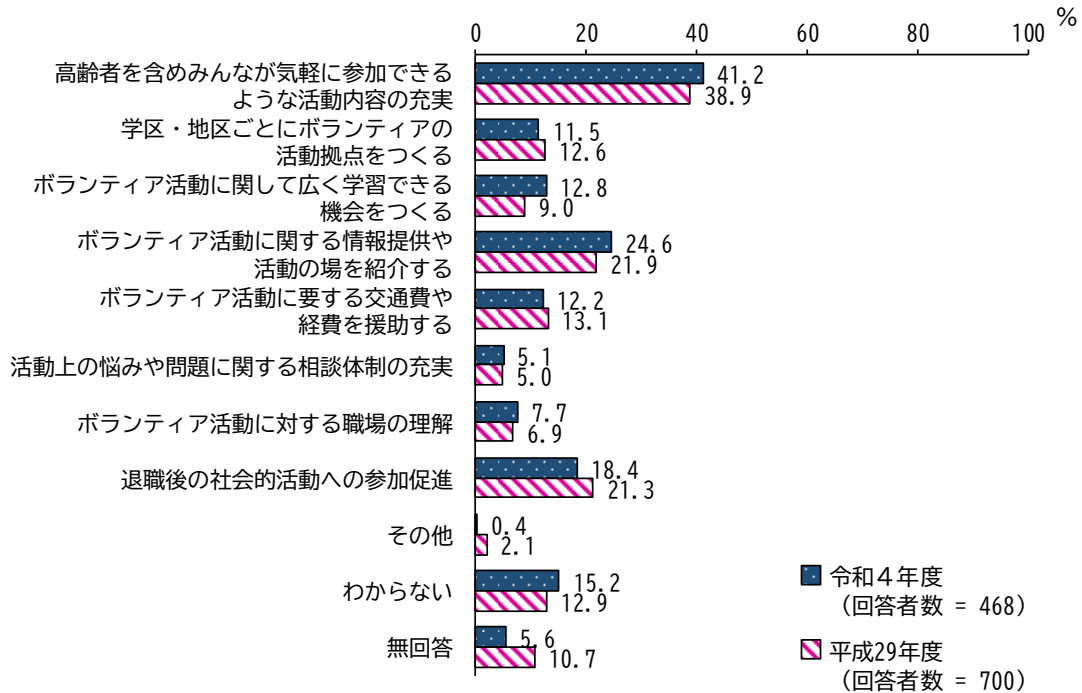
単位：％

区分		回答者数 (件)	ぜひ参加したい	できれば参加した い	あまり参加したく ない	参加したくない	その他	わからない	無回答
全 体		468	1.5	20.1	19.0	18.6	3.6	32.5	4.7
性別	男性	208	1.4	17.8	20.7	20.7	2.4	30.8	6.3
	女性	247	1.6	22.3	17.4	16.2	4.9	34.0	3.6
	答えたくない	5	—	20.0	20.0	40.0	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	2.6	10.3	28.2	15.4	—	43.6	—
	30歳代	41	2.4	22.0	17.1	19.5	2.4	34.1	2.4
	40歳代	52	—	25.0	15.4	21.2	—	36.5	1.9
	50歳代	70	—	7.1	20.0	21.4	4.3	42.9	4.3
	60歳代	105	1.9	25.7	21.0	15.2	6.7	26.7	2.9
	70歳以上	118	1.7	23.7	15.3	20.3	5.1	27.1	6.8
居住地区別	相良地区	205	1.5	23.4	19.0	16.1	3.4	31.7	4.9
	榛原地区	145	2.1	16.6	20.0	21.4	4.1	32.4	3.4
	牧之原地区	111	0.9	18.9	17.1	18.0	3.6	35.1	6.3

問 42 今後、牧之原市でボランティア活動が活発になるためにはどのようなことが必要だと思いますか。(〇は2つまで)

「高齢者を含めみんなが気軽に参加できるような活動内容の充実」の割合が 41.2%と最も高く、次いで「ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する」の割合が 24.6%、「退職後の社会的活動への参加促進」の割合が 18.4%となっています。

平成 29 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「高齢者を含めみんなが気軽に参加できるような活動内容の充実」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「ボランティア活動に関して広く学習できる機会をつくる」の割合が、50歳代で「退職後の社会的活動への参加促進」の割合が、60歳代で「高齢者を含めみんなが気軽に参加できるような活動内容の充実」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：%

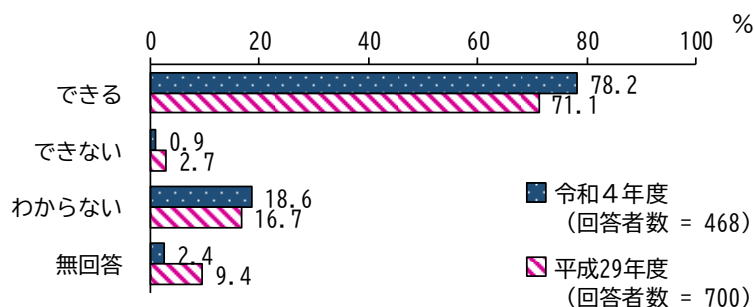
区分		回答者数(件)	高齢者を含めみんなが気軽に参加できるような活動内容の充実	学区・地区ごとにボランティアの活動拠点をつくる	ボランティア活動に関して広く学習できる機会をつくる	ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する	ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する	活動上の悩みや問題に関する相談体制の充実	ボランティア活動に対する職場の理解	退職後の社会的活動への参加促進	その他	わからない	無回答
全体		468	41.2	11.5	12.8	24.6	12.2	5.1	7.7	18.4	0.4	15.2	5.6
性別	男性	208	35.1	14.4	13.0	22.1	13.9	6.7	9.1	16.8	—	16.3	6.7
	女性	247	47.8	9.7	12.6	27.5	10.1	4.0	6.9	19.8	0.8	13.0	4.5
	答えたくない	5	—	—	20.0	20.0	20.0	—	—	20.0	—	40.0	—
年代別	18～29歳	39	28.2	20.5	12.8	28.2	12.8	5.1	17.9	5.1	—	17.9	2.6
	30歳代	41	34.1	17.1	26.8	29.3	22.0	2.4	4.9	17.1	2.4	12.2	—
	40歳代	52	25.0	13.5	9.6	23.1	17.3	7.7	13.5	21.2	—	17.3	3.8
	50歳代	70	27.1	10.0	14.3	20.0	10.0	5.7	10.0	28.6	—	18.6	1.4
	60歳代	105	53.3	11.4	5.7	31.4	10.5	2.9	5.7	20.0	—	13.3	3.8
	70歳以上	118	49.2	10.2	13.6	22.0	5.9	3.4	3.4	15.3	—	16.9	12.7
居住地区別	相良地区	205	39.0	13.2	14.1	24.9	13.2	4.9	11.2	17.6	0.5	12.7	6.8
	榛原地区	145	45.5	11.0	12.4	26.2	11.0	5.5	6.2	17.9	—	15.2	3.4
	牧之原地区	111	41.4	9.9	11.7	23.4	10.8	5.4	3.6	20.7	0.9	18.0	5.4

(8) 災害時のことについて

問 43 地震などの災害発生時に、自力で避難することができますか。(○は1つだけ)

「できる」の割合が 78.2%と最も高く、次いで「わからない」の割合が 18.6%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「できる」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29 歳、30 歳代で「できる」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「わからない」の割合が高くなっています。

単位：%

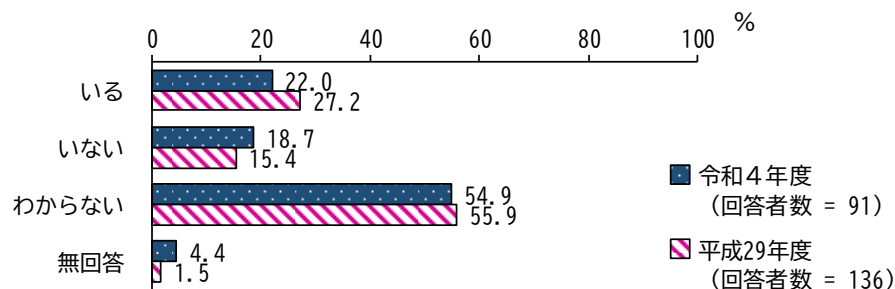
区分		回答者数 (件)	できる	できない	わからない	無回答
全 体		468	78.2	0.9	18.6	2.4
性別	男性	208	79.8	1.0	16.3	2.9
	女性	247	77.7	0.4	19.8	2.0
	答えたくない	5	60.0	—	40.0	—
年代別	18～29 歳	39	87.2	—	12.8	—
	30 歳代	41	85.4	2.4	12.2	—
	40 歳代	52	76.9	—	23.1	—
	50 歳代	70	81.4	—	17.1	1.4
	60 歳代	105	81.9	—	16.2	1.9
	70 歳以上	118	72.9	2.5	19.5	5.1
居住地区別	相良地区	205	78.0	1.0	17.6	3.4
	榛原地区	145	82.8	0.7	15.2	1.4
	牧之原地区	111	72.1	0.9	25.2	1.8

【問 43 で「できない」「わからない」と回答した方への質問】

問 43-1 地震など災害発生時に助けてもらえる方がいますか。答えを○で囲み、いる方はだれが助けてくれますか。(○は1つだけ)

「わからない」の割合が 54.9%と最も高く、次いで「いる」の割合が 22.0%、「いない」の割合が 18.7%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「いる」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「わからない」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「わからない」の割合が、70歳以上で「いる」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、他に比べ、牧之原地区で「わからない」の割合が、榛原地区、相良地区で「いる」の割合が高くなっています。

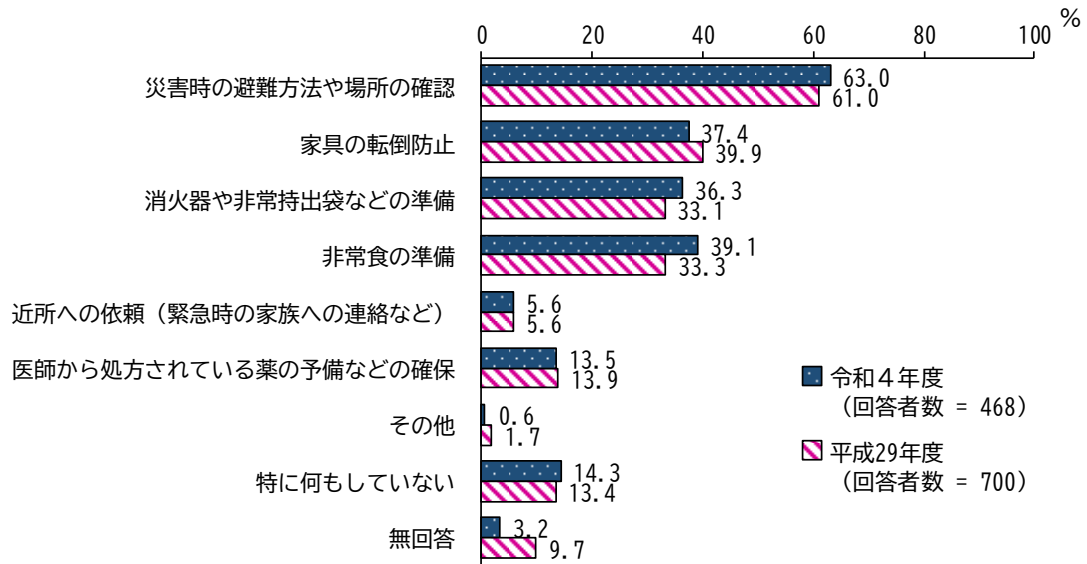
単位：%

区分		回答者数 (件)	いる	いない	わからない	無回答
全 体		91	22.0	18.7	54.9	4.4
性別	男性	36	19.4	16.7	61.1	2.8
	女性	50	24.0	20.0	52.0	4.0
	答えたくない	2	50.0	—	50.0	—
年代別	18～29歳	5	40.0	20.0	40.0	—
	30歳代	6	16.7	50.0	33.3	—
	40歳代	12	8.3	25.0	66.7	—
	50歳代	12	16.7	—	75.0	8.3
	60歳代	17	17.6	5.9	64.7	11.8
	70歳以上	26	34.6	23.1	38.5	3.8
居住地区別	相良地区	38	28.9	21.1	42.1	7.9
	榛原地区	23	30.4	13.0	56.5	—
	牧之原地区	29	6.9	20.7	69.0	3.4

問 44 普段から災害に備えてどのような対応をしていますか。(あてはまるものすべてに○)

「災害時の避難方法や場所の確認」の割合が 63.0%と最も高く、次いで「非常食の準備」の割合が 39.1%、「家具の転倒防止」の割合が 37.4%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「非常食の準備」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、40歳代で「非常食の準備」「家具の転倒防止」の割合が、70歳以上で「医師から処方されている薬の予備などの確保」の割合が高くなっています。

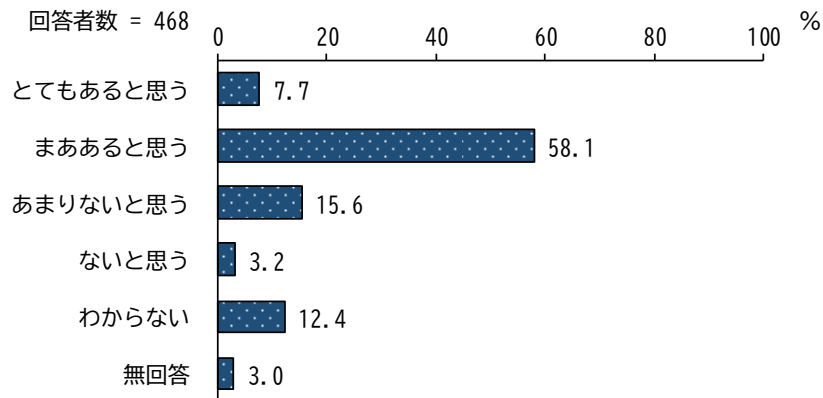
居住地区別にみると、他に比べ、相良地区で「災害時の避難方法や場所の確認」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数 (件)	災害時の避難方法 や場所の確認	家具の転倒防止	消火器や非常持出 袋などの準備	非常食の準備	近所への依頼(緊急 時の家族への連絡 など)	医師から処方され ている薬の予備な どの確保	その他	特に何もしていな い	無回答
全 体		468	63.0	37.4	36.3	39.1	5.6	13.5	0.6	14.3	3.2
性別	男性	208	61.1	35.1	37.5	38.0	6.7	8.7	1.4	16.8	4.3
	女性	247	65.2	39.7	36.0	40.9	4.5	17.4	—	11.7	2.0
	答えたくない	5	60.0	40.0	40.0	20.0	—	—	—	20.0	20.0
年代別	18～29歳	39	51.3	30.8	25.6	33.3	2.6	12.8	—	20.5	2.6
	30歳代	41	58.5	29.3	24.4	39.0	4.9	2.4	—	22.0	—
	40歳代	52	63.5	44.2	36.5	48.1	7.7	11.5	1.9	13.5	—
	50歳代	70	61.4	35.7	40.0	42.9	1.4	4.3	1.4	15.7	2.9
	60歳代	105	66.7	38.1	41.9	38.1	2.9	16.2	—	11.4	1.9
	70歳以上	118	68.6	43.2	39.8	36.4	11.9	21.2	—	9.3	6.8
居住地区別	相良地区	205	68.8	42.0	37.6	35.6	4.9	15.1	1.0	11.7	4.4
	榛原地区	145	63.4	34.5	37.2	41.4	6.2	11.7	0.7	15.2	2.1
	牧之原地区	111	52.3	34.2	34.2	43.2	6.3	12.6	—	17.1	2.7

問 45 お住まいの地域では、災害時に助け合ったり、支え合ったりする気運はあると思いますか。(〇は1つだけ)

「とてもあると思う」と「まああると思う」をあわせた“あると思う”の割合が65.8%と最も高く、次いで「あまりないと思う」と「ないと思う」をあわせた“ないと思う”の割合が18.8%となっています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳、40歳代で「わからない」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

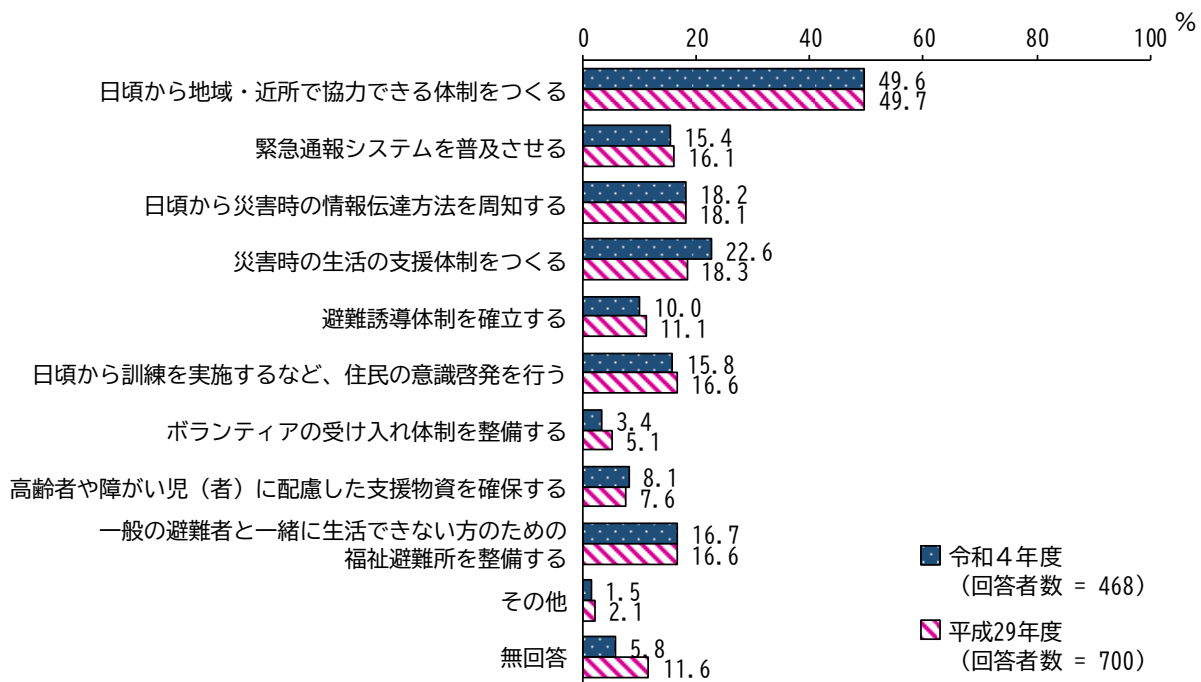
単位：%

区分	回答者数(件)	とてもあると思う	まああると思う	あまりないと思う	ないと思う	わからない	無回答	
全体	468	7.7	58.1	15.6	3.2	12.4	3.0	
性別	男性	208	10.6	53.4	16.8	2.4	13.5	3.4
	女性	247	5.7	61.1	15.4	4.0	10.9	2.8
	答えたくない	5	—	80.0	—	—	20.0	—
年代別	18～29歳	39	12.8	41.0	12.8	5.1	28.2	—
	30歳代	41	9.8	61.0	12.2	2.4	12.2	2.4
	40歳代	52	3.8	59.6	11.5	3.8	21.2	—
	50歳代	70	5.7	60.0	20.0	2.9	10.0	1.4
	60歳代	105	7.6	58.1	15.2	4.8	12.4	1.9
	70歳以上	118	8.5	61.0	16.9	1.7	5.1	6.8
居住地区別	相良地区	205	8.3	57.1	17.1	3.4	10.2	3.9
	榛原地区	145	5.5	58.6	19.3	1.4	13.1	2.1
	牧之原地区	111	9.9	59.5	8.1	5.4	14.4	2.7

問 46 地震や台風などの災害時に備えて、子ども・高齢者・障がい児（者）など、災害時に手助けを必要とする方に対する対策として、特にどのようなことに取り組むべきだと思いますか。（〇は2つまで）

「日頃から地域・近所で協力できる体制をつくる」の割合が 49.6%と最も高く、次いで「災害時の生活の支援体制をつくる」の割合が 22.6%、「日頃から災害時の情報伝達方法を周知する」の割合が 18.2%となっています。

平成 29 年度と比較すると、大きな変化はみられません。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、18～29歳で「緊急通報システムを普及させる」の割合が、60歳代で「災害時の生活の支援体制をつくる」の割合が、70歳以上で「日頃から地域・近所で協力できる体制をつくる」の割合が高くなっています。

居住地区別にみると、大きな差はみられません。

単位：％

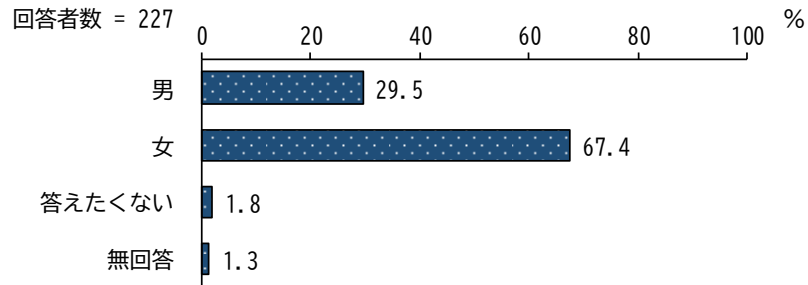
区分		回答者数(件)	日頃から地域・近所で協力できる体制をつくる	緊急通報システムを普及させる	日頃から災害時の情報伝達方法を周知する	災害時の生活の支援体制をつくる	避難誘導体制を確立する	日頃から訓練を実施するなど、住民の意識啓発を行う	ボランティアの受け入れ体制を整備する	高齢者や障がい児(者)に配慮した支援物資を確保する	一般の避難者と一緒に生活できない方のための福祉避難所を整備する	その他	無回答
全体		468	49.6	15.4	18.2	22.6	10.0	15.8	3.4	8.1	16.7	1.5	5.8
性別	男性	208	48.1	15.9	17.8	23.6	10.1	16.3	3.4	9.1	12.5	1.9	5.8
	女性	247	53.0	14.6	17.4	22.3	10.1	15.8	3.2	7.7	20.2	1.2	4.9
	答えたくない	5	—	40.0	40.0	20.0	—	—	—	—	20.0	—	20.0
年代別	18～29歳	39	33.3	25.6	12.8	23.1	7.7	23.1	—	15.4	7.7	5.1	2.6
	30歳代	41	48.8	19.5	24.4	26.8	14.6	9.8	2.4	4.9	17.1	2.4	2.4
	40歳代	52	42.3	11.5	23.1	13.5	9.6	11.5	5.8	9.6	23.1	1.9	9.6
	50歳代	70	50.0	12.9	18.6	24.3	10.0	17.1	—	11.4	17.1	1.4	2.9
	60歳代	105	52.4	18.1	19.0	33.3	7.6	11.4	4.8	5.7	12.4	1.0	4.8
	70歳以上	118	59.3	8.5	14.4	14.4	10.2	21.2	4.2	7.6	17.8	0.8	8.5
居住地区別	相良地区	205	49.8	14.1	16.6	23.9	10.7	18.5	3.4	9.3	17.6	1.0	5.9
	榛原地区	145	50.3	15.2	22.8	22.8	9.7	16.6	2.1	5.5	12.4	1.4	6.9
	牧之原地区	111	50.5	17.1	14.4	20.7	9.0	10.8	4.5	9.9	19.8	2.7	3.6

2 福祉活動に携わる方

(1) 回答者属性

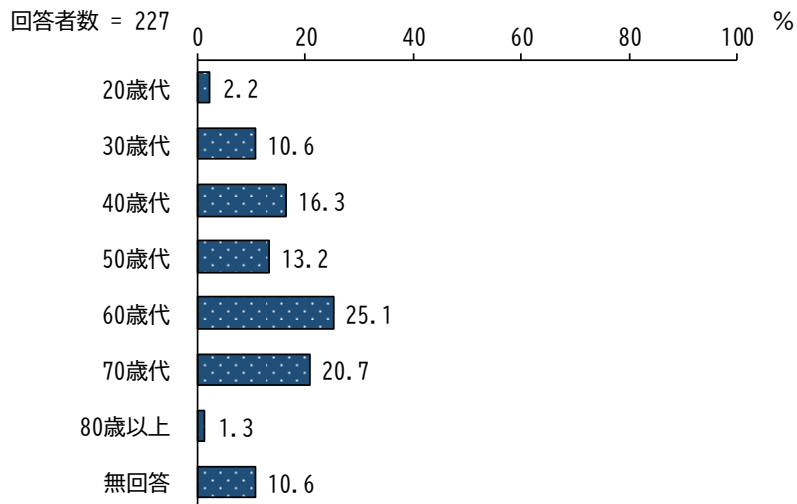
性別

「男性」の割合が 29.5%、「女性」の割合が 67.4%、「答えたくない」の割合が 1.8%となっています。



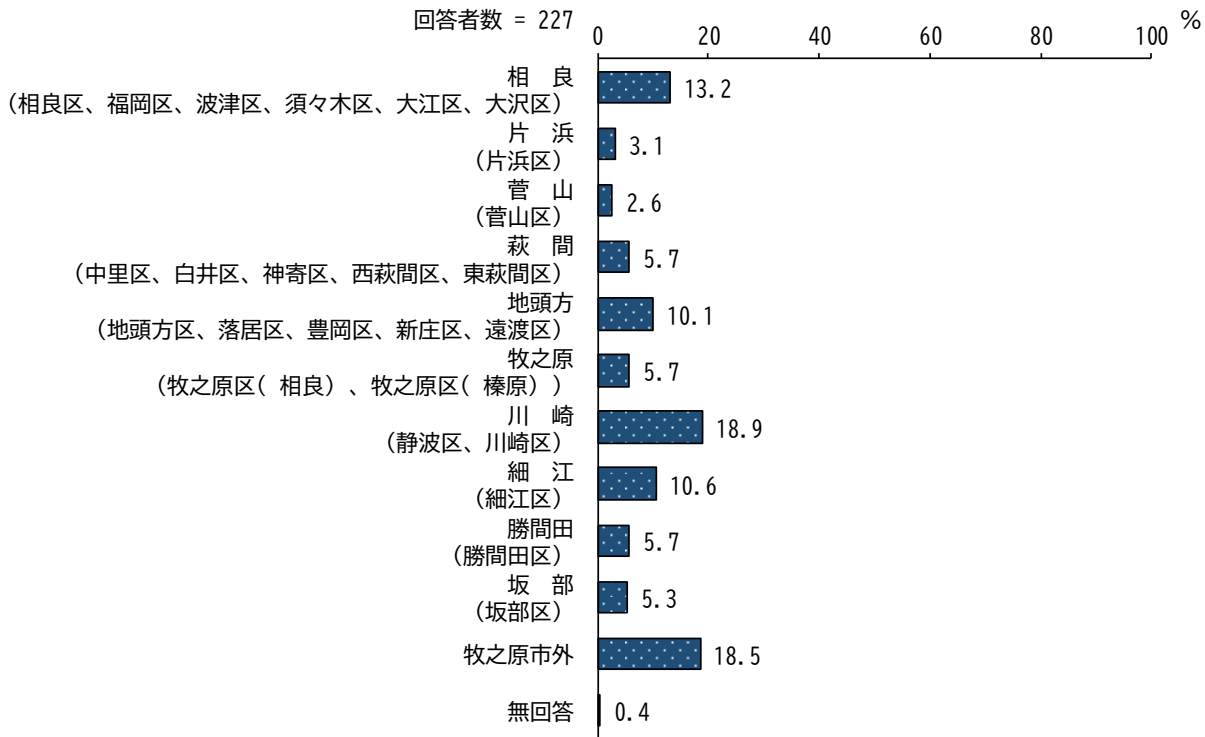
年齢

「60 歳代」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「70 歳代」の割合が 20.7%、「40 歳代」の割合が 16.3%となっています。

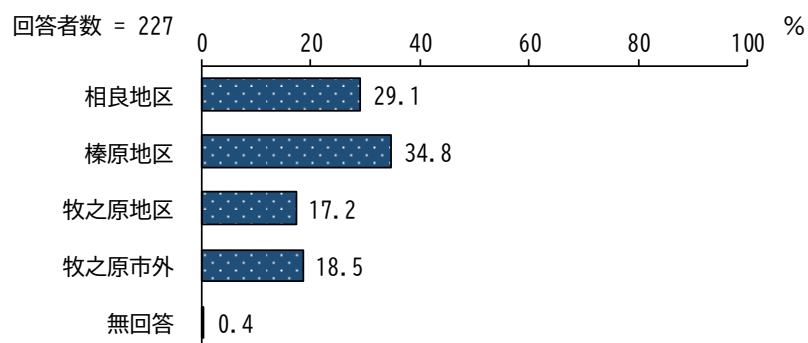


居住地区

「川崎(静波区、川崎区)」の割合が18.9%と最も高く、次いで「牧之原市外」の割合が18.5%、「相良(相良区、福岡区、波津区、須々木区、大江区、大沢区)」の割合が13.2%となっています。

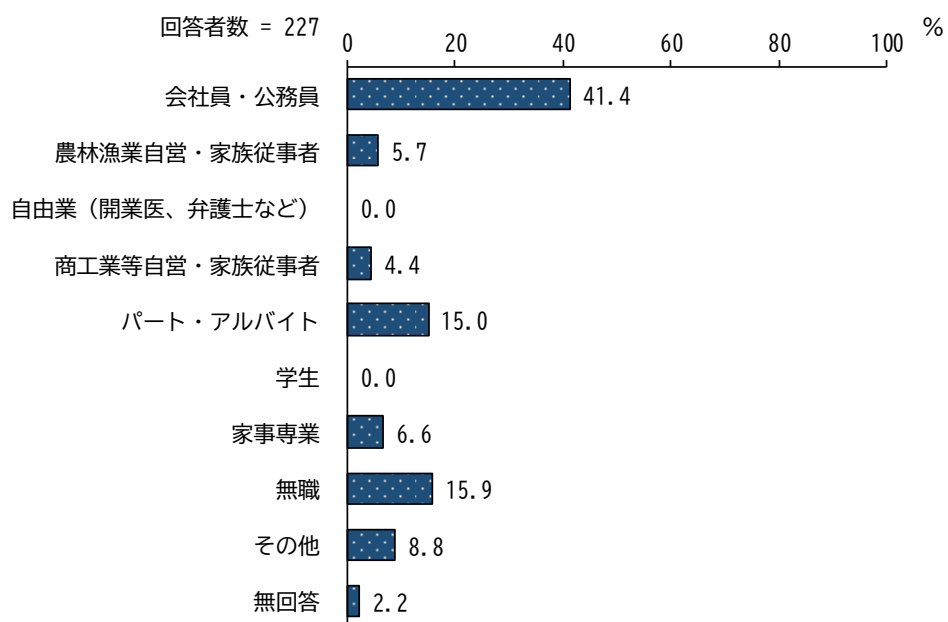


「榛原地区」の割合が34.8%と最も高く、次いで「相良地区」の割合が29.1%、「牧之原市外」の割合が18.5%となっています。



職業

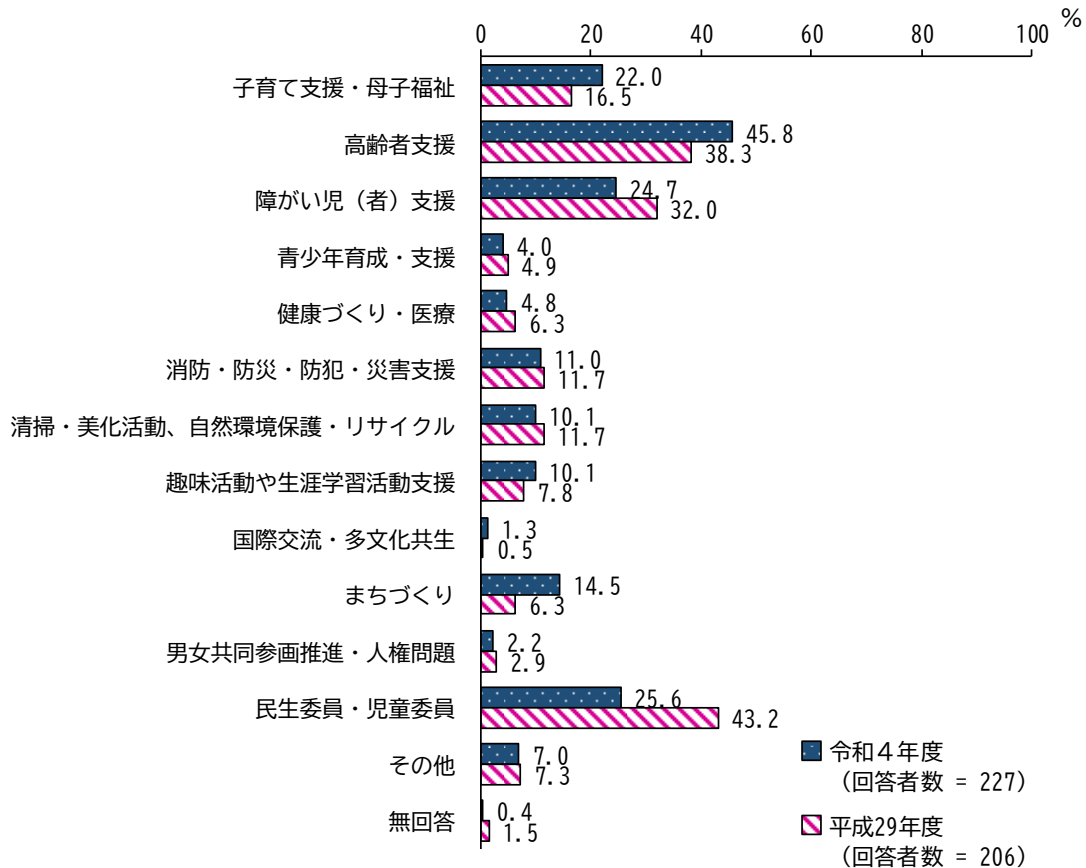
「会社員・公務員」の割合が41.4%と最も高く、次いで「無職」の割合が15.9%、「パート・アルバイト」の割合が15.0%となっています。



問1 活動している分野について、あてはまるものは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「高齢者支援」の割合が45.8%と最も高く、次いで「民生委員・児童委員」の割合が25.6%、「障がい児（者）支援」の割合が24.7%となっています。

平成29年度と比較すると、「子育て支援・母子福祉」「高齢者支援」「まちづくり」の割合が増加しています。一方、「障がい児（者）支援」「民生委員・児童委員」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「民生委員・児童委員」「障がい児（者）支援」「消防・防災・防犯・災害支援」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「まちづくり」の割合が、40歳代で「障がい児（者）支援」の割合が、70歳代で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

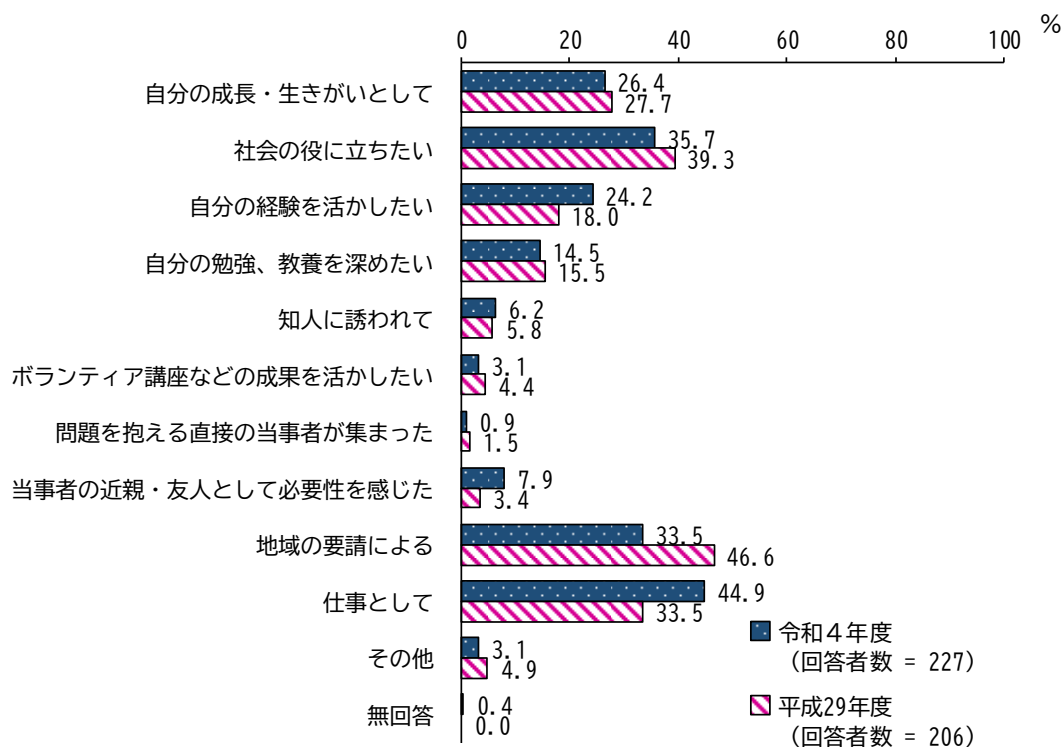
単位：％

区分	回答者数（件）	子育て支援・母子福祉	高齢者支援	障がい児（者）支援	青少年育成・支援	健康づくり・医療	消防・防災・防犯・災害支援	清掃・美化活動、自然環境保護・リサイクル	趣味活動や生涯学習活動支援	国際交流・多文化共生	まちづくり	男女共同参画推進・人権問題	民生委員・児童委員	その他	無回答	
全 体	227	22.0	45.8	24.7	4.0	4.8	11.0	10.1	10.1	1.3	14.5	2.2	25.6	7.0	0.4	
性別	男性	67	17.9	50.7	34.3	7.5	9.0	16.4	11.9	13.4	1.5	6.0	6.0	38.8	6.0	—
	女性	153	24.2	43.1	20.9	2.6	3.3	9.2	9.8	9.2	1.3	18.3	0.7	20.3	7.8	0.7
	答えたくない	4	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
年代別	20歳代	5	—	80.0	20.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	30歳代	24	37.5	37.5	25.0	—	4.2	4.2	4.2	4.2	—	41.7	—	—	4.2	—
	40歳代	37	32.4	43.2	40.5	5.4	5.4	2.7	2.7	2.7	—	21.6	2.7	—	5.4	—
	50歳代	30	26.7	46.7	26.7	—	3.3	13.3	3.3	3.3	—	10.0	3.3	3.3	3.3	—
	60歳代	57	15.8	43.9	15.8	7.0	1.8	12.3	15.8	10.5	—	8.8	1.8	40.4	14.0	1.8
	70歳代	47	8.5	44.7	14.9	4.3	—	10.6	12.8	19.1	2.1	8.5	—	61.7	6.4	—
	80歳以上	3	—	100.0	—	—	33.3	66.7	33.3	66.7	33.3	—	—	—	—	—

問2 どのような理由から活動に携わっていますか。(あてはまるものすべてに○)

「仕事として」の割合が44.9%と最も高く、次いで「社会の役に立ちたい」の割合が35.7%、「地域の要請による」の割合が33.5%となっています。

平成29年度と比較すると、「自分の経験を活かしたい」「仕事として」の割合が増加しています。一方、「地域の要請による」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「地域の要請による」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代、50歳代で「仕事として」の割合が、70歳代で「地域の要請による」の割合が高くなっています。

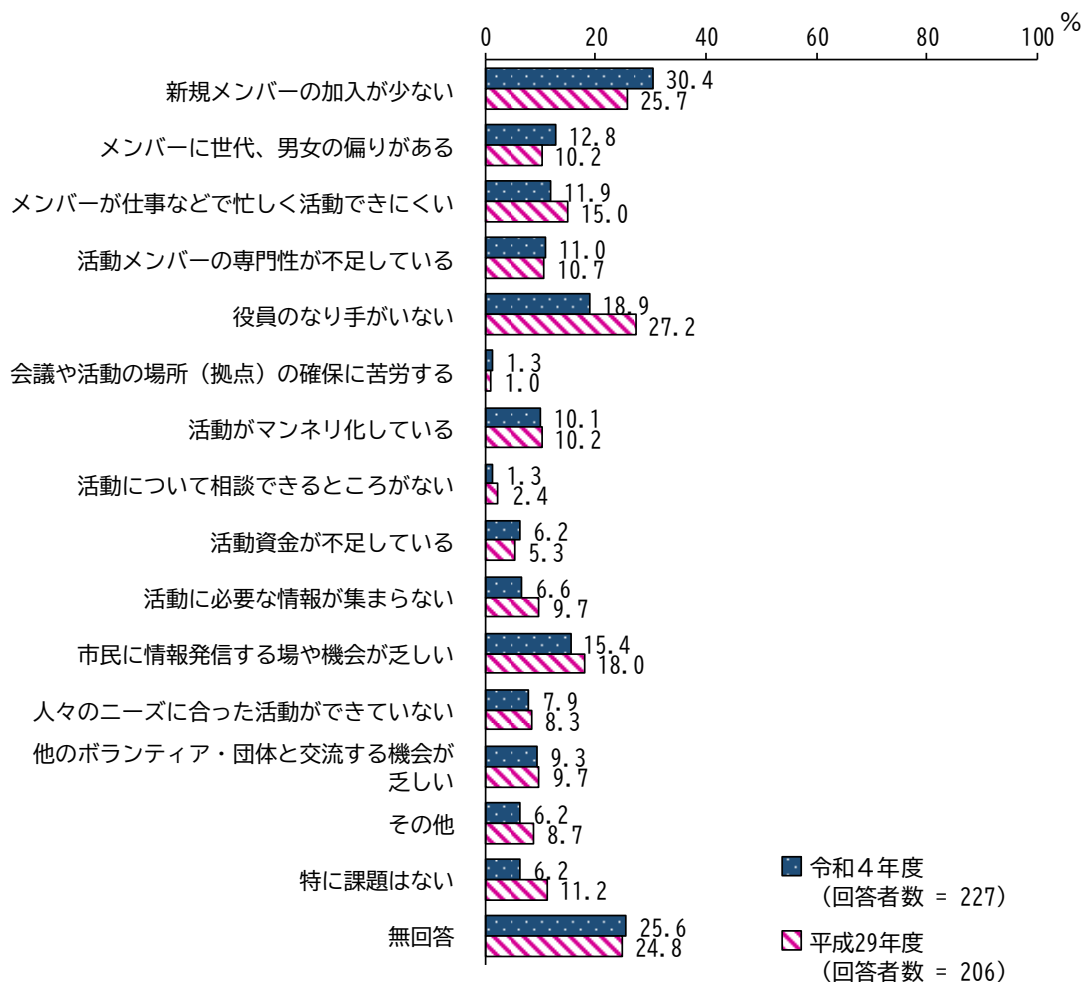
単位：％

区分		回答者数(件)	自分の成長・生きがいとして	社会の役に立ちたい	自分の経験を活かしたい	自分の勉強、教養を深めたい	知人に誘われて	ボランティア講座などの成果を活かしたい	問題を抱える直接の当事者が集まった	当事者の近親・友人として必要性を感じた	地域の要請による	仕事として	その他	無回答
全体		227	26.4	35.7	24.2	14.5	6.2	3.1	0.9	7.9	33.5	44.9	3.1	0.4
性別	男性	67	19.4	40.3	23.9	11.9	1.5	3.0	1.5	9.0	41.8	40.3	—	—
	女性	153	30.7	34.0	24.8	16.3	8.5	3.3	0.7	7.8	30.1	47.1	4.6	0.7
	答えたくない	4	—	25.0	25.0	—	—	—	—	—	—	50.0	—	—
年代別	20歳代	5	20.0	40.0	—	20.0	—	—	—	—	—	80.0	—	—
	30歳代	24	37.5	16.7	16.7	29.2	33.3	—	4.2	12.5	8.3	66.7	4.2	—
	40歳代	37	16.2	18.9	18.9	13.5	5.4	—	—	8.1	—	75.7	5.4	—
	50歳代	30	16.7	13.3	20.0	—	—	3.3	—	3.3	13.3	73.3	—	—
	60歳代	57	17.5	47.4	28.1	17.5	1.8	—	—	3.5	52.6	24.6	5.3	1.8
	70歳代	47	38.3	51.1	36.2	12.8	6.4	8.5	2.1	8.5	63.8	4.3	2.1	—
	80歳以上	3	66.7	66.7	66.7	33.3	—	—	—	33.3	66.7	66.7	—	—

(2) 地域での福祉活動について

問3 現在の活動上の課題としてどのようなことがありますか。(特にあてはまるもの3つに○)

「新規メンバーの加入が少ない」の割合が30.4%と最も高く、次いで「役員のなり手がいない」の割合が18.9%、「市民に情報発信する場や機会が乏しい」の割合が15.4%となっています。平成29年度と比較すると、「役員のなり手がいない」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「役員のなり手がいない」「市民に情報発信する場や機会が乏しい」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代で「新規メンバーの加入が少ない」の割合が、60歳代で「役員のなり手がいない」の割合が、70歳代で「活動がマンネリ化している」「役員のなり手がいない」の割合が高くなっています。

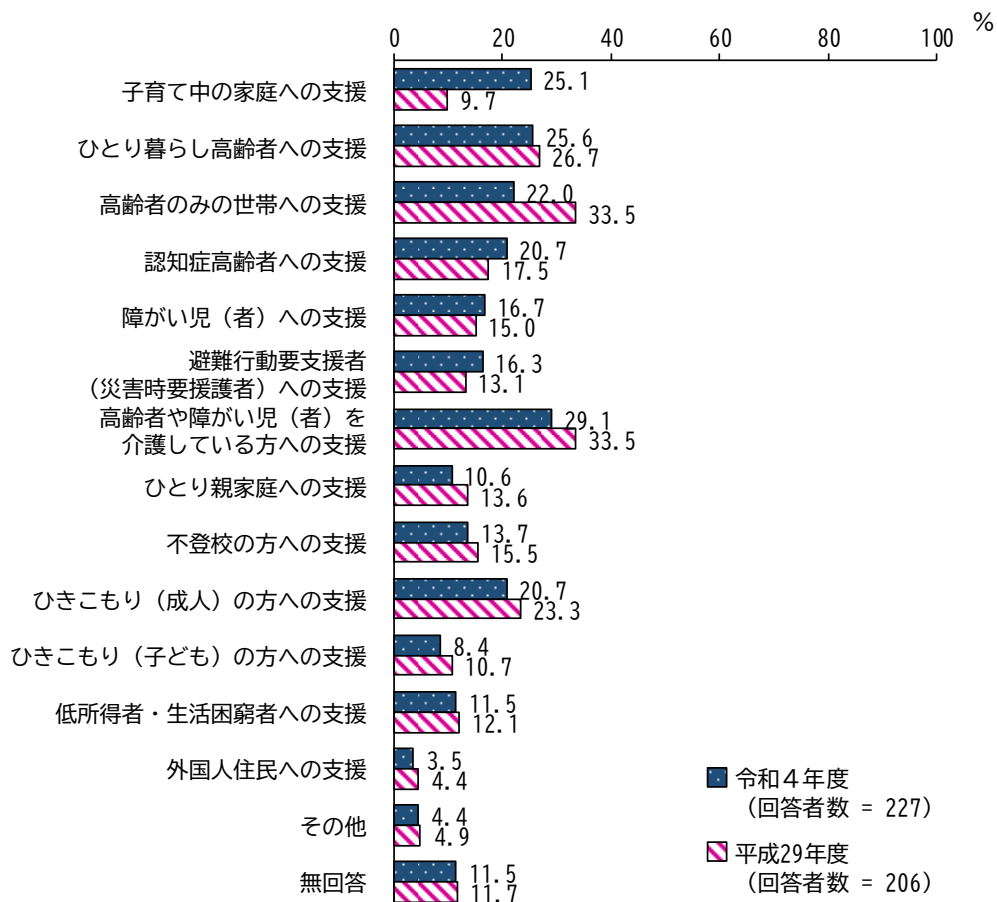
単位：%

区分		回答者数(件)	新規メンバーの加入が少ない	メンバーに世代、男女の偏りがある	メンバーが仕事などで忙しく活動できにくい	活動メンバーの専門性が不足している	役員のなり手がいない	会議や活動の場所(拠点)の確保に苦労する	活動がマンネリ化している	活動について相談できるところがない	活動資金が不足している	活動に必要な情報が集まらない	市民に情報発信する場や機会が乏しい	人々のニーズに合った活動ができていない	他のボランティア・団体と交流する機会が乏しい	その他	特に課題はない	無回答	
全体		227	30.4	12.8	11.9	11.0	18.9	1.3	10.1	1.3	6.2	6.6	15.4	7.9	9.3	6.2	6.2	25.6	
性別	男性	67	34.3	14.9	10.4	14.9	26.9	3.0	11.9	3.0	7.5	7.5	20.9	9.0	17.9	3.0	7.5	16.4	
	女性	153	29.4	12.4	12.4	9.2	15.7	0.7	8.5	—	5.9	6.5	13.1	7.2	5.9	7.8	5.9	28.8	
	答えたくない	4	25.0	—	—	—	—	—	25.0	25.0	—	—	25.0	25.0	—	—	—	—	50.0
年代別	20歳代	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0
	30歳代	24	33.3	12.5	—	8.3	4.2	4.2	4.2	—	8.3	4.2	16.7	8.3	—	—	16.7	16.7	
	40歳代	37	37.8	13.5	10.8	10.8	8.1	—	2.7	2.7	13.5	2.7	13.5	10.8	2.7	2.7	—	40.5	
	50歳代	30	23.3	6.7	13.3	10.0	10.0	—	3.3	—	—	—	13.3	13.3	6.7	6.7	3.3	40.0	
	60歳代	57	28.1	17.5	17.5	10.5	29.8	1.8	12.3	1.8	5.3	8.8	15.8	8.8	12.3	8.8	1.8	21.1	
	70歳代	47	36.2	10.6	8.5	17.0	29.8	2.1	21.3	—	8.5	10.6	17.0	2.1	19.1	8.5	10.6	8.5	
	80歳以上	3	33.3	33.3	33.3	33.3	33.3	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3	33.3	—	—	

問4 行政サービスや活動において支援が不足していると思うものは何ですか。(特にあてはまるもの3つに○)

「高齢者や障がい児(者)を介護している方への支援」の割合が29.1%と最も高く、次いで「ひとり暮らし高齢者への支援」の割合が25.6%、「子育て中の家庭への支援」の割合が25.1%となっています。

平成29年度と比較すると、「子育て中の家庭への支援」の割合が増加しています。一方、「高齢者のみの世帯への支援」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「ひとり親家庭への支援」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代、60歳代で「子育て中の家庭への支援」の割合が、40歳代で「不登校の方への支援」の割合が高くなっています。

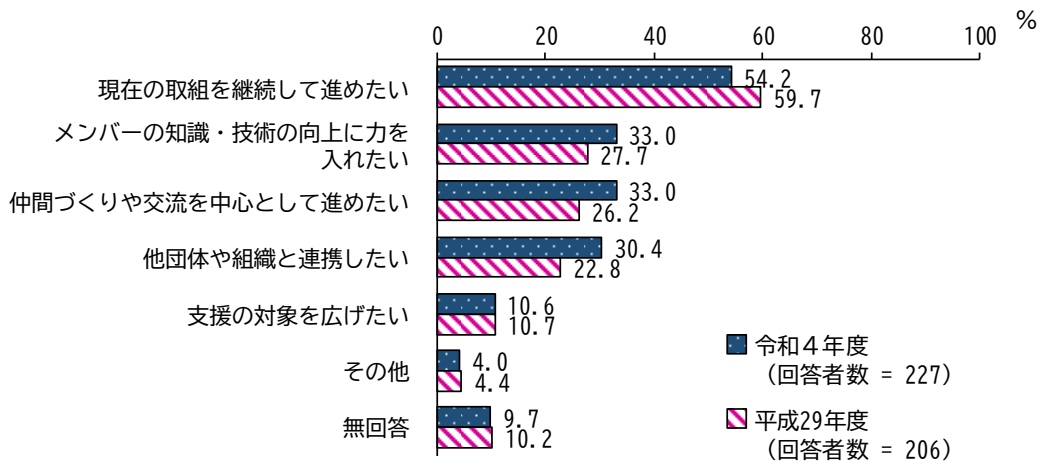
単位：%

区分		回答者数(件)	子育て中の家庭への支援	ひとり暮らし高齢者への支援	高齢者のみの世帯への支援	認知症高齢者への支援	障がい児(者)への支援	避難行動要支援者(災害時要援護者)への支援	高齢者や障がい児(者)を介護している方への支援	ひとり親家庭への支援	不登校の方への支援	ひきこもり(成人)の方への支援	ひきこもり(子ども)の方への支援	低所得者・生活困窮者への支援	外国人住民への支援	その他	無回答
全体		227	25.1	25.6	22.0	20.7	16.7	16.3	29.1	10.6	13.7	20.7	8.4	11.5	3.5	4.4	11.5
性別	男性	67	28.4	22.4	22.4	22.4	16.4	19.4	32.8	20.9	10.4	17.9	4.5	13.4	7.5	1.5	7.5
	女性	153	24.8	27.5	21.6	20.9	17.6	15.0	28.8	6.5	14.4	20.3	9.2	11.1	2.0	4.6	13.1
	答えたくない	4	—	25.0	50.0	—	—	25.0	—	—	50.0	100.0	50.0	—	—	—	—
年代別	20歳代	5	40.0	60.0	20.0	60.0	—	—	—	20.0	—	—	—	—	—	20.0	20.0
	30歳代	24	45.8	25.0	12.5	20.8	16.7	12.5	20.8	12.5	4.2	25.0	12.5	—	4.2	8.3	4.2
	40歳代	37	27.0	18.9	18.9	10.8	21.6	16.2	24.3	5.4	29.7	24.3	16.2	8.1	5.4	8.1	10.8
	50歳代	30	10.0	23.3	13.3	26.7	23.3	10.0	16.7	6.7	16.7	26.7	10.0	6.7	3.3	—	20.0
	60歳代	57	40.4	29.8	22.8	14.0	21.1	12.3	40.4	17.5	8.8	12.3	5.3	15.8	3.5	3.5	10.5
	70歳代	47	8.5	17.0	25.5	25.5	6.4	23.4	36.2	10.6	6.4	27.7	4.3	19.1	2.1	2.1	12.8
	80歳以上	3	—	66.7	33.3	33.3	33.3	—	66.7	—	—	—	—	66.7	—	—	—

問5 今後の活動はどのように進めていきたいと考えていますか。(あてはまるものすべてに○)

「現在の取組を継続して進めたい」の割合が54.2%と最も高く、次いで「メンバーの知識・技術の向上に力を入れたい」、「仲間づくりや交流を中心として進めたい」の割合が33.0%となっています。

平成29年度と比較すると、「メンバーの知識・技術の向上に力を入れたい」「仲間づくりや交流を中心として進めたい」「他団体や組織と連携したい」の割合が増加しています。一方、「現在の取組を継続して進めたい」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、女性に比べ、男性で「他団体や組織と連携したい」「メンバーの知識・技術の向上に力を入れたい」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「現在の取組を継続して進めたい」の割合が、60歳代で「メンバーの知識・技術の向上に力を入れたい」の割合が、70歳代で「仲間づくりや交流を中心として進めたい」の割合が高くなっています。

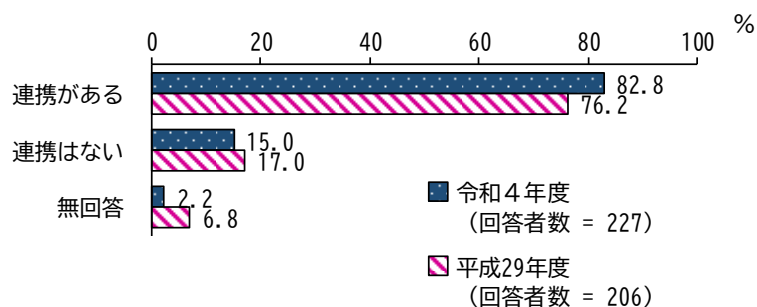
単位：％

区分		回答者数 (件)	現在の取組を継続して 進めたい	メンバーの知識・技術 の向上に力を入れたい	仲間づくりや交流を中 心として進めたい	他団体や組織と連携し たい	支援の対象を広げたい	その他	無回答
全 体		227	54.2	33.0	33.0	30.4	10.6	4.0	9.7
性別	男性	67	53.7	38.8	37.3	44.8	14.9	3.0	4.5
	女性	153	56.9	31.4	32.0	23.5	8.5	4.6	11.8
	答えたくない	4	—	—	25.0	75.0	—	—	—
年代別	20歳代	5	100.0	40.0	—	—	—	—	—
	30歳代	24	66.7	33.3	37.5	25.0	4.2	4.2	4.2
	40歳代	37	59.5	37.8	21.6	35.1	8.1	2.7	8.1
	50歳代	30	43.3	23.3	16.7	30.0	6.7	10.0	20.0
	60歳代	57	50.9	42.1	40.4	28.1	15.8	5.3	10.5
	70歳代	47	53.2	25.5	44.7	36.2	12.8	—	6.4
	80歳以上	3	66.7	66.7	—	66.7	33.3	—	33.3

(3) 他団体等との連携状況について

問6 地域における活動の中で、他の組織・団体との連携はありますか。(○は1つだけ)

「連携がある」の割合が82.8%、「連携はない」の割合が15.0%となっています。平成29年度と比較すると、「連携がある」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代、70歳代で「連携はない」の割合が、40歳代で「連携がある」の割合が高くなっています。

単位：%

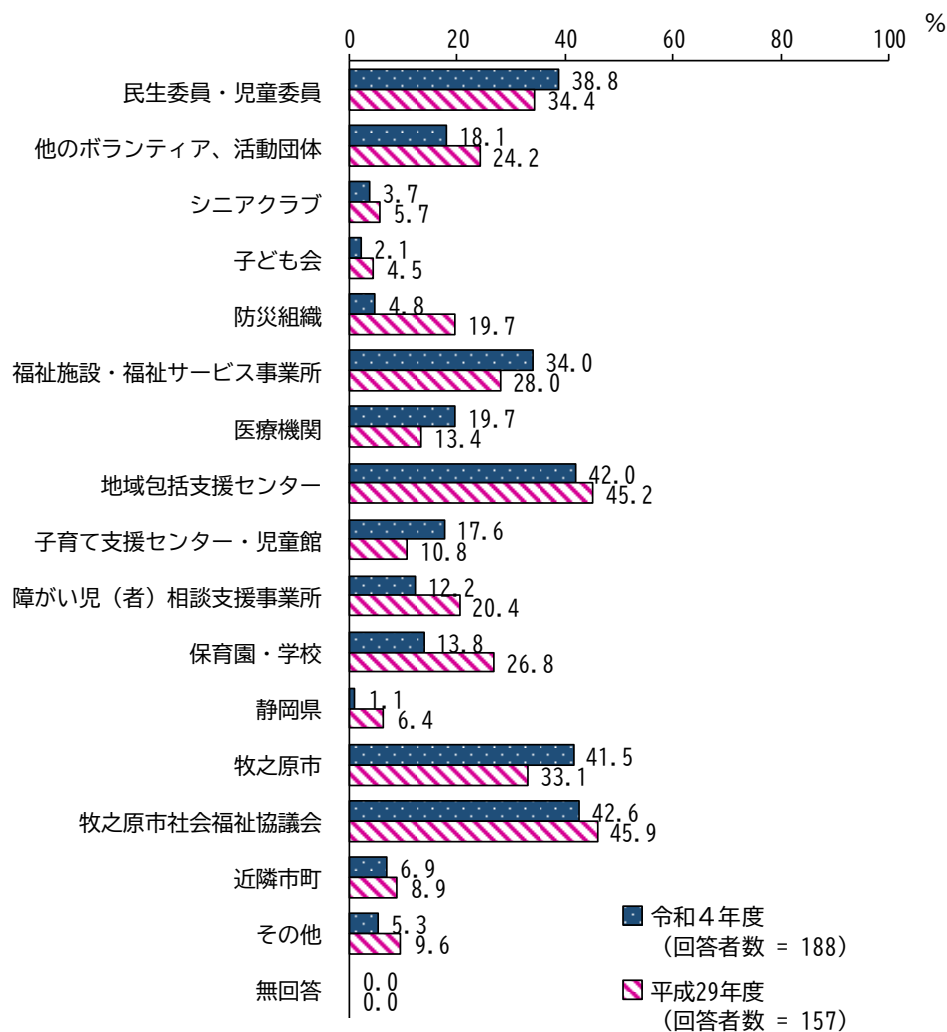
区分		回答者数(件)	連携がある	連携はない	無回答
全体		227	82.8	15.0	2.2
性別	男性	67	80.6	17.9	1.5
	女性	153	83.0	14.4	2.6
	答えたくない	4	100.0	—	—
年代別	20歳代	5	100.0	—	—
	30歳代	24	79.2	20.8	—
	40歳代	37	97.3	—	2.7
	50歳代	30	86.7	10.0	3.3
	60歳代	57	78.9	19.3	1.8
	70歳代	47	76.6	21.3	2.1
	80歳以上	3	33.3	66.7	—

【問6で「連携がある」と回答した方への質問】

問6-1 連携がある組織・団体は次のうちどれですか。(特にあてはまるもの3つに○)

「牧之原市社会福祉協議会」の割合が42.6%と最も高く、次いで「地域包括支援センター」の割合が42.0%、「牧之原市」の割合が41.5%となっています。

平成29年度と比較すると、「福祉施設・福祉サービス事業所」「医療機関」「子育て支援センター・児童館」「牧之原市」の割合が増加しています。一方、「他のボランティア、活動団体」「防災組織」「障がい児（者）相談支援事業所」「保育園・学校」「静岡県」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、女性で「子育て支援センター・児童館」の割合が、男性で「民生委員・児童委員」「牧之原市社会福祉協議会」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、50歳代で「医療機関」「牧之原市」の割合が、70歳代で「民生委員・児童委員」の割合が高くなっています。

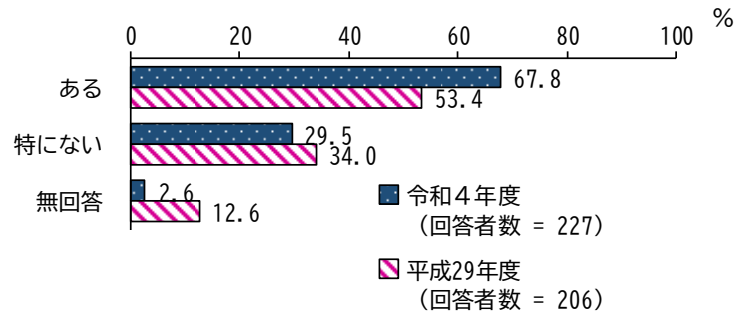
単位：%

区分		回答者数 (件)	民生委員・児童委員	他のボランティア、 活動団体	シニアクラブ	子ども会	防災組織	福祉施設・福祉サ ービス事業所	医療機関	タ ー 域 包 括 支 援 セ ン
全 体		188	38.8	18.1	3.7	2.1	4.8	34.0	19.7	42.0
性別	男性	54	44.4	18.5	3.7	1.9	13.0	37.0	16.7	38.9
	女性	127	37.8	18.9	3.9	2.4	1.6	32.3	18.9	41.7
	答えたくない	4	—	—	—	—	—	50.0	75.0	75.0
年代別	20歳代	5	40.0	—	—	—	20.0	100.0	20.0	20.0
	30歳代	19	21.1	15.8	—	5.3	—	36.8	15.8	15.8
	40歳代	36	22.2	22.2	—	2.8	—	44.4	22.2	30.6
	50歳代	26	50.0	15.4	3.8	—	—	50.0	50.0	50.0
	60歳代	45	28.9	17.8	6.7	2.2	4.4	22.2	13.3	51.1
	70歳代	36	61.1	16.7	5.6	2.8	11.1	19.4	—	50.0
	80歳以上	1	—	100.0	100.0	—	100.0	—	—	—

区分		子育て支援センター・児童館	障がい児(者) 相談支援事業所	保育園・学校	静岡県	牧之原市	牧之原市社会福祉協議会	近隣市町	その他	無回答
全 体		17.6	12.2	13.8	1.1	41.5	42.6	6.9	5.3	—
性別	男性	3.7	11.1	7.4	—	35.2	48.1	11.1	3.7	—
	女性	24.4	13.4	16.5	1.6	44.9	40.9	4.7	6.3	—
	答えたくない	—	—	—	—	50.0	25.0	25.0	—	—
年代別	20歳代	—	20.0	—	—	20.0	80.0	—	—	—
	30歳代	36.8	26.3	5.3	—	52.6	31.6	5.3	5.3	—
	40歳代	25.0	11.1	22.2	—	44.4	27.8	11.1	5.6	—
	50歳代	15.4	15.4	23.1	3.8	65.4	30.8	3.8	—	—
	60歳代	13.3	6.7	11.1	—	26.7	55.6	4.4	6.7	—
	70歳代	11.1	8.3	2.8	—	27.8	55.6	5.6	11.1	—
	80歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—

問8 今後、地域における活動の中で連携をとりたい組織・団体はありますか。(〇は1つだけ)

「ある」の割合が67.8%、「特にない」の割合が29.5%となっています。
平成29年度と比較すると、「ある」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「ある」の割合が高くなっています。
年代別にみると、他に比べ、30歳代、40歳代で「ある」の割合が高くなっています。

単位：%

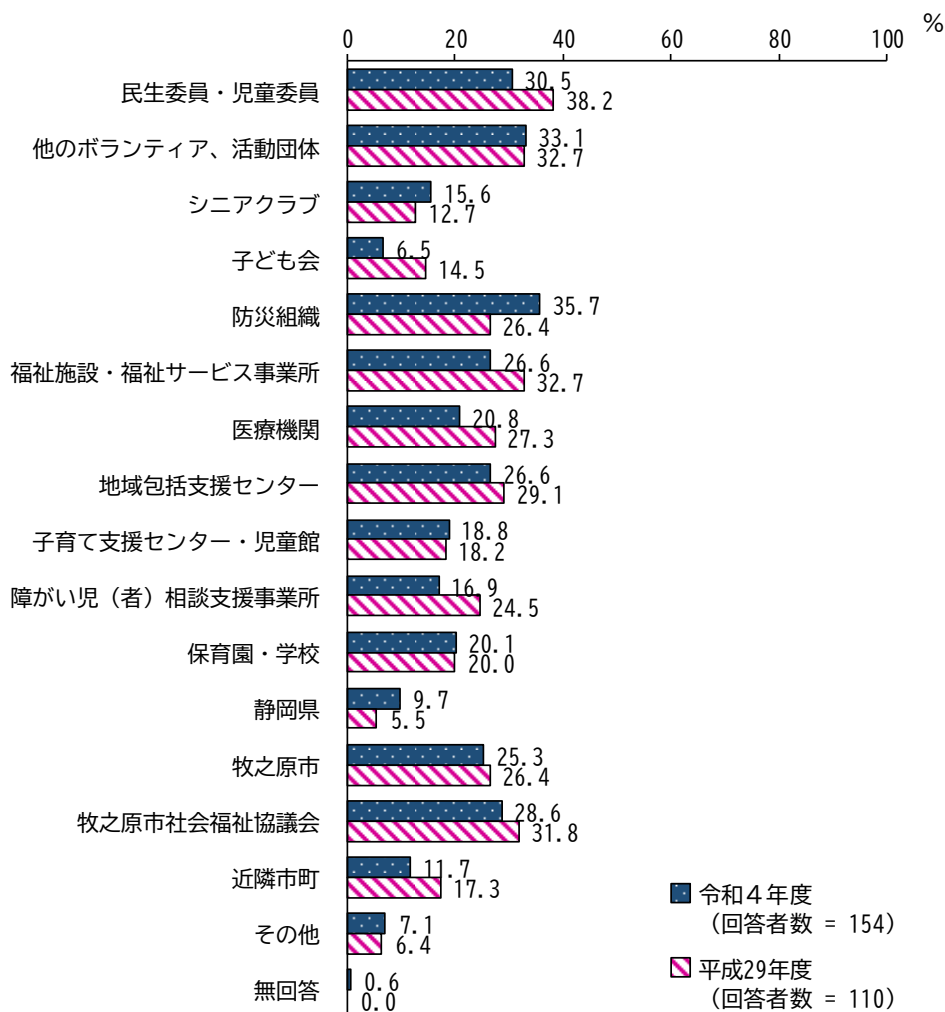
区分		回答者数 (件)	ある	特にない	無回答
全 体		227	67.8	29.5	2.6
性別	男性	67	74.6	23.9	1.5
	女性	153	65.4	31.4	3.3
	答えたくない	4	75.0	25.0	—
年代別	20歳代	5	60.0	40.0	—
	30歳代	24	75.0	25.0	—
	40歳代	37	86.5	13.5	—
	50歳代	30	66.7	33.3	—
	60歳代	57	56.1	36.8	7.0
	70歳代	47	68.1	31.9	—
	80歳以上	3	33.3	33.3	33.3

【問8で「ある」と回答した方への質問】

問8- 1 これから連携していきたい組織・団体は次のうちどれですか。(あてはまるものすべてに○)

「防災組織」の割合が 35.7%と最も高く、次いで「他のボランティア、活動団体」の割合が 33.1%、「民生委員・児童委員」の割合が 30.5%となっています。

平成 29 年度と比較すると、「防災組織」の割合が増加しています。一方、「民生委員・児童委員」「子ども会」「福祉施設・福祉サービス事業所」「医療機関」「障がい児（者）相談支援事業所」「近隣市町」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、大きな差はみられません。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「保育園・学校」「子育て支援センター・児童館」「医療機関」の割合が高くなっています。

単位：%

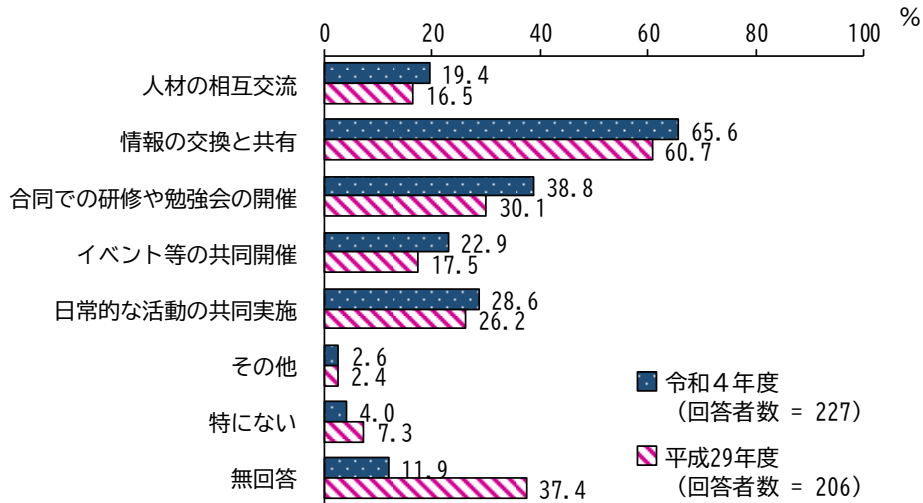
区分	回答者数(件)	民生委員・児童委員	他のボランティア、活動団体	シニアクラブ	子ども会	防災組織	福祉施設・福祉サービス事業所	医療機関	地域包括支援センター
全体	154	30.5	33.1	15.6	6.5	35.7	26.6	20.8	26.6
性別	男性	50	32.0	32.0	20.0	8.0	38.0	28.0	30.0
	女性	100	30.0	33.0	13.0	6.0	34.0	26.0	25.0
	答えたくない	3	33.3	66.7	33.3	—	66.7	33.3	33.3
年代別	20歳代	3	—	66.7	—	—	33.3	33.3	33.3
	30歳代	18	38.9	22.2	16.7	11.1	27.8	44.4	44.4
	40歳代	32	34.4	40.6	18.8	6.3	40.6	28.1	18.8
	50歳代	20	25.0	35.0	10.0	5.0	50.0	20.0	15.0
	60歳代	32	28.1	34.4	15.6	6.3	31.3	15.6	31.3
	70歳代	32	31.3	25.0	21.9	9.4	31.3	31.3	31.3
	80歳以上	1	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—

区分	子育て支援センター・児童館	障がい児(者)相談支援事業所	保育園・学校	静岡県	牧之原市	協議会 牧之原市社会福祉協議会	近隣市町	その他	無回答
全体	18.8	16.9	20.1	9.7	25.3	28.6	11.7	7.1	0.6
性別	男性	20.0	16.0	16.0	16.0	28.0	14.0	8.0	—
	女性	19.0	16.0	22.0	7.0	24.0	11.0	7.0	1.0
	答えたくない	—	66.7	—	—	33.3	33.3	—	—
年代別	20歳代	—	66.7	—	33.3	33.3	33.3	—	—
	30歳代	38.9	16.7	44.4	5.6	33.3	27.8	22.2	5.6
	40歳代	21.9	28.1	18.8	18.8	25.0	31.3	15.6	12.5
	50歳代	5.0	15.0	15.0	10.0	20.0	15.0	—	5.0
	60歳代	15.6	6.3	18.8	6.3	25.0	34.4	9.4	6.3
	70歳代	12.5	18.8	15.6	6.3	21.9	34.4	12.5	9.4
	80歳以上	—	—	—	—	100.0	100.0	—	—

問9 他の組織・団体と連携する場合、どのような内容を希望しますか。(あてはまるものすべてに○)

「情報の交換と共有」の割合が65.6%と最も高く、次いで「合同での研修や勉強会の開催」の割合が38.8%、「日常的な活動の共同実施」の割合が28.6%となっています。

平成29年度と比較すると、「合同での研修や勉強会の開催」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「イベント等の共同開催」「人材の相互交流」「合同での研修や勉強会の開催」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「情報の交換と共有」の割合が、40歳代で「イベント等の共同開催」「日常的な活動の共同実施」の割合が高くなっています。

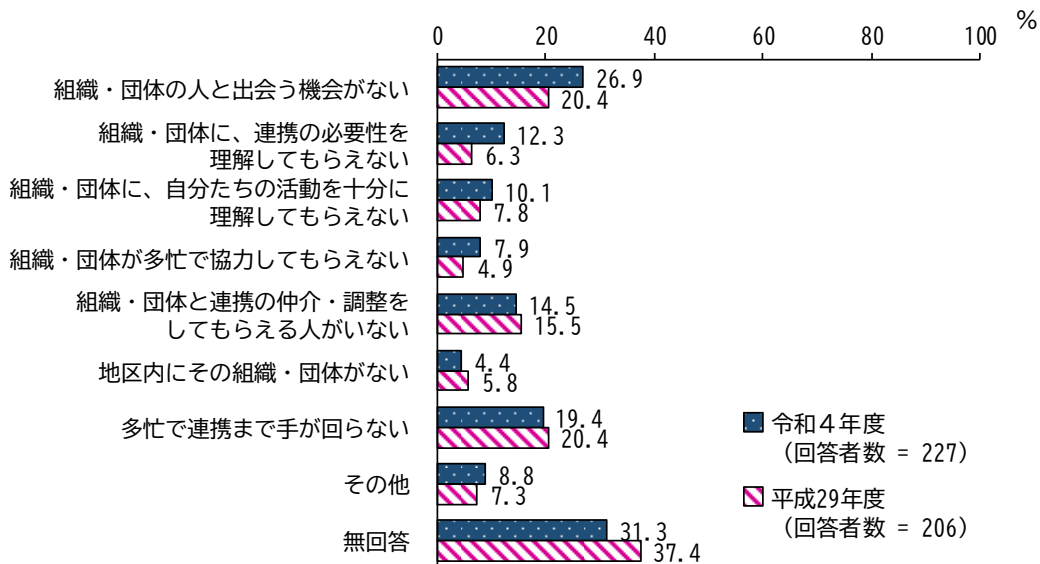
単位：%

区分	回答者数(件)	人材の相互交流	情報の交換と共有	合同での研修や勉強会の開催	イベント等の共同開催	日常的な活動の共同実施	その他	特にない	無回答	
全体	227	19.4	65.6	38.8	22.9	28.6	2.6	4.0	11.9	
性別	男性	67	25.4	65.7	44.8	29.9	31.3	4.5	1.5	9.0
	女性	153	17.0	66.7	35.3	20.9	27.5	2.0	4.6	12.4
	答えたくない	4	25.0	75.0	75.0	—	50.0	—	—	25.0
年代別	20歳代	5	20.0	80.0	—	20.0	—	—	20.0	—
	30歳代	24	12.5	83.3	41.7	29.2	37.5	—	4.2	4.2
	40歳代	37	24.3	73.0	48.6	35.1	40.5	5.4	2.7	—
	50歳代	30	10.0	70.0	43.3	10.0	26.7	—	—	13.3
	60歳代	57	21.1	56.1	40.4	21.1	21.1	5.3	1.8	19.3
	70歳代	47	27.7	57.4	29.8	25.5	27.7	—	6.4	17.0
	80歳以上	3	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	—	—	33.3

問10 他の組織・団体と連携しようとする上で困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「組織・団体の人と出会う機会がない」の割合が26.9%と最も高く、次いで「多忙で連携まで手が回らない」の割合が19.4%、「組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえない人がない」の割合が14.5%となっています。

平成29年度と比較すると、「組織・団体の人と出会う機会がない」「組織・団体に、連携の必要性を理解してもらえない」「組織・団体に、自分たちの活動を十分に理解してもらえない」の割合が増加しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「多忙で連携まで手が回らない」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「組織・団体の人と出会う機会がない」の割合が、40歳代で「組織・団体に、連携の必要性を理解してもらえない」の割合が、50歳代で「組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえない」「多忙で連携まで手が回らない」の割合が高くなっています。

単位：%

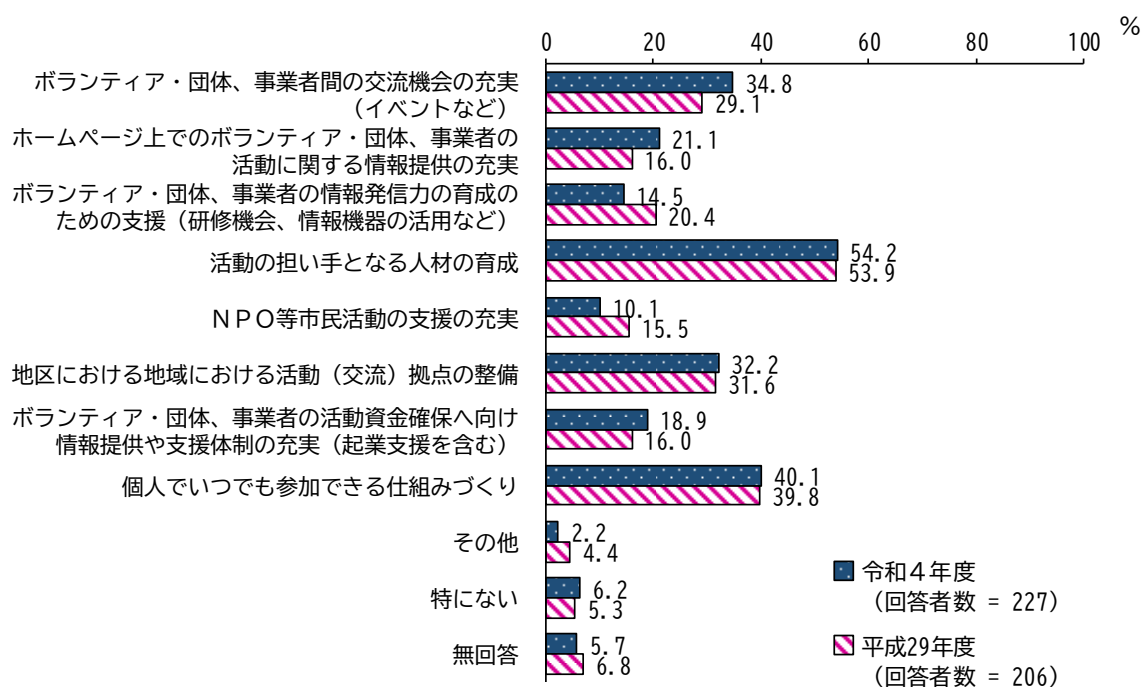
区分	回答者数(件)	組織・団体の人と出会う機会がない	組織・団体に、連携の必要性を理解してもらえない	組織・団体に、自分たちの活動を十分に理解してもらえない	組織・団体が多忙で協力してもらえない	組織・団体と連携の仲介・調整をしてもらえない人がない	地区内にその組織・団体がない	多忙で連携まで手が回らない	その他	無回答	
全体	227	26.9	12.3	10.1	7.9	14.5	4.4	19.4	8.8	31.3	
性別	男性	67	31.3	10.4	13.4	14.9	19.4	4.5	25.4	4.5	23.9
	女性	153	26.1	13.1	9.2	5.2	13.1	4.6	16.3	11.1	32.7
	答えたくない	4	—	25.0	—	—	—	—	25.0	—	75.0
年代別	20歳代	5	60.0	—	—	20.0	—	—	60.0	—	—
	30歳代	24	37.5	4.2	12.5	—	4.2	—	16.7	20.8	25.0
	40歳代	37	32.4	18.9	10.8	16.2	18.9	5.4	21.6	10.8	18.9
	50歳代	30	20.0	16.7	6.7	6.7	26.7	—	30.0	10.0	20.0
	60歳代	57	21.1	8.8	12.3	12.3	12.3	5.3	14.0	7.0	42.1
	70歳代	47	25.5	12.8	14.9	4.3	17.0	6.4	10.6	4.3	36.2
	80歳以上	3	33.3	—	—	—	33.3	—	33.3	—	33.3

(4) 今後必要な取組について

問11 今後、地域における活動をさらに活性化させるために、行政はどのような取組を行うことが必要とお考えでしょうか。(特にあてはまるもの3つに○)

「活動の担い手となる人材の育成」の割合が54.2%と最も高く、次いで「個人でいつでも参加できる仕組みづくり」の割合が40.1%、「ボランティア・団体、事業者間の交流機会の充実(イベントなど)」の割合が34.8%となっています。

平成29年度と比較すると、「ボランティア・団体、事業者間の交流機会の充実(イベントなど)」「ホームページ上でのボランティア・団体、事業者の活動に関する情報提供の充実」の割合が増加しています。一方、「ボランティア・団体、事業者の情報発信力の育成のための支援(研修機会、情報機器の活用など)」「NPO等市民活動の支援の充実」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、他に比べ、男性で「NPO等市民活動の支援の充実」「ボランティア・団体、事業者間の交流機会の充実（イベントなど）」「活動の担い手となる人材の育成」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、30歳代で「個人でいつでも参加できる仕組みづくり」「ホームページ上でのボランティア・団体、事業者の活動に関する情報提供の充実」の割合が、40歳代で「地区における地域における活動（交流）拠点の整備」の割合が高くなっています。

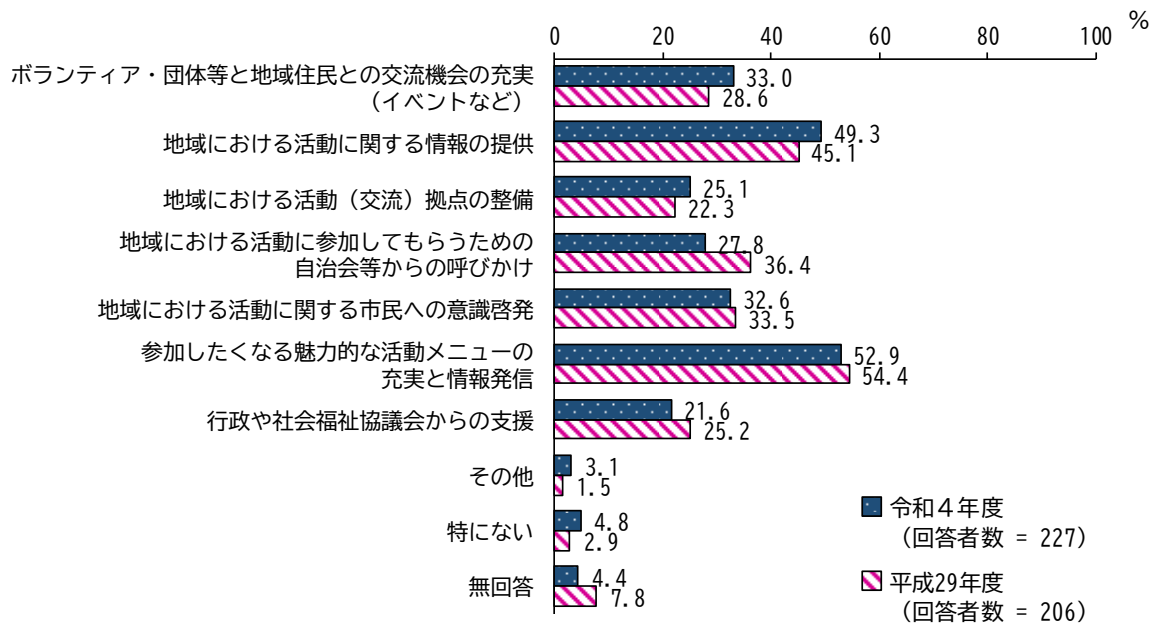
単位：％

区分	回答者数(件)	ボランティア・団体、事業者間の交流機会の充実（イベントなど）	ホームページ上でのボランティア・団体、事業者の活動に関する情報提供の充実	ホームページ上でのボランティア・団体、事業者のための支援（研修機会、情報機器の活用など）	活動の担い手となる人材の育成	NPO等市民活動の支援の充実	地区における地域における活動（交流）拠点の整備	ボランティア・団体、事業者の活動資金確保へ向け情報提供や支援体制の充実（起業支援を含む）	個人でいつでも参加できる仕組みづくり	その他	特になし	無回答	
全体	227	34.8	21.1	14.5	54.2	10.1	32.2	18.9	40.1	2.2	6.2	5.7	
性別	男性	67	40.3	16.4	16.4	59.7	19.4	29.9	22.4	34.3	3.0	4.5	6.0
	女性	153	34.0	23.5	14.4	51.0	6.5	32.7	17.6	41.8	2.0	6.5	5.9
	答えたくない	4	—	—	—	75.0	—	75.0	25.0	75.0	—	—	—
年代別	20歳代	5	60.0	20.0	20.0	80.0	—	—	20.0	40.0	40.0	—	—
	30歳代	24	37.5	33.3	—	29.2	12.5	16.7	12.5	58.3	4.2	16.7	8.3
	40歳代	37	37.8	16.2	13.5	45.9	13.5	54.1	18.9	35.1	—	5.4	2.7
	50歳代	30	36.7	26.7	16.7	60.0	16.7	36.7	16.7	36.7	—	3.3	—
	60歳代	57	33.3	24.6	21.1	63.2	3.5	28.1	21.1	38.6	1.8	3.5	5.3
	70歳代	47	29.8	12.8	10.6	48.9	12.8	27.7	23.4	48.9	—	6.4	12.8
	80歳以上	3	66.7	—	—	66.7	—	100.0	—	33.3	—	—	—

問12 地域における活動を行ううえで、地域住民の参加や地域住民の理解・協力を得るためには、どのようなことが必要であるとお考えでしょうか。(特にあてはまるもの3つに○)

「参加したくなる魅力的な活動メニューの充実と情報発信」の割合が52.9%と最も高く、次いで「地域における活動に関する情報の提供」の割合が49.3%、「ボランティア・団体等と地域住民との交流機会の充実（イベントなど）」の割合が33.0%となっています。

平成29年度と比較すると、「地域における活動に参加してもらうための自治会等からの呼びかけ」の割合が減少しています。



【属性別】

性別にみると、女性に比べ、男性で「行政や社会福祉協議会からの支援」の割合が高くなっています。

年代別にみると、他に比べ、40歳代で「地域における活動（交流）拠点の整備」「ボランティア・団体等と地域住民との交流機会の充実（イベントなど）」の割合が、50歳代で「地域における活動に関する情報の提供」の割合が高くなっています。

単位：%

区分		回答者数（件）	ボランティア・団体等と地域住民との交流機会の充実（イベントなど）	地域における活動に関する情報の提供	地域における活動（交流）拠点の整備	地域における活動に参加してもらうための自治会等からの呼びかけ	地域における活動に関する市民への意識啓発	参加したくなる魅力的な活動メニューの充実と情報発信	行政や社会福祉協議会からの支援	その他	特になし	無回答
全 体		227	33.0	49.3	25.1	27.8	32.6	52.9	21.6	3.1	4.8	4.4
性別	男性	67	35.8	52.2	28.4	31.3	37.3	47.8	28.4	3.0	3.0	4.5
	女性	153	32.0	49.0	23.5	27.5	32.0	56.2	19.0	2.6	5.2	3.9
	答えたくない	4	25.0	50.0	50.0	—	—	50.0	—	—	—	25.0
年代別	20歳代	5	40.0	60.0	40.0	40.0	80.0	40.0	—	—	—	—
	30歳代	24	25.0	54.2	20.8	8.3	29.2	50.0	12.5	—	20.8	8.3
	40歳代	37	45.9	43.2	43.2	16.2	29.7	45.9	16.2	5.4	5.4	2.7
	50歳代	30	30.0	63.3	33.3	20.0	36.7	63.3	10.0	3.3	3.3	—
	60歳代	57	35.1	50.9	17.5	35.1	31.6	59.6	24.6	1.8	1.8	3.5
	70歳代	47	27.7	42.6	14.9	40.4	36.2	55.3	34.0	6.4	2.1	6.4
	80歳以上	3	66.7	—	—	66.7	66.7	66.7	33.3	—	—	—

第4次牧之原市地域福祉計画策定のための
アンケート調査報告書
令和5年3月

発行：牧之原市社会福祉課地域福祉係
牧之原市静波 991-1
TEL：0548-23-0070
FAX：0548-23-0099